名古屋市科学館

要覧

令和８年度



は　じ　め　に

名古屋市科学館は 1962 年に天文館が開館して以来、60 年以上にわたって名古屋市で科学の面白さと大切さを知っていただく博物館として市民の皆様や市外、県外、そして多くの海外の方々にお越しいただいております。もっとも重要なコンセプトとして「みて、ふれて、たしかめて」を掲げ、世界最大級のプラネタリウム、自然のダイナミズムを体感できる４つの大型展示をはじめ、多くのハンズオンや体験型の展示、サイエンスショーなどの実演・実験を通して、楽しみながら科学に触れることのできる施設として親しんでいただいております。また今年は「鉄道ひろば」を屋外に開設し、B6 形蒸気機関車などを直にご覧いただける展示を行っております。さらに最近増加している海外からの来訪者に対応すべく、多言語翻訳システムの導入を計画中です。さらに、本年４月からは、株式会社ＦＵＪＩとネーミングライツスポンサー契約を締結し、愛称を「ＦＵＪＩなごや科学館」といたしました。これを契機として、より一層魅力ある科学館づくりに取り組み、多くの皆様に親しまれる施設を目指してまいります。

科学館は広い意味では博物館に属しています。博物館にはさまざまな種類があり、美術館や水族館も博物館施設に入ります。また自然科学を扱う博物館としては自然史博物館も多くの施設が日本にはあります。科学館と自然史博物館は同じく皆さんに科学に親しんでいただきながら、最新の科学を学ぶという共通した目的を持っています。ただ、科学館は展示標本を多くは持たず、科学の普及面に重点を置いた施設といえるのに対し、自然史博物館は標本の保管と研究面に重点を置いているという違いがあります。私はこの両者が両輪となって、一般市民の科学普及と科学自体の発展のためには重要であると思っております。と同時に、これらを強く区別することなく、共通の科学の発展のために、科学館も今後あるべき姿を考えていくことが必要なのかもしれません。館内では今後の科学館の展示更新に向けた議論も始めています。

今後とも皆様からのご指導やご鞭撻をいただき、より多くの皆様に愛される魅力的な施設であり続けられるよう努めてまいりたいと思います。引き続き当館の運営に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和８年８月

名古屋市科学館
館長　大路 樹生

科学館の基本理念

1　科学の原理と応用を理解し、そのおもしろさ、楽しさを知っていただく。
2　人間と科学技術との関わりを考えていただく。
3　社会的に関心の大きい問題について科学技術的な理解をはかる。
4　市民に科学を通じた生涯学習の場を提供する。

名古屋市科学館では、この基本理念にもとづき、展示、教育普及の諸活動を行うとともに、学校教育との連携、市民科学活動の推進をはかっています。

科学館マスコットキャラクター



「愛称＝アサラ」
　アストロ　(ASTRO)　　宇宙
　サイエンス(SCIENCE)　科学
　ラ イ フ　(LIFE)　　生命
の頭文字を取って付けた愛称です。

＊　制作意図

形にとらわれない自由な発想によるキャラクター。

見る人の自由な発想によって、宇宙に存在するであろう未知の生物であったり、原子やエネルギーに見えたり、また、生命の源やアメーバであったりする。

青少年の科学に対する興味や関心をやさしく高めるよう、楽しくかわいいマスコットキャラクターとした。

制作者:鈴木　勝さん

科学館シンボルマーク



＊　イメージ

無限に広がる宇宙の片隅に存在する青い惑星－地球

そこには、生命・物質・エネルギーさまざまなものが自然のうちに調和している。

人間は英知(科学とその技術)を持った生命として、この地球に生まれてきた。

人間は、自然のバランスをそこなわず、英知をもって幸福に暮らしていかなければならない。

制作者:竹中　香奈子さん

目　　次

はじめに

科学館の基本理念

施設の概要

1　沿　　革 …… 1
2　歴代館長等 …… 2
3　組　　織 …… 3
(1) 組織及び職員構成 …… 3
(2) 諮問機関 …… 4
4　施設概要 …… 5
(1) 各館等の概要 …… 5
(2) 建築概要 …… 6
(3) ネーミングライツの導入 …… 6
(4) 施設・設備概要 …… 7

令和７年度事業の概要

1　展示事業 …… 9
(1) 常設展示 …… 9
(2) 大型展示 …… 9
(3) 各種実演・ショー …… 10
(4) スペシャル実演 …… 11
(5) 話題の科学 …… 11
(6) 多言語対応 …… 12
2　特別展及び企画展 …… 13
(1) 特別展「鳥 ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統」 …… 13
(2) 特別展「古代ＤＮＡ－日本人のきた道－」 …… 14
(3) 特別展「昆虫ＭＡＮＩＡＣ」 …… 16
(4) 企画展「SL を感じよう！」 …… 17
(5) 特別展「大絶滅展―生命史のビッグファイブ」 …… 17
3　プラネタリウム投影 …… 19
(1) 一般投影 …… 19
(2) ファミリーアワー …… 19
(3) 学習投影･幼児投影（学校等団体向け） …… 19
(4) 特別投影 …… 20
4　教育普及事業 …… 22
(1) 天文分野 …… 22
(2) 理工分野 …… 22
(3) 生命環境分野 …… 24
(4) その他イベント …… 26
(5) オンラインによる情報発信 …… 28
(6) 出前ミュージアム(その道の達人派遣事業)及び館外事業 …… 30
(7) ボランティアの養成及び活用 …… 32
(8) 科学館友の会 …… 35
(9) 名古屋少年少女発明クラブとの連携事業 …… 36
(10) コンクール事業 …… 39
(11) 博物館実習生の受入れ …… 39
(12) 職場体験学習・職場訪問学習など 40
5　調査研究 …… 41
6　印刷物の発行 …… 42
7　広報活動 …… 42
8　他施設との交流 …… 44
(1) 国内活動 …… 44
(2) 国際活動 …… 44
(3) 視察受入れ …… 44
(4) 芸術と科学の杜 …… 44
(5) 研究機関等との相互協定等 …… 45
(6) 3 館コラボ企画 …… 46
9 高校生科学力向上促進事業 …… 46
(1) 令和 7 年度　高校生のための科学の日 …… 46
(2) 高校生による科学の広場　発表 … 47
10 あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室 …… 47
11 研修・講座等 …… 48
12 情報収集保存活動 …… 51
(1) 情報資料室 …… 51
(2) インターネット …… 51
13　令和７年度入館者状況 …… 52
(1) 月別利用状況(個人・団体別) …… 52
(2) 月別利用状況(利用種別) …… 52
(3) 団体地域別入館者数 …… 53

参考資料

1　年度別入館者数 …… 54
2　常設展示品 …… 56
3　年度別決算 …… 61
4　展示協力 …… 64
5　特別展及び企画展 …… 69
6　観覧料の変遷 …… 75
利用案内 …… 77
名古屋市科学館条例 …… 78
名古屋市科学館条例施行規則 …… 81

施　設　の　概　要

1　沿　革

名古屋市科学館は市制施行 70 周年記念事業の一環として、昭和 37 年 11 月に天文館が建設され、その後、昭和 39 年 11 月に理工館が、平成元年 4 月に生命館が開館し、総合科学館として平成 24 年 11 月 3 日に開館 50 周年を迎えた。平成 23 年 3 月には、老朽化していた天文館・理工館を改築し、世界最大のプラネタリウムと 4 つの大型展示を備えた新たな施設として開館し、11 月には屋外展示及び外構工事の完了をもって、新館整備に係る全ての工事が終了しグランドオープンした。

昭和 33. 9.25	科学館建設調査委員会初会合
35.12.16	第１期工事(天文館)建設着工
36. 1.11	起工式挙行
36.11. 1	科学館開設準備室設置
37. 8.10	市立名古屋科学館条例公布・施行
37.10.31	第１期工事(天文館)完工
37.11. 1	開館式挙行
37.11. 3	天文館一般公開
38. 6.29	第２期工事(理工館)建設着工
39.10.30	第２期工事(理工館)完工
39.11. 1	理工館一般公開
40. 9.29	上原科学技術庁長官視察
42. 4. 1	博物館相当施設に指定
47. 4. 1	総務局から市民局へ移管
47.11. 1	開館 10 周年記念式典挙行
50.10.11	アメリカ合衆国カリフォルニア科学産業博物館と姉妹博物館提携
53.8.20～24	国際プラネタリウム館長会議(IPDC)開催
55. 4. 1	市民局から教育委員会へ移管
56.11.21	西館建設調査委員会初会合
57.11. 1	開館 20 周年記念事業開催
60. 1.20	入館者 1,000 万人達成
60. 3.20	65 ㎝反射望遠鏡設置
61. 9. 3	生命館建設着工
63.11.30	生命館完工
63.12. 2	科学館シンボルマーク及びキャラクター(アサラ)決定
平成元. 4.28	生命館開館記念式典挙行
元. 4.29	「市立名古屋科学館」を「名古屋市科学館」に名称変更 生命館一般公開 名古屋市科学館協議会設置
元. 6.14	三笠宮崇仁殿下ご視察
元. 7.25	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察
2. 1.22	博物館登録
3. 4. 7	皇太子徳仁親王殿下ご視察
4.11. 1	開館 30 周年記念式典挙行
5. 7.24	入館者 1,500 万人達成
9. 7.29	文部省科学系博物館活用ネットワーク推進事業受託
9. 8. 2	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察
10.10.22	科学技術振興事業団・科学館整備モデル事業受託
11. 5. 7	秋篠宮文仁親王殿下特別展ご視察
12.3.14～16	アジア太平洋地域科学館協会総会等開催
12.11.11	入館者 2,000 万人達成
14. 4. 1	発明発見創造クラブ設立(～19.3.31)
14.10.25	文部科学省科学系博物館教育機能活用推進事業受託
15. 3.27	フランス国立「パリ発見の宮殿」と交流計画に関する合意書調印
16.12.23～25	ロボットサッカー国際交流会開催
17. 3. 2	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
17. 7.25～29	万博ロボットサッカー国際交流会開催
18. 1.25	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
19. 2. 7	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
20.10. 1	理工館・天文館改築工事着工
21. 5.16	入館者 2,500 万人達成
22. 9. 1～	理工館・天文館改築に伴う休館
22.10.11～31	生物多様性条約第 10 回締約国会議開催に伴い生命館を開館
23. 3.19	理工館・天文館一般公開 ネーミングライツ契約により､プラネタリウム名称を「Brother Earth」とする。
23. 4. 1	国立極地研究所との相互協力に関する協定を結ぶ
23.10. 4	新館入館者 100 万人達成
23.11. 6	新館グランドオープン記念式典挙行
23.12.12	世界最大のプラネタリウム「Brother Earth」がギネス世界記録に認定
24. 3.19	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定を結ぶ
24. 5. 1	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定を結ぶ
24. 7.16	新館入館者 200 万人達成
24. 7.18	(独) 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) と相互協力に関する協定を結ぶ
24. 9.10	「芸術と科学の杜」シンボルマーク決定
24.11. 3	名古屋市科学館開館 50 周年記念式典挙行
25. 3.26	名古屋大学博物館と相互協力に関する協定を結ぶ
25. 4. 1	初代名誉館長に益川敏英氏(ノーベル物理学賞) 就任
25. 9.29	中京大学人工知能高等研究所と相互協力に関する協定を結ぶ
26. 1.19	入館者 3,000 万人達成
26. 8.27	新館入館者 500 万人達成
28. 3.29	名古屋市立大学との連携協力に関する覚書を結ぶ
29. 8.23	入館者 3,500 万人達成
30. 6.17	新館入館者 1,000 万人達成
令和元. 5. 1	第 2 代名誉館長に小林誠氏 (ノーベル物理学賞) 就任
元. 8.17	プラネタリウム観覧者数 2,000 万人達成
2. 1.22	愛知教育大学と相互連携に関する協定を結ぶ
2. 2.29 ～6. 1	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館
3. 3.23	あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室開設
3. 4. 1	ネーミングライツ契約により、プラネタリウム名称を「NTP ぷらねっと」に変更
4. 9.28	入館者 4,000 万人達成
6. 3. 1	観覧券のオンライン販売を開始
7. 2.13	名古屋市科学館公式 SNS の運用を開始
7. 3. 1	名古屋大学素粒子宇宙起源研究所との相互協力に関する協定を結ぶ
7. 3.12	名古屋大学宇宙地球環境研究所との相互協力に関する協定を結ぶ
7. 3.12	金城学院大学との相互協力に関する協定を結ぶ
7. 3.26	博物館法改正に伴う博物館再登録
7.12. 1	大学共同利用機関法人自然科学研究機構との相互協力に関する協定を締結
8. 3.28	鉄道ひろば開設
8. 4. 1	ネーミングライツ契約により、施設名称を「ＦＵＪＩなごや科学館」とする。

２　歴代館長等

（敬称略）

館　　長　　名		期　　間
初　　代	清水 勤二	昭和 37 年 8 月 10 日～ 昭和 39 年 5 月 31 日
第 2 代	杉戸　清	昭和 39 年 6 月 1 日～ 昭和 40 年 6 月 15 日
第 3 代	久恒 中陽	昭和 40 年 6 月 16 日～ 昭和 46 年 4 月 30 日
第 4 代	今城 栄次郎(助役・事務取扱)	昭和 46 年 5 月 1 日～ 昭和 47 年 1 月 9 日
第 5 代	佐藤 知雄	昭和 47 年 1 月 10 日～ 昭和 61 年 3 月 31 日
第 6 代	岡田　博	昭和 61 年 4 月 1 日～ 平成 4 年 12 月 31 日
第 7 代	樋口 敬二	平成 5 年 1 月 1 日～ 平成 17 年 3 月 31 日
第 8 代	岡田　大(教育長・事務取扱)	平成 17 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 3 月 31 日
第 9 代	柳田 博明	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 11 月 20 日
第 10 代	岡田　大(教育長・事務取扱)	平成 18 年 12 月 1 日～ 平成 19 年 3 月 31 日
第 11 代	石丸 典生	平成 19 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日
第 12 代	纐纈　満	平成 26 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日
第 13 代	大路　樹生	令和 5 年 4 月 1 日～

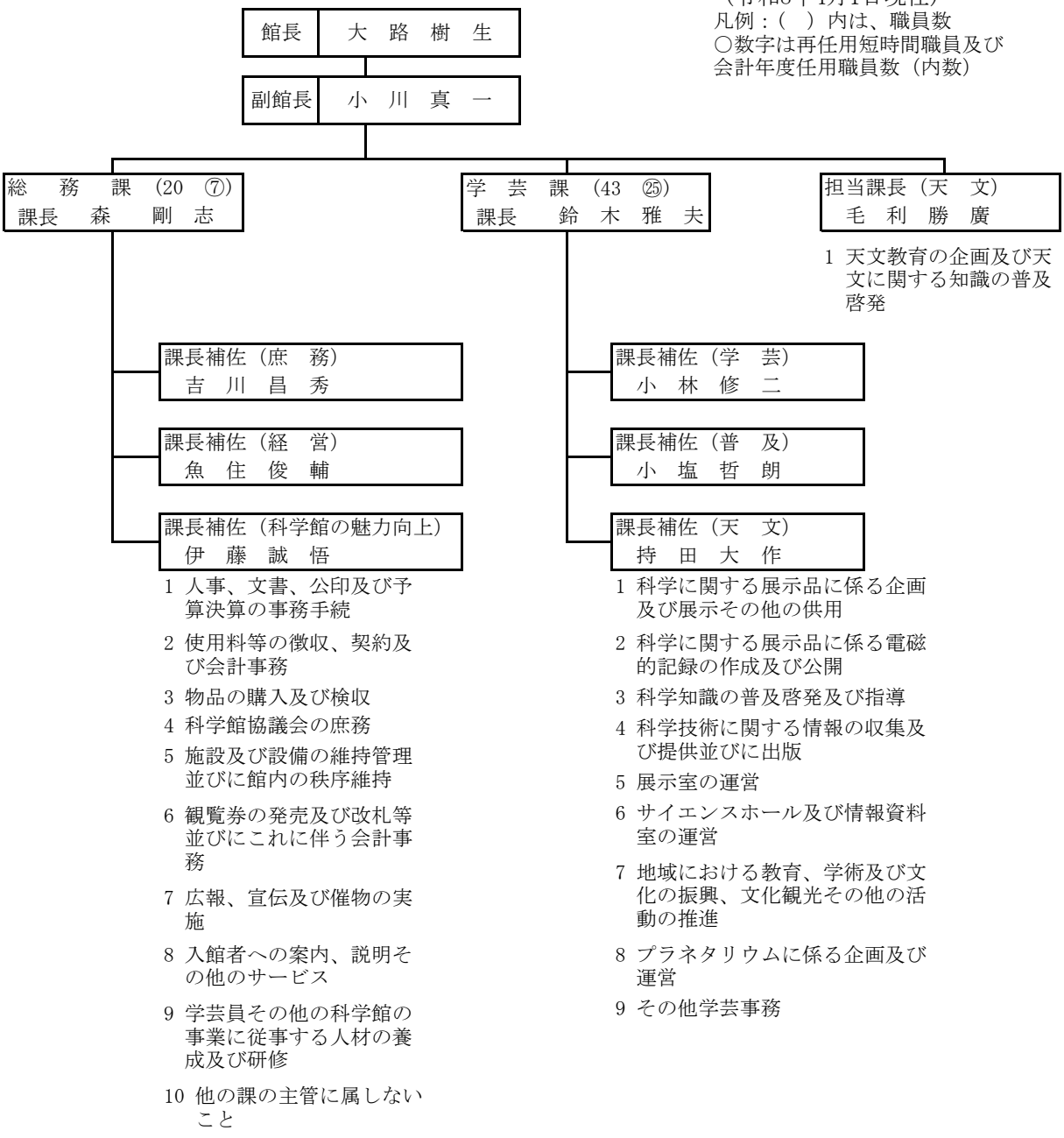
名　　誉　　館　　長　　名		期　　間
初　　代	益川　敏英	平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日
第 2 代	小林　誠	令和元年 5 月 1 日～

ア　ド　バ　イ　ザ　ー		期　　間
初　　代	石丸　典生	令和 26 年 9 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日
第 2 代	纐纈　満	令和 5 年 4 月 1 日～

３　組 織

（１）組織及び職員構成

（令和8年4月1日現在）
凡例：（ ）内は、職員数
○数字は再任用短時間職員及び会計年度任用職員数（内数）



〔職種別職員構成〕

職種／職名	行政職（事務）	行政職（技術）	教員	学芸職	非常勤特別職	再任用短時間職員	会計年度任用職員	計
館　長					1			1
副館長	1							1
担当課長				1				1
総務課	11	2					7	20
学芸課			2	16		6	19	43
計	12	2	2	17	1	6	26	66

（2）諮問機関

① 名古屋市科学館協議会

博物館法及び名古屋市科学館条例に基づいて設置されており、科学館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し意見を述べる機関とされている。

科学館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命しており、条例により、定数は15人以内で、任期は2年とされている。令和7年度は、9月2日、2月11日の2回開催した。

（敬称略）

氏　名	役　職　名	氏　名	役　職　名
安　田　寛　子	名古屋市立高見小学校長	横　山　清　子	名古屋市立大学 データサイエンス学部教授
榊　原　正　意	愛知県立港特別支援学校長	長谷川好規	(独)国立病院機構 名古屋医療センター名誉院長
林　　文　敏	愛知県私学協会副会長	井　上　直　子	名古屋大学大学院 生命農学研究科准教授
横　地　道　代	名古屋市地域女性団体 連絡協議会理事	増　田　信　之	名古屋商工会議所副会頭
荒　川　仁　詞	名古屋市立小中学校 ＰＴＡ協議会常任理事	上　野　充　浩	(株)中日新聞社名古屋本社 事業局次長
山　中　千　尋	公募委員	小　貫　　武	日本放送協会名古屋放送局長
赤　崎　真　紀　子	㈱カーネル総研 取締役 コンテンツ・プロデューサー	曽　山　　豊	(公財)中部科学技術センター 専務理事
岩　崎　公　弥　子	金城学院大学 国際情報学部教授		

〔令和8年8月1日現在〕

② 名古屋市科学館企画調査委員

科学に関する資料及び装置(科学館資料)に関し、調査研究を行い、もって科学館の充実を図るため、設置されており、委員は、館長の依頼を受け、科学館資料の収集及び展示の調査研究並びにその他科学館資料の専門的事項の調査研究に関することを処理するとされている。

委員は、教育委員会が選任している。令和7年度は、9月9日、2月10日の2回開催した。

（敬称略）

氏　名	役　職　名	氏　名	役　職　名
水　谷　法　美	愛知県顧問	金　田　英　宏	名古屋大学大学院 理学研究科教授
中　　貴　俊	中京大学工学部 メディア工学科准教授	吉　田　英　一	名古屋大学博物館 資料基盤研究系教授
柘　植　弘　安	名古屋市工業研究所 材料技術部部長	森　　健　策	名古屋大学大学院 情報学研究科教授
天　野　　浩	名古屋大学未来材料・ｼｽﾃﾑ研究所 未来ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ集積研究ｾﾝﾀｰ長	清　水　裕　彦	名古屋大学大学院 理学研究科教授
湯　川　　泰	名古屋市立大学大学院 理学研究科教授	赤　津　裕　康	国立長寿医療研究センター ロコモフレイルセンター長
寺　田　光　宏	岐阜聖徳学園大学 教育学部教授	遠　藤　　守	名古屋大学大学院 情報学研究科准教授

〔令和8年8月1日現在〕

４　施 設 概 要

当館は昭和 37 年に「天文館」、昭和 39 年に「理工館」、平成元年に「生命館」を開館した。天文館と理工館は平成22年8月をもって閉館し､改築整備を進めてきた新館を含めた新たな施設となった。改築後の科学館も従来と同じ天文館、理工館、生命館という 3 館で構成している。

（1）各館等の概要

＜理工館＞

エントランスがあり、観覧者が最初に入館する施設。

2 階から 6 階までが常設展示室、地下に特別展・企画展等を開催するイベントホール、7 階に天文台、3 階と 7 階に休憩室がある。

常設展示室には､子どもたちの科学的な気づきを促す展示から､最先端科学を扱った展示があり、分野も科学技術全般に渡り幅広く取り扱っている。

通常の展示品のほか、2 階層の吹き抜けを用いた大型展示品も整備した。

＜天文館＞

主に球体の施設部分であり、4 階から 6 階までのフロアで構成されている。

4 階は実演を行うサイエンスステージ、5 階は常設展示室、6 階にプラネタリウムがある。

プラネタリウムでは、幼児を含む幅広い年齢層を対象に、単に憧れとしての星空を眺めるだけではなく、天文知識や現象を正確に伝え、さらに、本当の星空にまで興味が広がるような番組構成・解説を行っている。

＜生命館＞

2 階から 5 階までが常設展示室、6 階に講座を開催する実験室や学習室、1 階に休憩室、地下 2 階に「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」が設置されたサイエンスホールがある。

常設展示室では､生命とは何かをあらゆる角度から総合的に解明しようとする生命科学をテーマに､「生命」「人体」「生活」及び「地球」のグループを設定し、この地球という惑星の上で、 人類が豊かで健康な暮らしをするための問いかけをしている。

＜屋外展示＞

H-ⅡB ロケットを始めとした大型の実物展示を屋外に展示している。

令和 8 年 3 月 28 日には、新たに屋外に「鉄道ひろば」をオープンした。鉄道ひろばでは、B6 形蒸気機関車の車輪が圧縮空気によってダイナミックに動く様子を､透過型ＬＥＤモニターを使った実演で蒸気機関の仕組みを学ぶことができる。あわせて、昭和初期に名古屋で製造された客車であるオハ 35 2001 号と皇族の随伴者が乗車していた供奉車 344 号も展示している。

（2）建 築 概 要

区　分	各棟別	理工館・天文館	生　命　館	屋外展示
敷 地 面 積	13,661.95 ㎡			
建 築 面 積	5,018.5 ㎡	3,063.80 ㎡	1,199.82 ㎡	754.88 ㎡(*2)
延 床 面 積	23,490.66 ㎡	15,735.19 ㎡	6,816.13 ㎡	939.34 ㎡(*2)
構　　造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上　　7 階 地下　　2 階	地上　　9 階 地下　　2 階	地上　　1 階
常設展示室	11 室 6,817 ㎡ 屋外 2,834 ㎡	6 室 4,338 ㎡	5 室 2,479 ㎡	2,834 ㎡
開　館　日		平 23.3.19	平元.4.29(*1)	平 23.11.6 (*3)

＊1 生命館地下 2 階は、令和 3 年 3 月 23 日に「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」を開設

＊2 屋外展示の内、「鉄道ひろば」の屋根部分のみ

＊3 屋外展示の内、令和 8 年 3 月 28 日に「鉄道ひろば」を開設

（3）ネーミングライツの導入

対象施設：科学館全体

愛称：下表のとおり、館名及び各対象施設に愛称を付与

名称	愛称
名古屋市科学館	ＦＵＪＩなごや科学館
イベントホール（理工館地下 2 階）	ＦＵＪＩイベントホール
プラネタリウムドーム（天文館 6 階）	ＦＵＪＩスカイドーム
鉄道ひろば（屋外）	ＦＵＪＩ鉄道ひろば

権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等

ネーミングライツスポンサー：株式会社ＦＵＪＩ

契約期間：令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日

（4）施設・設備概要

天　文　館	理　工　館	生　命　館	屋外展示
プラネタリウム 「ＦＵＪＩスカイドーム」 【830 ㎡(350 席)】	天文台 【87 ㎡】	第 2 実験室 【120 ㎡(36 席)】	
プラネタリウム 制作室	7 階休憩室 【187 ㎡(96 席)】	学習室 【102 ㎡（54 席)】	
サイエンスステージ 【173 ㎡(66 席)】	第 1 実験室 【115 ㎡(48 席)】		
カフェ 【157 ㎡(65 席)】	3 階休憩室 【251 ㎡(84 席)】		
ミュージアムショップ 【104 ㎡】	情報資料室 【97 ㎡】	1 階休憩室 【385 ㎡(170 席)】	鉄道ひろば 「ＦＵＪＩ鉄道ひろば」 【1,170 ㎡】
	イベントホール 「ＦＵＪＩイベントホール」 【777 ㎡】	サイエンスホール （あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室） 【302 ㎡(224 席、補助椅子 28 席)】	

□　35m プラネタリウムドーム「ＦＵＪＩスカイドーム」

統合システム（全システムを統合・生解説用コンソール）
光学式プラネタリウム（ユニバーサリウム IX 型（名古屋市特別仕様））
デジタル式プラネタリウム（MediaGlobe Σ SE for Allsky）
天の川投影機（MediaGlobe Σ SE for UNIVERSARIUM）
デジタルパノラマ（MediaGlobe Σ SE for Panorama ）
補助投影システム（解説用 DLA-V7 5 台、案内用 RCQ10jLB 9 台）
音響システム（D-SICS）
補聴システム（赤外線、及び磁気ループ）
効果照明システム（スカイペイント）
通路 LED
レーザーシステム（アウロラ）
座席（350 席、全席リクライニング、左右 30° 回転）

□　プラネタリウム制作室（5m ドーム）

制作システム（SCD5）

□　天文台

80cm カセグレン式反射望遠鏡
（周辺機器：20cm 屈折望遠鏡、デュアルワンダーアイ、スターイメージレイヤー他）

□　星のひろば

15cm ケプラー式屈折望遠鏡 6 台、レーザーシステム一式

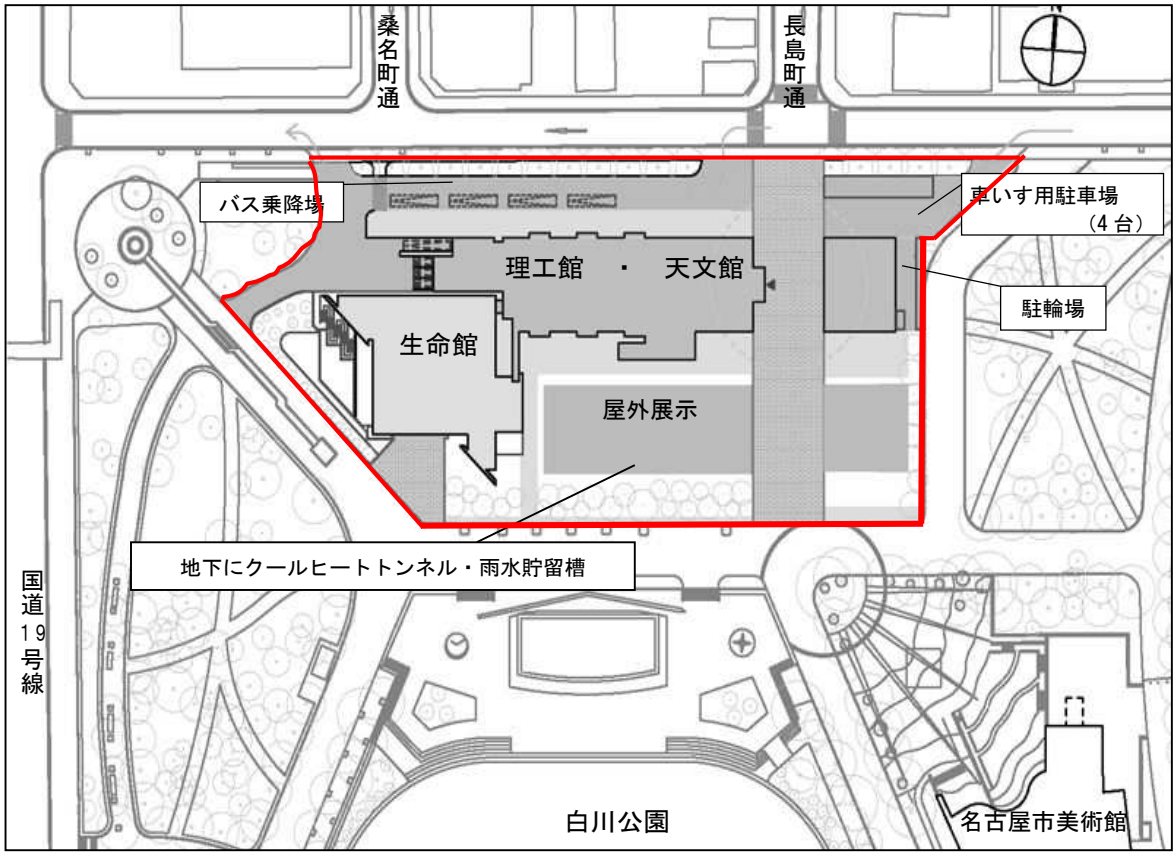
□　30cm 太陽望遠鏡(太陽投影像 194cm)

(周辺機器：10cm 白色像用屈折望遠鏡、10cm Hα像用屈折望遠鏡、分光器他)

□　屋外展示

鉄道ひろば（B6 形蒸気機関車、オハ 35 2001 号、供奉車 344 号、名古屋市電 1401 号）

H-ⅡB ロケット、SM50S 型雪上車 522 号車他



令和７年度事業の概要

１　展示事業

（１） 常設展示

科学との出会いから、身近なくらしへ、そして宇宙や地球内部へと、科学に対する興味を広げていくようにテーマを設定している。

館	展　示　室　名	展　示　内　容
天文	５階　宇宙のすがた	広大な宇宙のスケールを実感するとともに、宇宙の姿とその不思議を紹介
理工	２階　不思議のひろば	「みる・きく・さわる・うごかす」といった体験を通して、科学の不思議さや楽しさとの出会いの場を演出する
	３階　技術のひろがり	身のまわりにある機械の仕組みや、ものづくりの知恵を科学の視点で紹介
	４階　科学原理とのふれあい	波動、電磁気、運動など自然界の原理や法則について紹介
	５階　物質・エネルギーのせかい	暮らしを支える材料、エネルギーや、物質を構成する原子・分子について様々な視点で紹介
	６階　最先端科学とのであい	地球環境を理解するため、宇宙と地下に挑む科学のフロンティアを紹介
生命	地下　あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室 ２階　ベル賞受賞者記念室	愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者の業績や研究内容を展示
	２階　地球のすがた	地球上で見られる現象や地球環境の歴史などについて紹介
	３階　生活のわざ	豊かな暮らしを送るための人間の「衣」、「食」、「住」とさまざまな生物とのかかわりを展示
	４階　人体のふしぎ	自分自身の「からだ」のふしぎさ・大切さについて学ぶ展示
	５階　生命のひみつ	地球上の生物に共通する生命のしくみと、多様性の謎に迫ろうとする展示
屋　外		鉄道ひろばのB6形蒸気機関車をはじめ、H-ⅡＢロケットなどの大型の実物展示を間近でみることができる

（２） 大型展示

館	大型展示	展　示　内　容
理工	２～３階 水のひろば	「雲、雨、川、海」による水の循環の表現や音と光を連携させた演出を観察するとともに、水を使った様々な実験をする。
	３～４階 竜巻ラボ	3本の柱からの横方向の風で回転流をつくり、上方より空気を吸い上げることで発生した巨大な竜巻を観察し、自然界のエネルギーを体感する。
	４～５階 放電ラボ	2基の大型テスラコイルから向かってくる放電により、ダイナミックな電気エネルギーを体感する。
	５階　極寒ラボ	マイナス30℃の極低温空間で起こる現象を観察し、極地を疑似体験する。
屋外	B6形蒸気機関車	動輪が動く様子を体感しながら、透過型ＬＥＤモニターを使った実演をする。

（3）各種実演・ショー

実演場所	名称		実演・実験内容	令和6年度		令和7年度	
				回数（回）	参加者数（人）	回数（回）	参加者数（人）
理工館	2階	水のひろば	水の循環と水の性質について知識を深める演出	来館者対象		来館者対象	
	3階	モノづくり都市パノラマ	名古屋を参考にした架空の都市パノラマにて、人、モノ、エネルギーなどの流れを中心に説明	976	29,797	982	**30,074**
		竜巻ラボ	人工的に竜巻そっくりの空気の渦をつくり出すことができる実験装置で高さ約9mの渦を観察	1,003	93,979	1,004	**93,205**
	4階	放電ラボ	放電現象がどのようなメカニズムで起きているのか、轟音をともなう激しい電気スパークを観察し理解する	1,707	76,316	1,704	**83,047**
	5階	極寒ラボ	マイナス30℃の世界を体験しながらオーロラの映像を見たり、氷の実験や氷の結晶を観察	3,351	52,192	3,359	**53,083**
天文館	4階	サイエンスステージ	・ハカセ対決 ～燃焼編～ ・慣性で大歓声 ・うかしてとばして大実験 ・まわる まわる まわる ・ふれ ふれ フレール ・みんなのくうき ・サイエンスショッピング ・スーパー☆マグネット ・うくかな？しずむかな？ ・こうすけハカセとうたって実験しよう！ ・おば化な実験室 ・プラスとマイナス☆静電気 ・ハカセとサンタのメリークリスマス ・夏祭り屋台サイエンス	976	78,156	983	**81,601**
生命館	5階	生命ラボ	・あれ？目のさっかく ・紫外線を防ぐのは？ ・恐竜パズル ・シロアリの不思議な行動 ・ダンゴムシはジグザグがお好き？！ ・手のホネ ・マイクロピペットを使ってみよう！ ・煮干しの解剖 ・これがプラナリアだ！ ・ゾウリムシのからだ ・葉緑体を見てみよう ・顕微鏡で見てみよう	411	3,948	404	**3,753**

鉄道ひろば	屋外	B 6 実演 (R8.3.28 より新設)	B6 形蒸気機関車の動輪を回転させる実演を行なっている。蒸気機関が動く仕組みや B6 形蒸気機関車が圧縮空気で動く仕組みを解説			13	938
		供奉車公開 (R8.3.28 より新設)	皇族などの随伴者が乗車していた供奉車の車内を公開			6	668
		市電公開 (R8.3.28 より新設)	昭和 11 年に製造され、昭和 49 年まで走行した名古屋市電 1401 号の車内を公開			6	468

（4）スペシャル実演

実演場所	事業名	開催期日	回数(回)	参加者数(人)
生命館 5 階	のぞいてみよう！ミクロの世界	月 3 回日曜日	70	757

参考・R6 年度 72 回 799 人

（5）話題の科学

理工館 6 階		
コーナー	テーマ	展示時期
右	カーボンニュートラルな発電：核融合発電	～7 年 4 月
	大人と子どもの違いに注目！子どもの事故を防ぐために	令和 7 年 4 月 ～8 月上旬・9 月下旬
	古代 DNA	令和 7 年 8 月～9 月
	科学館職員のシドニーめぐり	令和 7 年 10 月～11 月
	写真で見る秋冬の昆虫	令和 7 年 12 月 ～令和 8 年 2 月
	気象観測と気象台の仕事	令和 8 年 2 月～
左	100 Square Moons 月 100 個分の視野でみた宇宙	令和 6 年 12 月 ～令和 7 年 7 月
	気象観測と気象台～気象観測 150 年～	令和 7 年 7 月～ 9 月
	ニューサウスウェールズ州 1 号機関車と客車	令和 7 年 10 月～11 月
	写真で見る秋冬の昆虫	令和 7 年 12 月 ～令和 8 年 2 月
	大人と子どもの違いに注目！子どもの事故を防ぐために	令和 8 年 2 月～
生命館 4 階		
人体 ニュース	続・新型コロナウイルス SARS-CoV-2（サーズ コヴ ツー）ワクチンと変異、新型コロナウイルス 3D模型、「新型コロナウイルスと細胞の結合部分」模型	令和 4 年 8 月 ～令和 7 年 9 月 12 月～
	血液型から見る日本とオーストラリア	令和 7 年 10 月 ～11 月

生命館 5 階		
バイオギャラリー	なごや生物多様性センター・名古屋市科学館共同企画 「なごやのそこらへんにいるいきもの　鳥編」	令和 7 年 3 月 ～令和 8 年 3 月
	石川県白山自然保護センター・名古屋市科学館共同企画 「ちょっと気になるクマのこと」	令和 8 年 3 月～
天文館 5 階		
デモスペース	はやぶさ 2 のリュウグウ探査	平成 31 年 4 月～ (随時更新)
	野辺山天文台展 in 名古屋市科学館	令和 7 年 8 月

（6）多言語対応

令和 6 年度の取り組みを踏まえ、令和 7 年度は外国人来館者へのサービス向上を目的として、多言語対応の充実を図った。

① AI 同時翻訳サービス

令和 6 年度の実証実験結果を踏まえ、企画コンペを実施し、AI 同時翻訳サービスを提供する事業者を選定した。選定した事業者と連携し、プラネタリウム及びサイエンスステージにおける AI 同時翻訳システムについて、令和 8 年 3 月から試行運用を開始した。

＜業者＞

株式会社アイシン（YYSystem）

＜サイエンスステージでの提供＞

来館者自身のスマートフォンを利用したサービスで、サイエンスステージに掲示している二次元コードを読み取ると話者の音声をリアルタイムで文字化し、選択した言語に翻訳して表示する。なお、音声による利用を希望する場合は、音声読み上げ機能により翻訳結果を再生する。

言語は、令和 8 年 3 月時点で 31 言語の選択が可能。

＜プラネタリウムでの提供＞

当館の赤外線補聴システムを活用し、解説者の発話内容を翻訳した音声を観覧者へ提供する。

なお、提供方法は音声のみである。

言語は、英語、中国語および韓国語に対応している。

② 受付業務における多言語対応

令和 6 年度に名古屋市経済局が実施した先進技術社会実証支援事業において、館内スタッフ向け通訳アプリを導入した。実証実験後は、引き続き通訳アプリを受付業務にて活用している。

③ 外国語版見学ガイドの改訂

令和 7 年度に多言語版見学ガイドおよび実演・実験の案内紙面の見直しを行った。多言語の発信ツールである科学館公式 SNS の案内を追加するとともに、外国人来館者から問い合わせが多いロッカーの位置を記載するなど、現在の状況に合わせ内容の改訂を行った。

２　特別展及び企画展

（１）特別展「鳥 ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統」

①開催趣旨　　生態系において重要な位置を占める鳥類。特別展「鳥」は、東京の国立科学博物館初の鳥類をテーマとした展覧会として企画されました。本展では、鳥の起源とその進化の過程を紹介し、さらにゲノム解析による最新研究で解き明かされた進化系統仮説にもとづいて、貴重な鳥類標本を数多く展示します。鳥が使う言葉や雌雄の関係などのユニークな生態をテーマした「鳥のひみつ」も詳しく解説します。

②開催期間　3 月 15 日（土）～6 月 15 日（日）　開催日数 77 日

③入 場 者　104,187 人

④会　　場　理工館地下 2 階 イベントホール

⑤主　　催　名古屋市科学館、日本経済新聞社、中日新聞社、東海テレビ、テレビ愛知、TOKAI RADIO

⑥協　　力　あいち朝日遺跡ミュージアム、我孫子市鳥の博物館、NPO 法人 藤前干潟を守る会、群馬県立自然史博物館、小牧市教育委員会、信州大学、帝京大学、名古屋大学博物館、姫路科学館、兵庫県立人と自然の博物館、弘前大学、三重県総合博物館、ミマキエンジニアリング、日経サイエンス、日経ナショナル ジオグラフィック

⑦特別協力　国立科学博物館

⑧後　　援　日本鳥学会、日本鳥類保護連盟、日本野鳥の会、山階鳥類研究所、JR 東海、愛知県教育委員会、愛知県私学協会、愛知県子ども会連絡協議会

⑨入 場 料

一般	1,800 円	［前売券　1,600 円］
高大生	1,000 円	［前売券　800 円］
小中生	500 円	［前売券　300 円］

⑩展示内容　　およそ 400 点の標本が集結し、見ごたえある企画を通し、鳥の魅力を深掘りした。普段は公開されていない貴重な標本を展示するとともに、名古屋周辺の鳥と人との関わりを紹介する名古屋展オリジナルコーナー「なごやにまつわる鳥と人」も設置した。

⑪関連事業

内容	協力・講師	実施日	参加者数
ナイトミュージアム		4 月 12 日（土）	293
		4 月 13 日（日）	285
		5 月 24 日（土）	290
		5 月 25 日（日）	295
藤前干潟で渡りをするシギとチドリを見よう！	金澤　智（日本野鳥の会愛知県支部 ）	4 月 19 日（土）	23

スペシャルトークショー ～展覧会の裏側を聞いてみよう～	西海　功 （国立科学博物館 動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究主幹） 高柳　明音 （女優・タレント） 柏木　晴香 （名古屋市科学館学芸員）	4 月 26 日 （土）	100
カワウとサギのコロニーを見にいこう！-昔と今の、鳥との共生	金澤　智 （日本野鳥の会愛知県支部 ） 佐野　尚子 （名古屋市博物館　学芸員） 野村　昌宏 （中日本高速道路） 匹田　竜太郎 （愛知県弥富野鳥園）	5 月 18 日 （日）	19

（2）特別展「古代ＤＮＡ―日本人のきた道―」

①開催趣旨　遺跡から発掘された古代の人々の骨に残るごく僅かなＤＮＡを解読し、人類の足跡をたどる古代ＤＮＡ研究。近年では技術の発展とともに飛躍的な進化を遂げ、ホモ・サピエンスの歩んできた道のりが従来想像されていたよりもはるかに複雑であったことが分かってきました。本展では、日本各地の古人骨や考古資料、高精細の古人頭骨ＣＧ映像などによって、最新の研究で見えてきた遥かなる日本人のきた道と、集団の歴史が語る未来へのメッセージを伝えます。

②開催期間　7 月 19 日（土）～9 月 23 日（火・祝） 開催日数日 55 日

③入 場 者　75,381 人

④会　　場　理工館地下 2 階　イベントホール

⑤主　　催　名古屋市科学館、NHK 名古屋放送局、NHK エンタープライズ中部、中日新聞社

⑥協　　賛　DNP 大日本印刷

⑦協　　力　名古屋市交通局

⑧特別協力　国立科学博物館

⑨後　　援　愛知県教育委員会、愛知県私学協会、愛知県子ども会連絡協議会

⑩入 場 料

一般	1,800 円	［前売券　1,600 円］
高大生	1,000 円	［前売券　800 円］
小中生	500 円	［前売券　300 円］

⑪展示内容
- 旧石器時代から古墳時代まで、ゲノム解析の最新研究成果で古代人の謎に迫ります。
- 祈り、なりわい、交流。最新の考古学とＤＮＡ研究で、2 万 7000 年の時を超えて古代人の姿が見えてきます。
- 国立科学博物館とＮＨＫの 8Ｋ技術を利用した共同研究の成果を活かし、超高精細ＣＧ映像を駆使して、日本人のきた道をたどります。
- 古くから人類とかかわりが深いイヌやイエネコの渡来の歴史や暮らしぶりにも迫ります。

第 1 章　最初の日本人― ゲノムから見た旧石器時代の人々
第 2 章　日本の基層集団― 縄文時代の人と社会
第 3 章　日本人の源流― さまざまな弥生人とその社会
第 4 章　国家形成期の日本― 古墳時代を生きた人々
　　トピック イヌのきた道
　　トピック イエネコの歴史
第 5 章　南の島の人々― 琉球列島集団の形成史
第 6 章　北の大地の人々― 縄文人がアイヌになるまで

⑫関連事業

内容	協力・講師	実施日	参加者数
講演会「古代ＤＮＡが語る、あなたのルーツ ～ＤＮＡだから、ここまでわかった～」	篠田　謙一 （国立科学博物館館長 分子人類学者）	7 月 27 日 （日）	187
【関連企画】「子ども科学電話相談」公開収録（ＮＨＫラジオ番組）	出演：成島　悦雄 （元・井の頭自然文化園園長） 西本　昌司 （愛知大学教授） 司会：柘植　恵水 （ＮＨＫアナウンサー） 主催：名古屋市科学館、 ＮＨＫ名古屋放送局 協力：特別展「古代ＤＮＡ」 実行委員会	7 月 19 日 （土）	191
【関連企画】「『出張！気になるミュージアム in 名古屋市科学館』～DNA からわかる！？わたしの過去・未来～」番組収録（ＮＨＫテレビ番組）	出演：篠田　謙一 （国立科学博物館長） 井上　咲楽 （タレント／特別展「古代ＤＮＡ」公式サポーター） 司会：加藤　里奈 （「まるっと！ミュージアム」リポーター） 主催：名古屋市科学館、 ＮＨＫ名古屋放送局 協力：特別展「古代ＤＮＡ」 実行委員会	7 月 30 日 （水）	184

（3）特別展「昆虫ＭＡＮＩＡＣ」

①開催趣旨　昆虫は、地球上で報告されている生物種の半数以上となる約 100 万種を占める最大の生物群です。 ほとんどは体長 1cm にも満たない小さな生物ですが、体のつくりから行動、能力にいたるまで、その多様性は驚くほど高く、変化に富んでいます。 世界にはまだ見ぬ昆虫が無数に存在しており、身近な環境にすら将来の新種や新発見が眠っています。本展では、国立科学博物館の研究者による、マニアックな視点と研究者セレクトのマニアックな昆虫標本、最新の昆虫研究を織り交ぜ、カブトムシやクワガタムシといったおなじみの昆虫はもちろん、クモやムカデなどを含む「ムシ」たちのまだ見ぬ驚きの多様性の世界に迫ります。

②開催期間　11 月 8 日（土）～2 月 1 日（日）　開催日数日 66 日

③入 場 者　54,626 人

④会　　場　理工館地下 2 階　イベントホール

⑤主　　催　名古屋市科学館、読売新聞社、東海テレビ放送

⑥特別協力　国立科学博物館

⑦入 場 料

一般	1,800 円	［前売券　1,600 円］
高大生	1,000 円	［前売券　800 円］
小中生	500 円	［前売券　300 円］

⑧展示内容
・誰もが知っているオーソドックスなムシや生態の展示も、ディープな解説とこだわり満載の「見せ方」でマニアックに紹介。
・普通の昆虫展ではあまり見られないマニアックなムシや生態を展示し、ムシの多様性をより深く紹介・解説。

＜ゾーン 1　昆虫とムシ＞
ムシに関する基本的な知識を大型グラフィックでおさらいし、標本や映像で MANIAC な世界へ誘う。

＜ゾーン 2　多様なムシ＞
巨大模型や体験展示、標本によってムシたちの多様な世界を紹介。
巨大模型と展示したムシの種類：
・ギンヤンマ（ヤゴ）巨大模型：トンボ、セミ類
・エゾオナガバチ巨大模型：ハチ類
・ウスバキチョウ巨大模型（展示はエントランスホール）：チョウ・ガ類
・オオナガトゲグモ：クモ類、多足類
・オオセンチコガネ：コウチュウ類

＜ゾーン 3　ムシと人＞
標本や映像、昆虫採集道具などの資料によって、人とムシのこれまでとこれからの関係を解説。
名古屋展オリジナルとして、「秋冬の昆虫」の解説パネル及び標本展示を行った（協力：戸田尚希氏）

⑨関連事業

内容	協力・講師	実施日	参加者数
特別講演会「ムシってＭＡＮＩＡＣ!?」	井手　竜也 （国立科学博物館 動物研究部 陸生無脊椎動物研究グループ）	11 月 8 日 （土）	90

特別内覧会	小塩　哲朗 （名古屋市科学館学芸員）	11 月 22 日 （木）	103

（4）企画展　「SL を感じよう！」

①開催趣旨　令和 8 年 3 月に当館の蒸気機関車 B6 形 2412 号が 9 年ぶりに動態復元され展示に復帰する。それを記念し、来館者に SL に親しんでもらう機会を持っていただこうと考え本展示を企画しました。B6 形蒸気機関車とはどのような機関車なのか。機関車、設計者、設計が行われた工場、製図者、近隣の保存蒸気機関車、全国の動態保存蒸気機関車を展示します。動態保存蒸気機関車は、その迫力を感じていただくため、大画面で放映します。

②開催期間　2 月 14 日（土）～3 月 1 日（日）　開催日数 13 日

③入 場 者　5,234 人

④会　　場　理工館地下 2 階 イベントホール

⑤主　　催　名古屋市科学館

⑥入 場 料　無料

（5）特別展「大絶滅展―生命史のビッグファイブ」

①開催趣旨　生命が誕生してから 40 億年、地球上では幾度もの生命の危機が訪れました。それは主に地球外からやってきた小天体の衝突や火山などの地球内部の活動によりもたらされましたが、ときに生命活動そのものが引き金になったこともあります。しかし生命は、その都度、したたかにそれらの危機を乗り越え、絶滅したグループに代わるグループが新たに繁栄することを繰り返すことで、多様に進化を遂げてきました。言わば、大量絶滅は生命の繁栄を促した現象だと捉えることもできるのです。本展では、その中でも規模の大きかった 5 回の「大量絶滅」事変（通称「ビッグファイブ」）を、化石や岩石に残された様々な証拠から紐解き、「生き物たち」の生存をかけた進化の歴史を辿ります。

②開催期間　3 月 20 日（金・祝）～6 月 14 日（日）　開催日数 77 日

③入 場 者　136,508 人

④会　　場　理工館地下 2 階 イベントホール

⑤主　　催　名古屋市科学館、ＮＨＫ名古屋放送局、ＮＨＫエンタープライズ中部、読売新聞社

⑥特別協力　国立科学博物館

⑦入 場 料

一般	2,000 円	［前売券　1,800 円］
高大生	1,000 円	［前売券　800 円］
小中生	500 円	［前売券　300 円］

⑧展示内容　地球の歴史の中で起こった 5 回の大絶滅イベント「ビッグファイブ」を取り上げ、大絶滅の前後それぞれの地球上の環境や生物の様子とその変化、そして大絶滅が起こったきっかけなどを 200 点を超える標本で解説した。人間の活動が地球環境に影響を与え、第 6 の大絶滅を迎えているとも言われる今、地球や生命の歴史を学ぶことで今後の私たちの未来について考える機会を提供することを目指した。また、名古屋周辺の大絶滅に関連する場所として、木曽川周辺のチャートを展示した。

⑨関連事業

内容	協力・講師	実施日	参加者数
陸と海からみる大絶滅	矢部　淳 （国立科学博物館 生命史研究部 進化古生物研究グループ長） 大路　樹生 （名古屋市科学館　館長）	3 月 20 日 （金・祝）	136
絶滅境界を見に行こう！		4 月 5 日 （日）	33
ナイトミュージアム		4 月 11 日 （土）	315
		4 月 12 日 （日）	303
特別内覧会	木田　梨沙子 （名古屋市科学館学芸員）	4 月 25 日 （土）	177
		5 月 16 日 （土）	174
ギャラリートーク	三上　智之 （国立科学博物館 生命史研究部 日本学術振興会 特別研究員 PD）	5 月 24 日 （日）	

３　プラネタリウム投影

（１）一般投影

一般の方を対象として今夜の星の探し方から幅広い天文のテーマを、わかりやすく解説する。１回の投影時間は約 50 分。

テ　ー　マ	期　間	テ　ー　マ	期　間
高エネルギー天文学	～4 月 9 日	シドニーの星空 ～姉妹都市提携 45 周年記念～	10 月 1 日 ～10 月 30 日
土星の環が消えた！	4 月 10 日 ～5 月 8 日		
星座と星宿	5 月 9 日 ～6 月 6 日	ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡	10 月 31 日 ～11 月 30 日
ブラックホール	6 月 7 日 ～7 月 17 日	太陽系に生命を探す	12 月 3 日 ～R8　1 月 6 日
めざせ！ 月面着陸	7 月 19 日 ～9 月 6 日	こいぬ座物語	1 月 7 日～
スマホで楽しむ星空	9 月 7 日 ～9 月 30 日	令和 7 年度観覧者数＝**262,110** 人	

＊1 月 20 日～3 月 18 日 機器更新のため、プラネタリウムは休演

【参考】令和 6 年度観覧者数＝**296,587** 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
投影回数	103	93	80	89	103	68	84	89	77	44	－	42	872

【参考】令和 6 年度投影回数＝1,017 回

（２）ファミリーアワー

家族連れや、初めてプラネタリウムをご覧になる方などにオススメの、プラネタリウムの基本が体験できるプログラム。今晩の星空から宇宙旅行までの楽しい内容となっている。

◇　テーマ　　～ 6 月 8 日 わくわく！ うちゅう旅行　6 月 14 日～ 9 月 15 日 いるか座ものがたり
9 月 20 日～ 3 月 22 日　太陽系アドベンチャー 3 月 24 日～ わくわく！ うちゅう旅行

◇　投影時間　　土曜・春休み・冬休み　14：00～
日曜・祝日・夏休み　　11：20～，14：00～
令和 7 年度投影回数＝233 回
令和 7 年度観覧者数＝**77,206** 人

（３）学習投影・幼児投影（学校等団体向け）

幼稚園児、保育園児、小学生及び中学生の団体向けの学習投影で、それぞれの学年等に応じた内容のプログラムを編成し、わかりやすく解説する。

事業名・対象	内　　容	期　　間	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影 (幼稚園・保育園の年長児)	星座や星の物語などを全天周映像を活用しながら構成し、幼児が楽しみながら星に親しめるように解説する。	5 月 13 日 ～7 月 17 日 (39 日間)	65	**17,664** (620 園)

小　学　校 ４年生向け	「冬の星座と太陽･月･星の動き」 プラネタリウムで星座を探したり、太陽･月･星が時間とともに動いていくようすを眺め、楽しみながら天体に関心を持てるような話をする。	11 月 5 日 ～1 月 15 日 (27 日間)	60	**16,839** (244 校)
小　学　校 ６年生向け	「地球から宇宙へ」 太陽と月と地球の関係、太陽系のしくみ、そして広大な宇宙の姿にふれ、宇宙の中の人間について考える。	9 月 9 日 ～10 月 31 日 (27 日間)	57	**16,290** (234 校)

【参考】 令和 6 年度

事　業　名	投影回数	観覧者数 (人)
幼児向け投影	76	**19,251** (642 園)
小　学　校 ４年生向け	67	**18,166** (257 校)
小　学　校 ６年生向け	61	**16,664** (239 校)

（4）特別投影

テーマについてじっくり解説する大人向けの夜間の特別投影と､聴覚障害者の方も健常者とともに鑑賞できるようにライブで解説を字幕付きで投影する特別投影を行っている。

① 夜間投影

18 時 30 分からの大人向けプログラム。七夕やお月見など、その時々にちなんだ天文の話題や宇宙のテーマを取り上げる。

開催期日	テーマ	参加者数(人)	開催期日	テーマ	参加者数(人)
5 月 24 日	プラネタリウム 100 周年 フィナーレ	**297**	10 月 5 日	お月見の夜	**303**
7 月 6 日	七夕の夜	**281**	12 月 24 日	クリスマスの夜	**199**
8 月 9 日	さまざまな波長でみる宇宙	**297**	12 月 25 日	クリスマスの夜	**222**
8 月 29 日	旧暦七夕の夜	**298**	計		**1,897**

【参考】令和 6 年度参加人数＝**1,805** 人

② 特別投影「QUEEN HEAVEN」supported by NTP GROUP

イギリスの伝説的ロックバンド“QUEEN”の音楽、映像、星空とレーザーが織りなす特別投影を開催。

◇ 開催期日　令和 7 年 10 月 11 日(土) 10 月 12 日(日)
◇ 開催時間　19:00～20:30
◇ 観覧料　一般 5,000 円　高大生（29 歳以下）3,000 円
◇ 参加者数　計 **682** 人(10 月 11 日：**341** 人　10 月 12 日：**341** 人)
◇ 共催　（公財）名古屋市文化振興事業団（青少年文化センター）

③ 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウム番組に字幕を付けて投影

◇　対象　　一般(聴覚障害者を含む)
◇　開催期日　　令和 8 年 3 月 28 日(土)
◇　参加者数　　335 人
【参考】令和 6 年度参加人数＝552 人

４　教育普及事業

（１）天文分野

（講師：敬称略）
連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数（人）	共催者等	市費	連携
昼間の星をみる会 天文台の望遠鏡で昼間にみえる星を観望	4月13日(日) ～3月7日(土) (24回)	**12,208**		○	
市民観望会 プラネタリウムでの講座の後、天文台の口径80cm大望遠鏡や「星のひろば」に設置した望遠鏡で、観望条件のよい天体をご覧いただく。公式YouTubeチャンネルを用いてオンラインでも開催。	5月10日(土) ～3月21日(土) (10回)	**1,571**		○	
月と火星をみる会	5月10日(土)	**201**			
月と春の星をみる会	6月1日(日)	**102**			
月と二重星をみる会	7月5日(土)	**170**			
月をみる会	10月4日(土)	**112**			
土星をみる会	10月25日(土)	**184**			
土星と月をみる会	11月2日(日)	**276**			
オンライン市民観望会「土星」	11月25日(火)	**―**			
土星とすばるをみる会	12月14日(日)	**257**			
オンライン市民観望会「皆既月食」	3月3日(火)	**―**			
木星をみる会	3月21日(土)	**269**			
第32回　公開セミナー **「物理学と宇宙」** 講演会・パネルディスカッション・ プラネタリウム　(高校生以上)	8月3日(日)	**対面214** **オンライン175**	名古屋大学大学院理学研究科・宇宙地球環境研究所		○
おんたけ天文教室 木曽御岳の雄大な自然の中にある名古屋市民おんたけ休暇村で天体観望を行う	8月23日(土) ～25日(月)	**50**	(公財)名古屋市民休暇村管理公社		
第22回　坂田・早川記念レクチャー **「宇宙の物質史を辿る」** 講師：山本　智氏	2月1日(日)	**205**	名古屋大学大学院理学研究科・素粒子宇宙起源研究所		○

（２）理工分野

（講師：敬称略）
連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数（人）	共催者等	市費	連携
かがくの実験室 **「NCSmで元素な冒険」** (小学5年生から高校生 ※小学生は保護者同伴)	6月21日(土) 22日(日)	**34** (30組)		○	
楽しい鉄道模型展 名古屋模型鉄道クラブによる鉄道模型の走行	6月29日(日)	**609**	名古屋模型鉄道クラブ		
	10月19日(日)	**544**			

かがくの実験室「ポンポン蒸気船を作ろう！」 （小学校 3～6 年生とその保護者）	7 月 12 日(土) 13 日(日)	**61** (31 組)		○	
放射線ウォッチング 測定キットの組み立てと測定・実験 （一般・教員・高校生）	7 月 23 日(水) ～26 日(土)	**46** 大人　**26** 高校生　**20**	中部原子力懇談会		
電子工作教室（ジュニアコース） **「フルカラーLED で色を学ぼう」** （小学 5・6 年生）	7 月 25 日(金)	**14**		○	
電子工作教室（親子コース） **「オルゴールごまをつくろう」** （小学 3・4 年生と保護者）	7 月 26 日(土) 27 日(日)	**50** (25 組)		○	
リフレッシュ理科教室 **「先生のための実験工作教室」** （小中学および特別支援学校の教員）	8 月 1 日(金)	**30**	応用物理学会東海支部		
リフレッシュ理科教室 **「こどものための実験工作教室」** （小学３年生～中学生）	8 月 2 日(土)	**50**	応用物理学会東海支部		
木曽ひのきからアロマオイルをとりだそう （小学３～６年生と保護者）	8 月 8 日(金) 8 月 9 日(土)	**42** (21 組)	木曽広域交流事業基幹委員会		
かがくの実験室「花火の科学」 （中学生）	8 月 8 日(金)	**23**	名古屋市博物館	○	
かがくの実験室「花火の科学」 （小学３・４年生と保護者）	8 月 9 日(土) 10 日(日)	**56** (28 組)	名古屋市博物館	○	
夏休み親子写真教室 （小学生と保護者）	8 月 23 日(土) 24 日(日)	**120** (59 組)	公益財団法人日本写真協会		
名古屋市科学館・中京大学連携講座 **「最高の科学技術を子どもたちに！」** **光で奏でるメロディー　ープログラミングをやってみようー** 講師：中京大学大学院工学研究科 准教授　中　貴俊　他 （小学生と保護者）	8 月 30 日(土)	**34** (15 組)	中京大学人工知能高等研究所		○
親子からくり教室 九代玉屋庄兵衛氏によるからくり人形の実演と簡単なからくり人形の製作。 （小学生と保護者）	9 月 23 日(火)	**30** (15 組)	九代玉屋庄兵衛後援会		
航空教室「飛行機はなぜ飛ぶの？　高性能ペーパーグライダーを作ろう」 （小学 5・6 年生）	10 月 5 日(日)	**15**	あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム		
スマホ分解教室 スマホを分解し、その構造とリサイクルについて学びます。(小学 3 年生から 6 年生とその保護者)	10 月 18 日(土)	**34**	KDDI 株式会社中部北陸総支社		
かがくゼミナール「楽しく学ぼう！元素カルタ」 講師：株式会社 polarewon 取締役社長　リ・レウォン氏 （小学校 3～6 年生と保護者）	11 月 24 日(月･祝)	**20** (10 組) 小人 **10** 大人 **10**		○	

わかった気になる素粒子と宇宙 （中学1年生～高校3年生と保護者）	12月20日(土)	21	名古屋大学素粒子宇宙起源研究所		○
鉄道ひろばオープニングセレモニー 鉄道ひろばオープンを記念し、関係者及び来賓を招きオープニングセレモニーを行った	3月27日(金)	50		○	
鉄道ひろばオープニングイベント 鉄道ひろばにおいてB6運転体験、B6運転室開放、鉄道ひろば学芸員解説、地下ピット見学、また鉄道ひろば及び館内においてスタンプラリーを行い全てのスタンプ押印者には記念品を贈呈した。	3月28日(土) 29日(日)	約2,000		○	
B6運転体験 車のアクセルに相当する加減弁ハンドルを操作し、B6の動輪を動かします。	3月28日(土) 29日(日)	126			
B6運転室開放 B6の運転室の中に入り、蒸気機関車の機関士の制服を着て写真撮影！	3月28日(土) 29日(日)	63			
鉄道ひろば学芸員解説 鉄道ひろばの各展示付近で学芸員の解説を聞くことができます。	3月28日(土) 29日(日)	180			
地下ピット見学 普段は入ることのできない点検用地下ピットに入り、B6の機構を下から見学します。	3月28日(土) 29日(日)	42			

（3）生命環境分野

（講師：敬称略）
連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数(人)	共催者等	市費	連携
第49回　化石を語る文化講演会	4月29日(火)	213	東海化石研究会、中日新聞社		
地質の日オンライン一般講演会パブリックビューイング	5月10日(土)	100			
フィールドセミナー　地球教室 講義や実験を通して学び、野外のフィールドで実習を行う2日連続講座 （小学3年生以上（小学生は保護者同伴））	5月31日(土) ～2月15日(日)	108	名古屋大学博物館 協力 愛知大学名古屋一般教育研究室、鳳来寺山自然科学博物館、蒲郡市生命の海科学館	○	○
第76回地球教室 **「河原で宝石と歴史をみつけよう！」** 開催場所：矢作川の河原、名古屋大学博物館	5月31日(土) 6月1日(日)	30			
第77回　地球教室 **「ナゴヤで化石をさがそう！」** 開催場所：名古屋大学博物館、名古屋駅周辺、栄地区	8月2日(土) 3日(日)	24			
第78回　地球教室 **「愛知県の石 ピッチストーンってどんな石？」** 開催場所：名古屋大学博物館、新城市鳳来寺山	10月11日(土) 12日(日)	24			
第79回　地球教室　「鉱物をさがそう！」 開催場所：名古屋市科学館、蒲郡市生命の海科学館 三田石材（愛知県西尾市）	2月14日(土) 15日(日)	30			

第３１回生きている地球の記録－国際環境映像祭入賞作品上映会	7 月 20 日(日)	164	公益財団法人三菱ＵＦＪ環境財団、中日新聞社、グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会		
南極・昭和基地ライブトーク 南極との生中継！現地で活動中の第 66 次南極観測隊の越冬隊員が、基地の内部や現地での活動をご紹介します。	7 月 26 日(土)	94	国立極地研究所		○
おじゃま虫の世界－衛生害虫と感染症対策について学ぼう－ 生きた昆虫、標本、衛生害虫等の展示、標本づくり紹介、手洗いチェック（ATP 測定)、スズメバチの巣解体ショー等	7 月 30 日(水)	800 (標本づくり紹介 10 手洗いチェック 22 解体ショー 190 含む)	名古屋市保健所感染症対策・調査センター（名古屋市健康福祉局）	○	
手の菌を見てみよう！～正しい手洗い体験～ 自分の手についている菌を培養したり、手洗いがうまくできているかチェックしてみよう。	7 月 30 日(水) 31 日(木)	632	健康福祉局健康部食品衛生検査所食品安全・安心学習センター		
地球 BOX を作ろう 海底地形を詳細に描いた正 6 面体地球儀ペーパークラフト「地球 BOX」工作イベント	9 月 5 日(金) ～7 日(日)	559	第四管区海上保安本部		
	1 月 30 日(金) ～2 月 1 日(日)	1,000			
かがくゼミナール「くすりのなかみを見てみよう　-薬との上手なつきあい方パート 30」 講師：名古屋市薬剤師会　伴　麻美子　他 （小学 3 年生から中学生と保護者）	11 月 9 日(日)	20 (10 組) 大人 10 小中 10		○	
ちきゅう LIVE！@名古屋市科学館 プチスポット編	11 月 23 日(日)	86			
第 45 回　古川為三郎サイエンス講演会「ゾウの時間・ネズミの時間・私たちの時間」 講師：東京科学大学名誉教授　本川　達雄氏	1 月 10 日(土)	148		○	
日本気象学会中部支部公開気象講座「最新の東海地方の気候変動」	1 月 31 日(土)	96	日本気象学会中部支部、名古屋地方気象台		
かがくゼミナール「身近にある小さな物を顕微鏡で観察してみよう」 講師：名古屋市立大学大学院医学研究科共同研究教育センター　高瀬　弘嗣氏	2 月 1 日(日)	16		○	

かがくゼミナール「薬局の薬で実験しよう 漢方編-薬との上手なつきあい方 パート 28」 講師：名古屋市薬剤師会　伴　麻美子　他 （中学生と高校生）	2 月 8 日(日)	**28** 中学生 **19** 高校生 **9**		○	
名古屋市立大学・名古屋市科学館 サイエンスパートナーシップ事業 特別講座「あなたにもできる　救命処置」 講師：名古屋市立大学大学院　医学研究科 救命救急医療学　教授　松嶋麻子 インストラクター：名古屋市立大学 救命救急サークル MeLSC（メルシー） （小学生以上）	3 月 7 日(土)	**22** 大人 **11** 高校生 **1** 小中学生**10**	名古屋市立大学		○

（4）その他イベント

（講師：敬称略）
連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数（人）	共 催 者 等	市費	連携
愛・地球博 20 周年記念行事 De La MIRAI NAGOYA 出展「本当の豊かさへ～人類と動物の絶滅～」	9 月 13 日(土) 14 日(日)	**約 700**	愛・地球博 20 周年記念行事「運営事務局」（総務局）	○	
メディアアートで科学の魅力を伝えてみた 開催場所 1：名古屋市科学館サイエンスホール 開催場所 2：ナディアパークアトリウム	1：10 月 4 日(土) 5 日(日) 2:10 月 22 日(水) ～26 日(日)	**1：1,140** **2：来館者**	名古屋芸術大学、ナディアパーク		
青少年のための科学の祭典 2025・名古屋大会 開催場所：名古屋市科学館、でんきの科学館	10 月 4 日(土) ～5 日(日)	**3,118** (5,224) ()内はでんきの科学館を含む	「青少年のための科学の祭典」名古屋大会実行委員会、公益財団法人中部科学技術センター、公益財団法人日本科学技術振興財団、中日新聞社		

～名古屋シドニー姉妹都市提携45周年記念事業～　名古屋×シドニーサイエンスコラボフェス 【実演・イベント】 ①プラネタリウム一般投影「シドニーの星空～姉妹都市提携45周年～」 10月1日～10月30日 ②サイエンスショー「ブーメランはなぜ戻ってくる？」10月11日、11月15日 ③タッチ＆トーク「オーストラリアの石にさわってみよう！」10月19日、11月22日 ④YouTube配信オンライン市民観望会「皆既月食」シドニー天文台と同時中継 3月3日 【常設展スペシャル展示】 ・天文館5階 特別映像投影「The Earth Above」 ・理工館5階　「日本の南極観測隊とシドニー」 ・理工館5階　「ウールの科学」 ・理工館6階　話題の科学「ニューサウスウェールズ州1号機関車と客車」 ・理工館6階　話題の科学「科学館職員のシドニーめぐり」 ・生命館2階　「オーストラリアの石たち」 ・生命館4階　「血液型から見る日本とオーストラリア」	10月1日(水) ～11月30日(日) 3月3日(火)	**①25,106** **②224** **③211** **④約10,700** (R8年7月15日時点)	オーストラリア博物館、パワーハウスミュージアム、一般財団法人　自治体国際化協会シドニー事務所、国立科学博物館、蒲郡市生命の海科学館、ディーキン大学MotionLab、長者町スクール・オブ・アーツ	○	
名古屋市立大学×名古屋市科学館 **サイエンスパートナーシップイベント** **「未来をひらく科学のチカラ」** **「細胞が感じるストレスとは」** 講師：名古屋市立大学特任教授・名誉教授 林　秀敏 **「石は語る：地球の歴史を記憶する結晶たち」** 講師：名古屋市立大学大学院　理学研究科 准教授　三浦　均 **「歴史を紐解く科学のすすめ」** 講師：名古屋市科学館学芸員　木田　梨沙子	12月20日(土)	**29** 事前申込 **26** 当日申込 **3** 一般 **11** 高大生 **14** 小中学生 **4**	名古屋市立大学		○

（５）オンラインによる情報発信

① 名古屋市科学館公式 YouTube チャンネル

（https://www.youtube.com/c/NagoyaCityScienceMuseum）

さまざまな科学の話題や科学館に関することを動画にて紹介。観望会をはじめ、学芸員がハイレベルな科学の内容を解説するものや、科学館で開催されるイベントや働くスタッフを紹介するなど、いろんなジャンルの動画を配信。令和 2 年 4 月 14 日から運用を開始。

投稿数：3 本（令和 7 年度）

総視聴数：491,000 回（令和 8 年 7 月 12 日現在）

チャンネル登録者数：7,133 人（令和 8 年 7 月 12 日現在）

タイトル	配信日
オンライン市民観望会「土星」	11 月 25 日(火)
オンライン市民観望会「皆既月食」	3 月 3 日(火)
2025 年度企画展「SL を感じよう！」（アーカイブ動画）	3 月 4 日(水)

（令和 6 年度：3 本）

② 名古屋市科学館公式 HP における科学に関する情報発信

（https://www.ncsm.city.nagoya.jp/study/）

・「学芸員 NOW」

当館学芸員が話題の科学や最先端科学のほか、意外と知られていない学芸員の仕事内容や科学館のウラガワなども紹介。6 件公開（令和 7 年度）

（令和 6 年度：7 件）

・「天文情報」

当館学芸員がその時々の天文現象などを平成 7 年以降、随時情報発信。22 件公開（令和 7 年度）

（令和 6 年度：22 件）

主なタイトル	配信日
国際宇宙ステーション情報	複数回
プラネタリウム 100 周年の記憶と記録	5 月 28 日(水)
地球上の雨は、どこでどれくらい降っている？	7 月 25 日(金)
ぐるぐるアプリ	8 月 23 日(土)
こうすけハカセのサイエンスショー（令和 7 年度 10 月～）	9 月 28 日(日)
天の川銀河円盤に落下する星形成の材料"分子雲"を発見	2 月 4 日(水)

③ 名古屋市科学館公式 SNS（Instagram・Facebook・X〈旧 Twitter〉）における情報発信

科学館の展示品、開催されるイベント、施設利用に関することを配信。総務課・学芸課が内容を企画し、必要に応じて随時配信。外国人を含む来館者への情報発信を主な目的として、令和 7 年 2 月 13 日から運用を開始。X〈旧 Twitter〉では令和 7 年 2 月 21 日より開館・休館日・プラネタリウム投影スケジュールの変更等のアナウンス配信を随時配信（一部の記事については英語・中国語・韓国語を併記）。

・名古屋市科学館公式 Instagram（@ncsm_Nagoya）

投稿数：111 件（令和 7 年度）

フォロワー数：**8,204** 人（令和 8 年 7 月 12 日時点）

・名古屋市科学館 Facebook（アカウント名：名古屋市科学館【公式】）
投稿数：109 件（令和 7 年度）
フォロワー数：144 人（令和 8 年 7 月 12 日時点）
・名古屋市科学館公式 X〈旧 Twitter〉（@ncsm_Nagoya）
投稿数：580 件（令和 7 年度）
フォロワー数：3,407 人（令和 8 年 7 月 12 日時点）

投稿媒体	主なタイトル	配信日
Instagram・Facebook・X〈旧 Twitter〉	【3 月 3 日(火) 皆既月食を生配信】	2 月 20 日（金）
Instagram・Facebook・X〈旧 Twitter〉	【明日 6 月 21 日は夏至（げし）】	6 月 20 日（金）
Instagram・Facebook・X〈旧 Twitter〉	【クセすご昆虫たちの競演】	11 月 7 日（金）
Instagram・Facebook・X〈旧 Twitter〉	【日本最大級の元素周期表あります】	9 月 12 日（金）
Instagram・Facebook・X〈旧 Twitter〉	天文館５階「デジタル式プラネタリウムのしくみ」	6 月 13 日（金）

（閲覧数順）

（6）出前ミュージアム(その道の達人派遣事業)及び館外事業

職員やボランティアが小学校中学校へ出向き、日ごろ学校では実施困難な大型機材を活用した科学実験ショー、身近な材料を使用した科学工作の指導及び学芸員によるオリジナルな資料等を使用した科学講座を展開し、ふだんと一味違った授業を行った。

① 出前ものづくり工房（ものづくりボランティア）

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数	ボランティア数
びっくりへび、虹の筒	千種	上野小	2,特支	6	18	水	**132**	**8**
びっくりへび	昭和	松栄小	1,特支	6	19	木	**159**	**8**
びっくりへび	緑	徳重小	1	6	20	金	**123**	**8**
びっくりへび、虹の筒	中川	戸田小	1,2	6	25	水	**147**	**8**
びっくりへび、虹の筒	港	福田小	1,2	6	27	金	**160**	**8**
虹の筒	守山	吉根小	2,特支	7	1	火	**101**	**8**
びっくりへび	南	宝南小	1	7	2	水	**40**	**4**
びっくりへび	港	東築地小	1,2	7	3	木	**70**	**4**
浮沈子	南	春日野小	4	7	10	木	**77**	**4**
びっくりへび	中	丸の内小	1,2	9	4	木	**92**	**8**
びっくりへび	東	砂田橋小	2	9	9	火	**84**	**4**
びっくりへび	緑	小坂小	2	9	10	水	**52**	**4**
びっくりへび	緑	大清水小	2	10	7	火	**125**	**8**
びっくりへび	瑞穂	瑞穂小	2	10	15	水	**82**	**4**
びっくりへび、虹の筒	西	城西小	1,2	11	6	木	**163**	**8**
びっくりへび	天白	植田南小	2	11	12	水	**69**	**4**
びっくりへび、虹の筒	中村	日比津小	1,2	12	3	水	**114**	**8**
びっくりへび、虹の筒	東	筒井小	1,2	12	4	木	**151**	**8**
ぱたぱたチョウ	緑	大高北小	3	12	11	木	**65**	**4**
からまり時計	中川	赤星小	5	12	16	火	**54**	**8**
びっくりへび、ぱたぱたチョウ	名東	前山小	1,3	1	15	木	**105**	**8**
びっくりへび、虹の筒	港	中川小	1,2	1	20	火	**136**	**8**
虹の筒、ぱたぱたチョウ	緑	熊の前小	2,3	1	28	水	**203**	**12**
からまり時計	昭和	吹上小	5	1	30	金	**74**	**8**
びっくりへび、虹の筒、ぱたぱたチョウ	中	松原小	1,2,3	2	6	金	**129**	**8**
びっくりへび、虹の筒	千種	自由ヶ丘小	1,2	2	10	火	**92**	**8**
びっくりへび、虹の筒、ぱたぱたチョウ	天白	山根小	1,2,3	2	20	金	**217**	**12**
計				27 回			**3,016**	**192**
	令和 6 年度実績			27 回			**2,907**	**191**

②出前サイエンスゼミナール（学芸員）

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数(人)
ダンゴムシの行動のナゾ	守山	廿軒家小	3	5	16	金	**94**
ダンゴムシの行動のナゾ	千種	大和小	3	5	30	金	**52**
ダンゴムシの行動のナゾ	名東	前山小	3	6	6	木	**50**
身の回りの交通地下鉄を知ろう	緑	太子小	4	6	10	火	**56**
雪の結晶を作ろう	中川	五反田小	6	7	4	金	**77**
ムラサキなキャベツ	緑	大高北小	6	9	12	金	**48**
空気の力	名東	本郷小	4	9	17	水	**52**
ダンゴムシの行動のナゾ	中川	戸田小	3	9	18	木	**88**
宇宙の広がりを知ろう	港	西福田小	6	10	7	火	**16**
ムラサキなキャベツ	中川	赤星小	6	10	8	水	**56**
ムラサキなキャベツ	緑	鳴子小	6	10	9	木	**74**
石の一生	東	筒井小	6	10	10	金	**65**
石の一生	港	西福田小	5	10	27	月	**25**
ムラサキなキャベツ	港	西福田小	6	10	28	火	**16**
ペットボトルで雪の結晶をつくろう	名東	本郷小	5	11	5	水	**56**
石の一生	中川	長須賀小	6	11	20	木	**55**
石の一生	名東	本郷小	6	12	2	火	**60**
計				17 回			**943**
		令和 6 年度実績		17 回			**1,013**

③トワイライト事業（運営員）

テーマ	区	学校名	月	日	曜	参加者数(人)
低温の実験・静電気の実験	港	当知小	10	2	木	**24**
	緑	滝の水小	10	16	木	**29**
	緑	太子小	11	6	木	**27**
	西	中小田井小	11	20	木	**32**
	港	高木小	12	4	木	**29**
	名東	豊が丘小	12	18	木	**39**
	西	山田小	1	29	木	**45**
計			7 回			**225**
		令和 6 年度実績	7 回			**276**

（7）ボランティアの養成及び活用

①天文ボランティア（ＡＬＣ）　　登録者数 112 人

事　業　名　及　び　内　容	開催期間	参加ボランティア（人） （ ）内は参加者数
【養成】　天文指導者養成講座 天文事業にボランティアとして協力できる人材を養成する講座で、参加資格は高校生以上(基礎講座・実技講座・館内夜間研修等、合計 4 回）。	2 月 21 日(土) ～3 月 15 日(日)	延べ　51
【活用（館内事業）】 天文指導者養成講座修了者を天文ボランティアとして活用		延べ　579 (13,779)
1）市民観望会(8 回)※オンライン開催は除く	5 月 10 日(土) ～3 月 21 日(土)	延べ　198 (1,571)
2）昼間の星をみる会(24 回)	4 月 13 日(日) ～3 月 7 日(土)	延べ　381 (12,208)
【活用（館外連携事業）】 （公財）名古屋市民休暇村管理公社との共催等		延べ　63 (50)
1）おんたけ天文教室	8 月 23 日(土) ～8 月 25 日(月)	16 (50)
2）おんたけ休暇村（昼星・夜の観望会）	7 月 31 日(木) ～8 月 24 日(日)	延べ　25
【研修等】 天文事業に関する勉強会など	合計 2 日	延べ　22

②ものづくりボランティア　　登録者数：147 人

事　業　名　及　び　内　容	開催期間	参加ボランティア（人） （ ）内は参加者数
【養成】　ものづくりボランティア養成講座 ものづくり工房をはじめとして、各種事業において、実験工作などの学習支援者となるボランティアの養成（講座 7 回）で、参加資格は 18 歳以上。 受講修了者のうち希望する者はものづくりボランティアとして登録	12 月 13 日(土) ～2 月 7 日(土)	延べ　6 (8)
【活用（館内事業）】 館の事業（ものづくり工房・ものづくり教室）の学習支援者として活動 (注)詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	合計 47 回 4 月～3 月	187 (2,189)
1）ものづくり工房　毎週土曜日（夏・冬・春休みを除く）	合計 37 回 4 月～3 月	147 (2,030)
2）ものづくり教室　第３土曜日等（７・１０月を除く）	合計 10 回 4 月～2 月	40 (159)

【活用（館外連携事業）】 　生涯学習施設、類似施設及び小中学校との連携事業の学習支援者として活動	合計 43 回 6 月～3 月	265 (3,617)
1）　生涯学習センターとの連携	合計 6 回	30 (144)
		内訳
①千種生涯学習センター「親子でチャレンジ！科学工作」	6 月 28 日(土)	5 (24)
②瑞穂生涯学習センター「親子科学工作教室」	7 月 12 日(土)	5 (30)
③中村生涯学習センター「親子科学工作教室」	7 月 26 日(土)	5 (29)
④中川生涯学習センター「ふれあい日曜学校」	9 月 28 日(日)	5 (19)
⑤南生涯学習センター　「親子で楽しむサイエンス」	11 月 22 日(土)	5 (15)
⑥熱田生涯学習センター「親子科学工作教室」	2 月 28 日(土)	5 (27)
2）　類似施設との連携	合計 5 回	23 (174)
		内訳
①　とだがわこどもランド「科学工作教室」	7 月 21 日(月･祝)	5 (36)
②　西文化センター「夏休み科学工作教室」	7 月 23 日(水)	3 (10)
③　南部公民館（豊明市役所生涯学習課）「公民館講座」	2 月 14 日(土)	5 (23)
④　とだがわこどもランド「科学工作教室」	3 月 20 日(金･祝)	5 (27)
⑤　名古屋市立大学(大隅基礎科学創成財団)「小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集い」	3 月 22 日（日）	5 (78)
3）出前ものづくり工房（出前ミュージアム） (注)詳細は、別掲の「出前ミュージアム」の項に掲載	合計 27 回 6 月～2 月	192 (3,016)
4）出前ものづくり教室（名古屋少年少女発明クラブ） (注)詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	合計 5 回 1・2・3 月	20 (283)
【自主企画事業（ものづくりひろば）】 　ものづくりボランティアの自主企画事業として、休日・祝日・小中学校の長期休業期間等の来館者を対象に実施。同時にボランティアの研修の場ともしている。	合計 36 回 4 月～3 月	256 (2,021)
【研修等】 　総会（定例会①）	4 月 12 日(土)	131
定例会②	9 月 6 日(土)	104
定例会③	2 月 7 日(土)	108

③展示室ボランティア　　登録者数：240 人

事　業　名　及　び　内　容	開催期間	参加ボランティア（人） （ ）内は参加者数
【養成】　展示室ボランティア養成講座 常設展示等の説明・安全指導等を行うボランティアの養成（講座 5 回）で、参加資格は 18 歳以上。受講修了者のうち希望する者は展示室ボランティアとして登録	1 月 24 日(土) ～3 月 17 日(火)	延べ　18 (23)
【活用】 1）展示フロアでの活動 常設展示等の説明、常設展示等の利用にあたっての安全指導、常設展示等の運営の補助業務に活用	4 月 1 日(土) ～3 月 31 日(日)	延べ　3,689
2）ワゴン実演 サイエンスショー待ち時間などを利用して、磁石や偏光板を使いマジックショー仕立てでの説明	4 月 5 日(土) ～3 月 16 日(日) 17 回	延べ　42 (605)
3）タッチ＆トーク 地質系の実物標本(化石･岩石など)を来館者に解説しながら観察、触れてもらう機会を提供	4 月 7 日(日) ～3 月 16 日(日) のうち計 11 日	11 回・延べ 65 (1,404)
4）ウッディ・プレイランド 理工館２階ウッディ・プレイランドで、玩具の遊び方の伝授	開催せず	―
【研修等】 総会・フォローアップ研修　第１回	4 月 12 日(土)	105
フォローアップ研修　第 2～5 回	7 月～3 月	延べ　360
ワゴン実演自主研修	6 月 1 日(日) 11 月 2 日(日)	延べ　10
タッチ＆トーク自主研修(月に 1 回程度)	4 月 7 日(日) ～3 月 16 日(日) のうち計 11 日	延べ　65
ウッディ・プレイランド自主研修(２箇月に 1 回程度)	開催せず	―

④B6 蒸気機関車整備ボランティア　　登録者数：18 人

屋外展示の B6 形蒸気機関車の調査及び整備を行う。

事　業　名　及　び　内　容	開催期間	参加ボランティア（人） （ ）内は参加者数
【活用】 鉄道ひろばでの活動 鉄道ひろばでのイベントの補助	3 月 28 日(土) ～29 日(日)	17

（8）科学館友の会

昭和 38 年 4 月に発足した「名古屋星の会」と昭和 41 年 7 月に発足した「科学館友の会」を前身とする。昭和 53 年 4 月からは科学館振興協会の一部会として運営されていたが、平成 16 年 3 月の科学館振興協会の解散に伴い、平成 16 年 4 月から（公財）中部科学技術センターの協力のもとに運営され、令和 2 年 4 月からは、株式会社中部日本広告社と協約を締結し、運営をおこなっている。

① 天文クラブ

会員数 781 人

（プレミアム会員：**230** 人　会費 10,000 円、一般会員：**470** 人、会費 6,000 円、

購読会員：**67** 人　会費 2,000 円）

（出版物）機関誌「？」No.232～235 発行

（例会）

区分	プレミアム会員・一般会員	開催期日	参加者数（人）
例会	木・金曜日（年４回実施） 18：30～20：00		
1	地球以外に生命は存在するか？	6 月 26・27 日	**574**
2	南半球で見上げる空	9 月 25・26 日	**557**
3	特別講演会	11 月 27・28 日	**524**
4	銀河と銀河をつなぐ宇宙網	1 月 15・16 日	**508**

（特別天体観望会）

区分	プレミアム会員・一般会員・ 購読会員(オンラインのみ)	開催期日	開催形式	参加者数（人）
1	土星　19：00～19：30	10 月 19 日(日)	オンライン（限定配信）	－
2	オリオン星雲　19：00～20：00	2 月 13 日(金)	現地開催	**185**

（プレミアムイベント）

区分	プレミアム会員	開催期日	参加者数（人）
1	プレミアムイベント　18：30～20：00	2 月 26 日(木)	**169**

② サイエンスクラブ

会員数　224 人（小学生クラス：160 人　会費 8,000 円　、中学生クラス：64 人　会費 9,000 円）

（例会）

区分	小学生クラス(小学 5・6 年生)	中学生クラス(中学 1～3 年生)
例会	年 5 回　土・日曜日	年 5 回　土・日曜日
	A、B、C　10：00～12：30（計 30 回実施）	A、B、C　10：00～12：30（計 12 回実施）
	D、E　9：55～10：50（計 2 回実施）	D、E　9：55～10：50（計 2 回実施）
A	光るどろだんごをつくろう	光で色いろ実験してみよう
B	美しき七宝の世界	植物の香りの科学
C	紙をすいてみよう	ブタの眼球を観察しよう
D	星座をみつけよう	月世界へようこそ
E	宇宙へ飛び出そう！	星の一生とブラックホール

（夜間観望会）

内　容	開催期日	開催形式	参加者数（人）
土星　19：00～19：30	10 月 19 日(日)	オンライン（限定配信）	－
木星　19：00～20：00	1 月 24 日(土)	現地開催	**341**

（9）名古屋少年少女発明クラブとの連携事業

平成 14 年度から 18 年度までの「発明発見創造クラブ」を、全国的な広がりをもつ「少年少女発明クラブ」に移行したものである。平成 19 年 3 月に設立された「名古屋少年少女発明クラブ」の主催者は名古屋市と一般社団法人愛知県発明協会で、事務局は名古屋市経済局イノベーション推進部次世代産業振興課が担当している。

主に小中学生を対象にし、科学技術やものづくりに関心をもつ人材の育成を目的として、ものづくり体験事業を実施している。科学館では「ものづくり工房・教室」、「地球工房」、「ロボット工房・教室」などを実施している。また、「ロボカップジュニアなごや大会・なごやオープン」「ロボカップジュニア東海大会」の主催をしている。

①「ものづくりコース」

ものづくりの楽しさや、科学への興味、関心を高める。来館した小中学生を対象に、身近な素材を利用して簡単な科学工作を行う。ものづくりボランティアが学習支援を行い、ものづくりの大切さを知らせる。

1）ものづくり工房　（土曜日・無料）

月	工　作　内　容	日数	参加者数(人)	月	工　作　内　容	日数	参加者数（人）
4	くるくるダッシュ	3	**165**	11	スパイラルダウン	5	**275**
5	光のボックス	5	**275**	12	真夜中のジョギング	2	**105**
6	くるくるストロー	4	**220**	1	天翔る(トコトコ馬)	4	**220**
7	ロケットGO	2	**110**	2	くるくるビー玉	4	**220**
9	カラフルかざぐるま	4	**220**	3	くるくるバトン	3	**165**
10	ぱたぱたドロップ	1	**55**	計		37	**2,030**

【参考】　令和 6 年度開催日数　38 日
令和 6 年度参加者数　**2,075** 人

2）ものづくり教室　（第３土曜日等・有料）

開催期日	工　作　内　容	参加者数（人）	開催期日	工　作　内　容	参加者数(人)
4 月 19 日	アシカのボールあそび	**16**	11 月 15 日	テトラヘドロン	**13**
5 月 17 日		**16**	12 月 20 日		**16**
6 月 21 日	てのひらピアノ	**16**	1 月 17 日	時間差ふり子	**18**
7 月 12 日		**16**	2 月 21 日		**16**
9 月 20 日	ビー玉万華鏡	**16**	計		**159**
10 月 11 日		**16**			

3）出前ものづくり教室

小中学校及び関係団体等との連携事業

場　所　及　び　内　容	開催期日	参加者数（人）
瑞穂区　高田小学校　びっくりへび	1 月 21 日	**39**
守山区　廿軒家小学校　ぱたぱたチョウ	2 月 12 日	**90**
北区　大杉小学校　ぱたぱたチョウ	2 月 25 日	**63**
千種区　大和小学校　ぱたぱたチョウ	2 月 26 日	**51**
中川区　八熊小学校　虹の筒	3 月 4 日	**40**

②「ロボットコース」

これからのものづくりに求められるソフトウエアに強い人材を育成する。ロボットの機械の動きを制御するプログラミング能力を高める。

1)ロボット工房　(毎月第1・第3日曜日・無料)　※参加者数は見学者を含まない

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	2	**60**	10	2	**102**
5	1	**37**	11	2	**83**
6	2	**58**	12	1	**21**
7	2	**66**	1	1	**38**
8	1	**61**	2	2	**65**
9	2	**99**	3	2	**81**
			計	20	**771**

【参考】令和6年度開催日数　20日
令和6年度参加者数　**643**人

2)ロボット教室

・開催期日　　原則毎月第3日曜日
・対　　象　　小学校4年～中学生
・内　　容　　ロボットの組み立て（初級者向け）
・参 加 費　　22,000円

開催期日	参加者数(人)	開催期日	参加者数(人)
4月20日	**5**	10月	－
5月18日	**4**	11月16日	**5**
6月15日	**5**	12月21日	**4**
7月20日	**5**	1月18日	**5**
8月 5日 6日	**8**	2月15日	**5**
		3月15日	**3**
9月	－	計	**49**

【参考】　令和6年度開催日数　11日
令和6年度参加者数　**52**人

3)発展型コロボ教室・ロボットステップアップ講座

・対　　象　　小学校4年～高校生
・内　　容　　ロボットの組み立てとプログラミング（中級者向け）
・参 加 費　　無料

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	2	**29**	10	1	**18**
5	1	**14**	11	2	**34**
6	2	**28**	12	1	**12**
7	2	**28**	1	1	**13**
8	1	**15**	2	1	**16**
9	2	**30**	3	2	**34**
			計	18	**271**

【参考】　令和6年度開催日数　20日
令和6年度参加者数　**261**人

4)ロボカップジュニア大会

○ロボカップジュニア名古屋ノード大会　サッカーリーグ　エントリー　アドバンスト

・開催期日　　10月25日（土）
・会　　場　　名古屋市科学館　イベントホール
・参加者数　　小学4年～中学生（サッカーロボット経験者対象）20チーム **40**人

※上位8チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア名古屋ノード大会　サッカーリーグ　エントリー　ルーキー

・開催期日　　10 月 26 日(日)
・会　　場　　名古屋市科学館　イベントホール
・参加者数　　小学４年～中学生（サッカーロボット初心者対象。名古屋市科学館のロボット教室参加者や、名古屋少年少女発明クラブで支援している市内小中学校からも参加。）　14 チーム　**28** 人

※上位 4 チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア名古屋ノード大会　サッカーリーグ　ライトウェイト

・開催期日　　10 月 26 日(日)
・会　　場　　名古屋市科学館　イベントホール
・参加者数　　令和 8 年 7 月 1 日で 19 才以下対象　6 チーム **12** 人

※上位 4 チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア東海ブロック大会

・開催期日　　12 月 6 日(土)
・会　　場　　愛知工業大学名電高校　淳和記念館
・内　　容　　地区大会（名古屋大会始め 5 地区）から選抜されたチームが対戦し、ジャパンオープン選抜者を決定する。競技は大きく分けて、サッカー、レスキュー、OnStage の 3 部門で行われる。
・参加者数　　サッカー 24 チーム(**52** 人)、レスキュー 32 チーム(**57** 人)、OnStage 6 チーム(**19** 人)

○ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2026 愛知

・開催期日　　令和 8 年 3 月 27 日（金）～29 日（日）
・会　　場　　愛知工業大学・八草キャンパス
・内　　容　　競技種目はサッカー・レスキュー・オンステージ 3 種目。当館チームはサッカーに出場
・当館からの参加者数　　サッカーリーグ　エントリー　　5 チーム（**10** 人）
　　サッカー ライトウェイト　1 チーム（**2** 人）
・その他　　サッカーリーグ　エントリー、当館のチームが準優勝,3 位を獲得した。

③「地球コース」

鉱物や化石などを使ったものづくりを通して、観察することの楽しさや地球への関心を高める。

地球工房（毎週土・日曜日及び祝日を主とした不定期開催、有料）

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	6	**412**	10	4	**235**
5	6	**482**	11	6	**340**
6	6	**519**	12	6	**310**
7	5	**338**	1	5	**278**
8	7	**569**	2	5	**292**
9	5	**445**	3	7	**391**
			計	68	**4,611**

【参考】　令和 6 年度開催日数　　71 日
　　令和 6 年度参加者数　**5,380** 人

④ ものづくり体験工房

実験、工作を交えながらものづくりに必要な「要素技術」を学び、学んだ技術を応用して自分の力で発明品を造る能力を身につけさせる。

・開催期日　4 月～6 月（6 日間）
・参加者数　**12** 名

⑤ものづくり創作教室

自由なテーマで作品制作に取り組み、創造力及び発明に関する知識・才能を伸ばす教室を開催する。参加者は、それぞれ独創的な発想で生活に役立つもの、困っていることに対応できるものなどを発明・作品化する。

・開催期日　7 月～8 月（9 日間）
・参加者数　**9** 名

(10) コンクール事業

事業名及び内容	募集期間	展示期間	区分	参加資格	応募数 (顕彰数)
令和 7 年度 **科学創作コンクール** ①「科学の夢を描く部門」 (四つ切画用紙) ②「科学工作部門」 (科学的な考えを生かして作った工作品) ③「理科自由研究部門」 小 3・4、小 5、小 6、中 1、中 2、中 3 の 6 部門に分け、観察や実験による理科の自由研究レポートを募集 以上 3 部門に分けて作品を募集 ・応募作品の中から、優秀な作品を顕彰し館内で展示 ・(公財)中部科学技術センター、中日新聞社共催	8 月 22 日(金) ～ 9 月 5 日(金)	10 月 13 日 (月・祝) ～ 10 月 18 日(土)	絵画 部門	幼児 (3 歳以上) 小・中学生 (個人)	242 点 (30 点)
			工作 部門	小･中学生、 高校生 (個人又はグループ)	48 点 (17 点)
			自由研究 部門 小 3・4 年	小学 3 年 ～中学生 (個人)	35 点
			小 5 年		27 点
			小 6 年		24 点
			中 1 年		223 点
			中 2 年		111 点
			中 3 年		13 点
			計		433 点 (48 点)
第 69 回日本学生科学賞愛知県展 内容： ・観察や実験による理科の自由 研究のレポートを募集 共催：読売新聞社	10 月 3 日(金) 10～15 時	展示： 10 月 21 日(火) ～25 日(土) 表彰式： 10 月 25 日(土) (参加者 63 名)	物理	中･高校生 (個人、又はグループ)	76 点 (15 点)
			化学		
			生物		
			地学		
			広領域		

(11) 博物館実習生の受入れ

博物館法施行規則で定められた「博物館実習」を以下のように実施した。

趣　　旨	生涯学習の場である科学館の役割を理解し、生涯学習の手法について学び、学芸員としての知識・技能・態度を身につける
実 習 期 間	7 月 26 日(土)～8 月 3 日(日) 合計 8 日間(7 月 28 日(月)を除く)
実　習　生	愛媛大学 1、鹿児島大学 1、岐阜大学 2、甲南大学 1、信州大学 2 東京大学 1、名古屋芸術大学 1、日本大学 1、人間環境大学 1 北海道大学 2、三重大学 1、宮崎大学 1、名城大学 2　合計 17 名
実 習 内 容	学芸員による各専門分野に関する実習、イベント企画および実施など

(12) 職場体験学習・職場訪問学習など

総合的な学習や社会体験学習の一環として行われる職場体験学習・職場訪問学習を、各学校の依頼に対応して実施している。職場体験学習では、館内の接客業務や実演の準備、展示品の保守管理、資料の整理などの体験活動を行っている。また、職場訪問学習では、館の概要や館内の業務についての講義や質疑応答を行っている。

区　分	職場体験	職場訪問
小学校	0 校　　**0** 人	0 校　　**0** 人
中学校	5 校　**12** 人	3 校　**33** 人
高等学校	0 校　　**0** 人	0 校　　**0** 人

５　調査研究

（テーマ１）学校と連携した生物系野外観察講座の開発と実施

名古屋市立瑞穂が丘中学校およびキャリアナビゲーターと連携して、豊田市稲武町で行われる名古屋市立中学校２年生の野外学習において現地での学習目標である「自然のすばらしさやしくみを理解すること」をサポートすることを目的として、事前学習に活用できる稲武の森林性野生動物に関する教育パッケージの開発を試みた。

今年度は、名古屋大学大学院生命農学研究科の附属フィールド科学教育研究センター稲武フィールドおよび森林保護学研究室、名古屋市稲武野外教育センター等に協力いただき、稲武の森林内の中・大型哺乳類を撮影した。撮影データを元に当館学芸員が事前学習用の講義内容と講義用スライドを制作した。瑞穂ヶ丘中学校にて、当館学芸員が野外学習前の生徒と教職員に対して事前学習としてこの講義を試行的に行い、野外学習後に講義の教育効果等について生徒と教職員それぞれにアンケート調査を行った。

今後、アンケート調査などの結果を元に、本研究で制作した講義内容を名古屋市立中学校の教員やキャリアナビゲーターが自身で事前学習に活用してもらえるパッケージとできるよう改良を重ね、講義の内容についての研修方法についても検討していく予定である。

（テーマ２）みんなでつくる！新展示プロジェクト Part 2

2023（令和 5）年に展示品の新規制作及び改修に向け学芸員を中心とした展示品制作者の来館者感覚を中心とした能力向上に寄与する手法について報告した。本調査はその第 2 回目として実施したものである。本調査では前回の方法を踏襲して 2 回の展示イベントを実施したが、各回で異なる展示品を制作展示し、来館者から収集した意見及び制作者による体験者の観察結果をもとに考察を行った。その結果、改めて本調査がイベント性に富みつつ、展示品制作ノウハウの蓄積に資することが明らかとなった。特に展示品単体と展示コーナーや展示室全体から見た展示品の価値（評価）は異なる可能性が高いため、これを理解した展示品制作方法の開発が重要であるとの理解に至った。今後も同様な調査イベントを実施しつつ、他施設への横展開の方法などを検討していく。

（テーマ３）学校での天文学習の実態調査

名古屋市科学館では、小学校 4 年生と 6 年生を対象としたプラネタリウムでの学習投影を行い、理科の学習の一環として市内のほとんどの学校に活用されている。この学習投影及び展示見学と学校教育との連携を更に充実させるため、今年度は他自治体での学校団体向けの天文教育プログラムと事前・事後学習の状況調査を行った。視察先は、かわさき緑と宙の科学館(神奈川県川崎市)、京都市青少年科学センター(京都府京都市)で、プラネタリウムの学習投影の内容や手法を調査し、地域の学校との連携に関する聞き取りを行った。今後も調査を継続しつつ、2025 年からインターネット上で公開している「学校向け名古屋市科学館見学サポートサイト」にも反映させていきたい。

６　印刷物の発行

名　　称	内　　容	発行部数	主な配布先
アサラスコープ No.440～442	科学館広報誌 No.440,442　　A4版 8頁 No.441　　A4版 4頁	18,000	別　掲
名古屋市科学館紀要 第52号	調査研究の報告　他　　A4版47頁	150	国内博物館施設 市内生涯学習施設 関係大学図書館等

※名古屋市科学館要覧は令和6年度より科学館ホームページにてPDFデータでのみ公開

「アサラスコープ」の主な配布先(配布場所)
市立幼稚園・小・中・養護・高等学校、16区役所・6支所、市立図書館、市生涯学習センター　等

７　広報活動

種　　別	内　　容	実施時期	備　　考
名古屋市による広報	名古屋市発行の「広報なごや」に館行事を掲載し、市民への周知を図った	毎月	市内全戸配布 約110万部
	大学と共同で科学館を紹介する動画を制作し、「名古屋市公式Youtubeまるはっちゅ～ぶ」に公開した	随時	
マスコミへの広報	１）市がもつテレビ・ラジオ番組に、資料を提供し、また、番組にも出演した	随時	新聞社　5社 放送　　8社 通信　　5社 を始め出版、タウン情報誌など約200社
	２）名古屋市政記者クラブを通して、広くＰＲを行った	随時	
ポスター ・大型映像装置	特別展について、地下鉄や私鉄などにポスターを、また、市がもつ大型映像装置で静止画を掲示した	随時	
アサラスコープ	科学に関する解説や、館の行事予定などをまとめた情報誌を作成した	年3回	(NO.440) 6,000部 (NO.441) 6,000部 (NO.442) 6,000部
案内パンフレット ・チラシ	案内パンフレット及び行事ごとにチラシを作成した（見学ガイドほか)	随時	
他機関等の広報誌による広報	他機関の広報紙に資料提供し、広く市民に周知を図った(観光パンフレットなど)	随時	
ダイレクトメール	県内及び県外の小・中学校、観光旅行業者にパンフレットを送付した	随時	
名古屋市科学館 公式ウェブサイト	名古屋市科学館公式ウェブサイトによる館の情報提供や行事案内を行った	随時	
名古屋市科学館 公式SNS	X（旧Twitter）、Instagram、Facebookによる館の情報提供を行った。一部の記事については英語・中国語・韓国語を併記し、外国人向け発信に努めた	随時	令和7年2月アカウント立ち上げ

○IP コンテンツ（※）を活用した広報事業

来館者層の新たな掘り起こしのため、IP コンテンツを活用した以下の事業に参加した。

① 「でらます×アイドルマスター シャイニーカラーズ」

期間　令和 7 年 8 月 8 日(金)～9 月 30 日(火)

内容　①フォトスポット（H1,800 のフォトパネル）を館内 4 か所に設置
②名刺大のノベルティ 1 種を配布
③デジタルスタンプラリーのスポット設置

主催　名鉄観光サービス㈱

来館者　約 **1,800** 人

その他　ミュージアムカフェ、ミュージアムショップ、あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室と共同で参加

② 「FINAL FANTASYⅦ REMAKE INTERGRADE×JR 東海 in 名古屋」

期間　令和 8 年 1 月 15 日(木)～4 月 15 日(水)

内容　①オリジナルボイスドラマ付きデジタルスタンプラリーのスポット設置
②特製コースターを配布

主催　東海旅客鉄道株式会社

来館者　約 **740** 人

※IP コンテンツとは「Intellectual Property Rights（知的財産権)」によって保護された独自の創作物や知識を意味します。

８　他施設との交流

（１）国内活動

同種施設との情報交換のほか、下記の協会及び協議会等に加盟し、関係会議、研究会に職員を派遣したほか、関係資料の収集に努めた。

○ 全国科学博物館協議会　○ 全国科学館連携協議会　○ 指定都市科学館連絡会議
○ 東海地区博物館連絡協議会　○ 愛知県博物館協会　○ 日本プラネタリウム協議会
○ 天文教育普及研究会　○ 日本天文学会　○ 東亜天文学会

（２）国際活動

下記の国際組織に加盟・参加し、積極的に海外博物館資料の収集・情報交換に努めた。

○ 国際プラネタリウム協会　ＩＰＳ

（３）視察受入れ

科学館の広報・誘致、科学館の展示・事業の企画、博物館施設等の整備・運営方法の検討等を目的とした、複数の視察者（博物館施設職員、他都市職員・議員等）を受け入れた。

（４）芸術と科学の杜

白川公園一帯を「芸術と科学の杜」と位置づけ、地元町内会･商店街、専門学校、文化施設、名古屋市美術館と連携してさまざまな魅力ある事業の展開をした。

【7 年度の主な取り組み】

○サイエンス・アートフェスティバル　11 月 8 日(土)・9 日(日)　参加者数　**4,496** 人

○名古屋市科学館観覧会　11 月 22 日(土)　参加者数　**87** 人

地元の方を展示室及びプラネタリウム一般投影の観覧に招待した。

○エコパルなごや出張ワークショップ

開催日	参加者数（人）	開催日	参加者数（人）
6 月 22 日(日)	**313**	8 月 31 日(日)	**300**
10 月 26 日(日)	**300**	12 月 14 日(日)	**263**
		計	**1,176**

○スタンプラリー事業協力（ソレイユプラザなごや主催）

春（ 4 月 26 日～ 5 月 18 日）　参加者数　**537** 人
夏（ 7 月 19 日～ 8 月 31 日）　参加者数　**4,274** 人
冬（12 月 20 日～ 1 月 12 日）　参加者数　**384** 人

○3 館コラボ企画 1 月 24 日（土)、25 日（日）

でんきの科学館、環境学習センターエコパルなごやとのコラボ企画「伏見サイエンスエリアに行こう！」を開催した。(詳細後述)

○名フィルまちかどコンサート in 名古屋市科学館

名古屋フィルハーモニー交響楽団によるコンサートを開催

①日時　6月15日(日)　11時30分／13時00分（2回開催）

場所　天文館5階「宇宙のすがた」

演奏　ヴァイオリン　川上 裕司、小玉 裕美

ヴィオラ　今村 聡子、池村 明子

チェロ　幸田 有哉

コントラバス　佐渡谷 綾子

曲目　ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集『四季』より「春」第1楽章

J.シュトラウスⅡ世：ポルカ『ナイチンゲール』 作品222

J.シュトラウスⅡ世：ポルカ『クラップフェンの森』 作品336

ブラームス：弦楽六重奏曲第2番ト長調 作品36より第1楽章

観覧者数　220人（11時30分：120人、13時00分：100人）

②日時　12月21日(日)　11時30分／13時00分（2回開催）

場所　天文館5階「宇宙のすがた」

演奏　ヴァイオリン　山洞 柚里、牧野 葵

ヴィオラ　池村 明子

チェロ　加藤 泰徳

コントラバス　佐渡谷 綾子

曲目　ボブ佐久間：クリスマス・メドレー

ボッケリーニ：弦楽五重奏曲よりメヌエット

ドヴォルザーク：弦楽五重奏曲第2番より第1楽章

観覧者数　160人（11時30分：80人、13時00分：80人）

（5）研究機関等との相互協定等

平成23年4月 1日	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所との相互協力に関する協定
平成24年3月19日	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定
（令和 7年3月 1日	名古屋大学理学部及び名古屋大学大学院理学研究科に名称変更）
平成24年5月 1日	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定
（平成29年6月 1日	名古屋大学情報学部及び名古屋大学大学院情報学研究科に名称変更）
平成24年7月18日	独立行政法人宇宙航空研究開発機構との相互協力に関する協定
平成25年3月26日	名古屋大学博物館との相互協力に関する協定
平成25年9月29日	中京大学人工知能高等研究所との相互協力に関する協定
平成28年3月29日	名古屋市立大学との連携協力に関する覚書
令和 2年1月22日	愛知教育大学との相互連携に関する協定
令和 7年3月 1日	名古屋大学素粒子宇宙起源研究所との相互協力に関する協定
令和 7年3月12日	名古屋大学宇宙地球環境研究所との相互協力に関する協定
令和 7年3月12日	金城学院大学との相互協力に関する協定
令和 7年12月1日	大学共同利用機関法人自然科学研究機構との相互協力に関する協定

（6）3館コラボ企画　伏見サイエンスエリアにいこう！

伏見駅近辺にある名古屋市科学館、環境学習センターエコパルなごや、でんきの科学館と共同で企画。サイエンスショーを制作し実演を行い、ワークショップを実施。

1月24日(土)、25日(日)

【名古屋市科学館会場】

○サイエンスショー「迷探偵デームズ 怪盗からの科学挑戦状（サイエンスレター)」

２名の演者が探偵と助手に扮し、怪盗からの挑戦状を実験によって紐解き、謎解き要素にて解決していく実験と謎解きの二つの要素を掛け合わせたサイエンスショーを実施

参加者数：630人

○ワークショップ「ペーパービーズを使ったブレスレット作り」25日のみ

（環境学習センターエコパルなごやが実施）

参加者数：300人

【でんきの科学館会場】

○サイエンスショー「ふしぎ発見！クイズショー！」

３人のクイズマスターが化学のふしぎクイズを出題し、見学者に考えてもらってから実験で答えを導き出すサイエンスショーを実施。

参加者数：418人

○ワークショップ「ペーパービーズを使ったブレスレット作り」　24日のみ

（環境学習センターエコパルなごやが実施）

参加者数：210人

9　高校生科学力向上促進事業

（1）令和7年度　高校生のための科学の日

実施日：1月25日(日)

【内容1】高校生が科学館を自由に観覧し、科学への興味や関心を高めていただけるよう科学館の展示室を無料開放

＊大学生・一般も入館無料。

ただし特別展「昆虫 ＭＡＮＩＡＣ」は別途料金が必要。

【内容2】高校生向けの各種事業を実施（高校生以外の方も参加・見学可）

合計1,047人

〈1〉高校生による科学の広場　発表

高校生たちが日頃の研究成果を持ち寄り発表する。

（愛知県内11校の高等学校　15テーマ）

会場　（ポスター掲示）生命館地下2階　サイエンスホールホワイエ

（口頭発表）サイエンスホール

観覧者数　847人

発表者　118人（内訳：引率教員　17人、高校生　101人）

小林誠名誉館長によるビデオメッセージ投影実施

〈2〉桜台高等学校ファッション文化科特別コラボ展示「未来のファッションと科学」
高校生が「科学」から考え創りあげた服飾作品を 10 点展示
会場 生命館 1 階 休憩室
期間 1 月 24 日(土)～2 月 1 日(日)
〈3〉出張!名大博物館
名古屋大学博物館で活動する大学生・大学院生が、研究や推しの標本を紹介
会場 生命館 2 階 発見処
参加者 200 人

（2）高校生による科学の広場　発表

高校生たちが日頃の研究成果を持ち寄り発表する。
※詳細は上記（1）【内容 2】〈1〉

１０　あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室

（1） 来室者数

58,558 人

（2） 実演

「鏡にうつった姿は？」「三角形の面積を半分にしよう」「結晶をつくる」「アミノ酸ならべ」「沈めてみよう～浮力の実験～」「色からみる光の仕組み」「ウミホタルを光らせよう」「切っても切れない電池と回路」の 8 タイトル。
707 回実施、2,785 人参加。

（3） イベント

①天野浩先生特別講演会
ア．日　時　令和 7 年 8 月 30 日(土) 14:00～15:40
イ．場　所　あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室（名古屋市科学館内）
ウ．講演者　天野浩氏
エ．内　容　天野浩氏による講演会及び参加者との座談会「世界を照らす LED」
オ．参加者　156 名
カ．関連事業 ノーベル賞メダル（レプリカ）及びディプロマ（レプリカ）の展示(8/26-31)

②2025 年ノーベル賞からみる最新研究講演会
ア．日　時　令和 7 年 12 月 7 日(日) 13:30～16:30
イ．場　所　あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室（名古屋市科学館内）
ウ．講演者・内容
①生理学・医学賞
演題：免疫の光と影
講演者：赤塚美樹
（名古屋大学 大学院医学系研究科 附属医学教育研究支援センター 特任教授）

②物理学賞

演題：すり抜ける渦 －ノーベル物理学賞に見る量子の奇妙なふるまいと未来社会－

講演者：藤巻朗

（名古屋大学 未来社会創造機構 量子化学イノベーション研究所 特任教授）

③化学賞

演題：MOF とは？　－その魅力と可能性－

講演者：土方優

（名古屋大学 未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター 特任准教授）

エ．参加者　126 名

オ．主　催　　愛知県、名古屋市、名古屋大学

カ．協　力　　あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

１１　研修・講座等

○　名古屋市立大学『総合博物学』講義　受講登録者 35 人

4 月 25 日(金)（名市大）小林　修二（博物館の役割と名古屋市科学館の特徴）

5 月 2 日(金)（名市大）木田　梨沙子（科学館における教育普及のかたち）

5 月 9 日(金)（名市大）山田　厚輔（サイエンスショーのウラガワ）

5 月 16 日(金)（名市大）持田　大作（天文教育におけるプラネタリウム）

5 月 23 日(金)（科学館）山田　厚輔・持田　大作

（科学館での実習（サイエンスショー、プラネタリウム））

5 月 30 日(金)（名市大）藤本　雅之（日本初の蒸気機関車づくり）

○　名古屋市立大学『科学館・博物館・美術館から知る名古屋』講義　受講登録 26 人

9 月 26 日（金）（名市大）小林　修二　名古屋市科学館とものづくりの街名古屋

10 月 3 日（金）（名市大）木田　梨沙子　愛知と名古屋と「県の石」

10 月 10 日（金）（科学館）山田　厚輔　名古屋市科学館のサイエンスショーのウラガワ

10 月 17 日（金）（名市大）持田　大作　プラネタリウムと天文教育

10 月 24 日（金）（科学館）持田　大作　名古屋市科学館のプラネタリウム

○　名古屋大学　基礎セミナー　講座

期　　日　　4 月 26 日(土)　　参加者数 16 人

講　　師　　河野　樹人

会　　場　　プラネタリウム、5F 天文展示室、7F 天文台

○　名古屋市理科教育研究会　講演会

期　　日　　5 月 10 日(土)　　参加者数 69 人

講　　師　　髙羽　幸

会　　場　　サイエンスホール

○　名古屋市立向陽高等学校　国際科学科　1年生「科学館研修」

期　　日　　6月5日(木)　　参加者数43人
講　　師　　山田　厚輔、柏木　晴香、藤本　雅之、毛利　勝廣
会　　場　　サイエンスステージ、学習室、プラネタリウム

○　名古屋大学文学部一般博物館実習（見学実習）

期　　日　　6月11日(水)　　参加者数33人
講　　師　　小林　修二
会　　場　　第1実験室、展示室

○　愛知淑徳中学校特別講座

期　　日　　7月4日(金)　　参加者数283人
講　　師　　稲垣　順也
会　　場　　プラネタリウム

○　県高等学校文化連盟・自然科学専門部講習会　科学館昼の観望会

期　　日　　8月7日(木)　　参加者数　60人
講　　師　　持田　大作、河野　樹人
会　　場　　プラネタリウム、学習室、天文台

○　名古屋市理科研究会　地学領域　天文研修会

期　　日　　8月8日(金)　　参加者数22人
講　　師　　髙羽　幸
会　　場　　学習室

○　名古屋市小中学校生産・文化的部活動指導者研究会「科学」の部

期　　日　　8月22日(金)　　参加者数22人
講　　師　　山田　厚輔
会　　場　　第2実験室

○　東海中学校特別講座

特別展に関する講演（『古代DNA展』）、展示室見学、プラネタリウム観覧
期　　日　　9月10日(木)　参加者数 373人(生徒358人、教員15人)
講　　師　　堀内　智子、野田　学
会　　場　　サイエンスホール、イベントホール、プラネタリウム

○　名古屋市立瑞穂ヶ丘中学校　2年生野外学習に向けた事前学習講座『稲武の森を科学探検！』

期　　日　　10月10日(木)　　参加者数108名
講　　師　　柏木　晴香
会　　場　　名古屋市立瑞穂ヶ丘中学校

○　名古屋市立向陽高等学校　普通科　１年生「科学館研修」

期　　日　　10 月 16 日(木)　　参加者数 330 人(生徒 320 人、教員 10 人)

講　　師　　堀内　智子、河野　樹人

会　　場　　サイエンスホール、プラネタリウム

○　愛知県立愛知総合工科高等学校　理工科　１年生科学館研修

期　　日　　10 月 30 日(木)　　参加者数 87 人(生徒 78 人、教員 9 人)

講　　師　　野田　学

会　　場　　学習室、プラネタリウム

○　名古屋市立大学特別授業「宇宙のなりたち」

期　　日　　11 月 14 日(金)　　参加者数 69 人

講　　師　　毛利　勝廣、中島　亜紗美

会　　場　　プラネタリウム、天文台

○　南山中学女子部特別講座（２年生）

期　　日　　11 月 26 日(水)　　参加者数 197 人

講　　師　　河野　樹人

会　　場　　プラネタリウム

○　県立瑞陵高等学校科学館学習プログラム

期　　日　　12 月 16 日(火)　　参加者数 43 人(生徒 41 人、教員 2 人)

講　　師　　中島　亜紗美

会　　場　　プラネタリウム、学習室

○　愛知教育大学講座

期　　日　　1 月 13 日(水)　　参加者数 257 人

講　　師　　野田　学

会　　場　　プラネタリウム

○　黄金中学校２年生体験型職業人講話

期　　日　　1 月 21 日(水)　　参加者数 19 人

講　　師　　中島　亜紗美

会　　場　　黄金中学校

１２　情報収集保存活動

（1）情報資料室

科学に関する最新の資料の収集に努め、来館者の自発的な学習を支援するため、図書・雑誌などの資料を室内自由閲覧・自由使用に供した。

情報資料室データ（令和 7 年度）

備品等

備　　品	図　　書　　類
パソコン　3 台	図書　6,284 冊
インターネット用(2 台)	雑誌　17 種
事務・調査用　(1 台)	月刊誌　(13 種)
	研究機関誌　(　4 種)
	全国科学館・博物館等資料　1,217 冊

（2）インターネット

名古屋市科学館では、平成 7 年度から館内コンピュータネットワークの整備と、そのインターネットへの接続を行い、各種情報の取得などに利用している。また同時に当館ウェブサイト（https://www.ncsm.city.nagoya.jp/）の公開も開始した。

また館内には、各フロアに 1 台ずつ合計 10 台の情報検索端末が導入されている。これらはタッチパネルのみで操作でき、日本語及び英語による展示解説の閲覧や展示品の検索ができる。また、ブラウザ機能を利用しているので当館ウェブページやその他のサイトの閲覧も可能である。

ウェブサイトアクセス件数と、情報検索端末アクセス件数は下表のとおりである。

(令和 7 年度)

月	ウェブサイト	年度累計	情報検索端末	年度累計
2025/04	565,583	565,583	4,607	4,607
05	644,184	1,209,767	5,322	9,929
06	631,143	1,840,910	4,631	14,560
07	830,870	2,671,780	5,538	20,098
08	938,706	3,610,486	8,332	28,430
09	707,125	4,317,611	4,618	33,048
10	630,200	4,947,811	5,648	38,696
11	575,704	5,523,515	4,955	43,651
12	584,632	6,108,147	4,149	47,800
2026/01	654,307	6,762,454	4,107	51,907
02	559,138	7,321,592	1,288	53,195
03	758,763	8,080,355	5,206	58,401
R7 計	8,080,355	8,080,355	58,401	58,401

１３　令和７年度入館者状況

（１）　月別利用状況　（個人・団体別）

区分	入館者数	営業日数	１日平均	個人				団体						
				大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	市内（再掲）	市外（再掲）	電子申請（再掲）
	人	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
４月	103,907	25	4,156	70,839	7,289	24,050	102,178	458	713	558	1,729	272	1,457	－
５月	129,654	26	4,987	87,624	7,604	22,779	118,007	2,265	458	8,924	11,647	6,438	5,209	－
６月	107,746	24	4,489	67,953	6,179	17,954	92,086	3,062	781	11,817	15,660	9,496	6,164	－
７月	119,708	26	4,604	75,777	6,630	28,483	110,890	2,230	278	6,310	8,818	5,520	3,298	－
８月	211,883	28	7,567	129,112	18,743	59,009	206,864	1,956	292	2,771	5,019	2,314	2,705	－
９月	115,303	22	5,241	71,897	12,730	18,108	102,735	2,236	575	9,757	12,568	7,380	5,188	－
10月	115,982	26	4,461	67,069	5,705	23,294	96,068	3,003	774	16,137	19,914	12,424	7,490	－
11月	118,706	26	4,566	69,070	6,823	23,956	99,849	2,807	378	15,672	18,857	10,093	8,764	－
12月	95,524	22	4,342	54,157	7,896	20,586	82,639	1,687	1,229	9,969	12,885	8,446	4,439	－
１月	86,228	23	3,749	50,630	5,464	21,694	77,788	1,339	292	6,809	8,440	6,404	2,036	－
２月	57,953	23	2,520	33,633	8,356	13,602	55,591	521	63	1,778	2,362	917	1,445	－
３月	114,010	25	4,560	63,382	18,515	28,913	110,810	868	78	2,254	3,200	921	2,279	－
計	1,376,604	296	4,651	841,143	111,934	302,428	1,255,505	22,432	5,911	92,756	121,099	70,625	50,474	－
構成比		個人・団体別割合		67.00%	8.92%	24.09%	100.00%	18.52%	4.88%	76.60%	100.00%	58.32%	41.68%	0.00%
		全体に対する割合		61.10%	8.13%	21.97%	91.20%	1.63%	0.43%	6.74%	8.80%	5.13%	3.67%	0.00%

※　「団体」に含んでいた電子申請サービスによるプラネタリウムの予約は、令和６年２月で廃止

※　構成比の計が一致しないのは、端数処理による。

（２）　月別利用状況　（利用種別）

区分	展示室とプラネタリウム				展示室				合計				当月のプラネの割合	開館以来のプラネ累計
	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%	人
４月	22,194	3,017	7,378	32,589	49,103	4,985	17,230	71,318	71,297	8,002	24,608	103,907	31.36	21,936,937
５月	25,601	2,722	11,829	40,152	64,288	5,340	19,874	89,502	89,889	8,062	31,703	129,654	30.97	21,977,089
６月	22,322	2,451	12,546	37,319	48,693	4,509	17,225	70,427	71,015	6,960	29,771	107,746	34.64	22,014,408
７月	25,240	2,456	13,778	41,474	52,767	4,452	21,015	78,234	78,007	6,908	34,793	119,708	34.65	22,055,882
８月	31,866	4,891	17,199	53,956	99,202	14,144	44,581	157,927	131,068	19,035	61,780	211,883	25.46	22,109,838
９月	19,450	4,311	10,936	34,697	54,683	8,994	16,929	80,606	74,133	13,305	27,865	115,303	30.09	22,144,535
10月	23,090	3,059	16,422	42,571	46,982	3,420	23,009	73,411	70,072	6,479	39,431	115,982	36.70	22,187,106
11月	25,094	3,099	15,653	43,846	46,783	4,102	23,975	74,860	71,877	7,201	39,628	118,706	36.94	22,230,952
12月	18,384	4,163	11,979	34,526	37,460	4,962	18,576	60,998	55,844	9,125	30,555	95,524	36.14	22,265,478
１月	11,779	1,846	5,835	19,460	40,190	3,910	22,668	66,768	51,969	5,756	28,503	86,228	22.57	22,284,938
２月	0	0	0	0	34,154	8,419	15,380	57,953	34,154	8,419	15,380	57,953	0.00	22,284,938
３月	10,573	2,709	5,318	18,600	53,677	15,884	25,849	95,410	64,250	18,593	31,167	114,010	16.31	22,303,538
計	235,593	34,724	128,873	399,190	627,982	83,121	266,311	977,414	863,575	117,845	395,184	1,376,604	29.00	—
構成比	17.11%	2.52%	18.00%	29.00%	45.62%	6.04%	19.35%	71.00%	62.73%	8.56%	28.71%	100.00%	—	—

（3） 団体地域別入館者数

区分		件数	人数	割合
		件	人	%
東海	市内	1,467	70,625	58.32
	愛知	537	28,775	23.76
	岐阜	115	4,692	3.87
	三重	92	5,318	4.39
	静岡	26	1,050	0.87
	計	2,237	110,460	91.21
北陸	福井	5	141	0.12
	石川	3	150	0.12
	富山	6	128	0.11
	計	14	419	0.35
甲信越	新潟	－	－	－
	長野	44	1,639	1.35
	山梨	3	91	0.08
	計	47	1,730	1.43
関東	東京	16	604	0.50
	神奈川	7	144	0.12
	千葉	2	28	0.02
	埼玉	3	148	0.12
	群馬	－	－	－
	栃木	－	－	－
	茨城	1	14	0.01
	計	29	938	0.77
近畿	滋賀	38	2,018	1.67
	京都	61	3,132	2.59
	大阪	20	817	0.67
	奈良	6	133	0.11
	和歌山	5	110	0.09
	兵庫	7	144	0.12
	計	137	6,354	5.25
中国	鳥取	－	－	－
	島根	－	－	－
	岡山	5	148	0.12
	広島	3	68	0.06
	山口	－	－	－
	計	8	216	0.18

区分		件数	人数	割合
		件	人	%
四国	徳島	－	－	－
	香川	1	16	0.01
	愛媛	1	7	0.01
	高知	－	－	－
	計	2	23	0.02
九州	福岡	2	29	0.02
	長崎	－	－	－
	佐賀	－	－	－
	熊本	－	－	－
	大分	1	8	0.01
	宮崎	－	－	－
	鹿児島			－
	計	3	37	0.03
東北	青森	2	22	0.02
	岩手	1	10	0.01
	宮城	1	17	0.01
	秋田	－	－	－
	山形	－	－	－
	福島	－	－	－
	計	4	49	0.04
北海道・沖縄地区	北海道	－	－	－
	沖縄	1	31	0.03
	計	1	31	0.03
外国	中国	9	174	0.14
	韓国	6	264	0.22
	香港	5	151	0.12
	タイ	5	95	0.08
	台湾	3	52	0.04
	その他	8	106	0.09
	計	36	842	0.70
計		2,518	121,099	100

※ 割合の計が一致しないのは、端数処理による。

参考資料

1 年度別入館者数

年度	入館者数	内プラネタリウム入館者数	営業日数（日）	一日平均	個人 大人		個人 中高生	個人 小学生以下	個人 計	団体 大人		団体 中高生	団体 小学生以下	団体 計	団体 市内	団体 市外
昭和37	111,023	111,023	125	888	26,875	—	11,883	15,339	54,097	5,245	—	24,442	27,239	56,926	—	—
38	212,047	212,047	311	682	45,559	—	19,821	25,975	91,355	9,662	—	47,583	63,447	120,692	—	—
39	325,001	265,607	310	1,048	82,423	—	49,650	57,244	189,317	12,275	—	49,259	74,150	135,684	—	—
40	366,296	279,218	308	1,189	94,530	—	55,870	72,624	223,024	13,454	—	49,119	80,699	143,272	—	—
41	375,720	292,208	314	1,197	90,549	—	48,381	72,073	211,003	21,442	—	47,539	95,736	164,717	65,142	99,575
42	379,220	284,639	312	1,215	84,636	—	45,610	71,671	201,917	36,367	—	42,049	98,887	177,303	71,549	105,754
43	431,740	334,008	311	1,388	98,885	—	46,620	91,834	237,339	32,482	—	45,996	115,923	194,401	78,887	115,514
44	453,398	362,255	313	1,449	110,378	—	52,100	107,619	270,097	23,684	—	36,822	122,795	183,301	76,615	106,686
45	445,817	365,216	310	1,438	108,462	—	46,238	112,918	267,618	15,469	—	29,296	133,434	178,199	81,945	96,254
46	470,288	390,347	312	1,507	105,711	—	47,988	118,015	271,714	17,967	—	37,836	142,771	198,574	81,457	117,117
10年累計	3,570,550	2,896,568	2,926	1,220	848,008		424,161	745,312	2,017,481	188,047		409,941	955,081	1,553,069	455,595	640,900
47	464,848	374,054	311	1,495	103,054	—	46,669	130,325	280,048	12,853	—	29,701	142,246	184,800	72,515	112,285
48	497,966	416,138	310	1,606	116,551	—	48,862	137,816	303,229	11,461	—	28,636	154,640	194,737	79,338	115,399
49	510,016	429,438	308	1,656	114,693	—	44,918	141,206	300,817	13,221	—	32,085	163,893	209,199	81,177	128,022
50	553,795	456,725	309	1,792	139,445	—	46,493	167,510	353,448	12,400	—	28,378	159,569	200,347	83,613	116,734
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大人		廃止	中学生以下	計	大人		廃止	中学生以下	計	市内	市外
51	495,551	407,415	282	1,757	135,069	—	—	166,156	301,225	17,118	—	—	177,208	194,326	83,852	110,474
52	501,747	394,632	296	1,695	142,757	—	—	163,125	305,882	15,055	—	—	180,810	195,865	87,483	108,382
53	519,689	386,720	296	1,756	152,733	—	—	174,502	327,235	17,172	—	—	175,282	192,454	77,568	114,886
54	515,791	391,944	296	1,743	151,304	—	—	164,754	316,058	17,744	—	—	181,989	199,733	78,791	120,942
55	593,571	390,348	296	2,005	151,989	—	—	150,296	302,285	57,522	—	—	233,764	291,286	178,904	112,382
56	477,384	381,592	295	1,618	148,900	—	—	136,897	285,797	14,196	—	—	177,391	191,587	77,275	114,312
20年累計	8,700,908	6,925,574	5,925	1,469	2,204,503		611,103	2,277,899	5,093,505	376,789		528,741	2,701,873	3,607,403	1,356,111	1,794,718
57	476,272	378,781	296	1,609	149,775	—	—	134,148	283,923	17,891	—	—	174,458	192,349	83,642	108,707
58	418,701	310,786	297	1,410	135,770	—	—	110,113	245,883	14,442	—	—	158,376	172,818	71,103	101,715
59	452,249	347,805	296	1,528	154,924	—	—	113,062	267,986	18,167	—	—	166,096	184,263	86,574	97,689
60	499,750	369,976	295	1,694	169,253	—	—	114,491	283,744	32,037	—	—	183,969	216,006	120,435	95,571
61	421,309	349,585	296	1,423	162,703	—	—	98,694	261,397	15,590	—	—	144,322	159,912	76,031	83,881
62	571,611	393,271	297	1,925	196,068	—	—	128,928	324,996	75,423	—	—	171,192	246,615	167,887	78,728
63	440,089	344,212	264	1,667	176,202	—	—	119,364	295,566	16,264	—	—	128,259	144,523	76,938	67,585
平成元	636,758	368,132	292	2,181	301,961	—	—	148,123	450,084	46,153	—	—	140,521	186,674	122,284	64,390
2	738,855	406,299	296	2,496	343,438	—	—	173,796	517,234	47,614	—	—	174,007	221,621	135,999	85,622
3	726,889	359,142	296	2,456	377,902	—	—	193,828	571,730	22,825	—	—	132,334	155,159	75,659	79,500
30年累計	14,083,391	10,553,563	8,850	1,591	4,372,499		611,103	3,612,446	8,596,048	683,195		528,741	4,275,407	5,487,343	2,372,663	2,658,106

年度	入館者数	内プラネタリウム入館者数	営業日数（日）	一日平均	個人					団体						
					大人		中高生	小学生以下	計	大人		中高生	小学生以下	計	市内	市外
4	709,590	365,808	295	2,405	345,654	—	—	220,654	566,308	21,890	—	—	121,392	143,282	71,870	71,412
5	676,276	339,482	290	2,332	334,791	—	—	203,974	538,765	18,980	—	—	118,531	137,511	72,245	65,266
6	684,841	310,854	273	2,509	286,342	—	—	277,186	563,528	30,327	—	—	90,986	121,313	80,964	40,349
7	733,520	309,803	297	2,470	342,987	—	—	275,551	618,538	15,254	—	—	99,728	114,982	58,901	56,081
8	680,538	290,105	295	2,307	288,377	—	—	285,073	573,450	12,090	—	—	94,998	107,088	58,336	48,752
9	610,342	265,050	296	2,062	244,626	—	—	259,373	503,999	12,218	—	—	94,125	106,343	61,823	44,520
10	711,416	287,398	295	2,412	298,300	—	—	303,425	601,725	13,749	—	—	95,942	109,691	65,938	43,753
11	724,128	259,983	297	2,438	321,340	—	—	298,372	619,712	10,796	—	—	93,620	104,416	66,764	37,652
12	544,530	248,740	296	1,840	209,759	—	—	238,172	447,931	10,041	—	—	86,558	96,599	71,320	25,279
13	550,524	250,887	296	1,860	205,585	—	—	247,957	453,542	11,549	—	—	85,433	96,982	70,942	26,040
40年累計	20,709,096	13,481,673	11,780	1,758	7,250,260		611,103	6,222,183	14,083,546	840,089		528,741	5,256,720	6,625,550	3,051,766	3,117,210
14	675,170	232,297	295	2,289	291,794	—	—	315,391	607,185	9,053	—	—	58,932	67,985	43,293	24,692
15	624,325	250,311	297	2,102	247,780	—	—	296,374	544,154	10,892	—	—	69,279	80,171	52,497	27,674
16	615,425	226,473	296	2,079	236,606	—	—	306,241	542,847	8,290	—	—	64,288	72,578	51,462	21,116
17	486,104	231,470	296	1,642	196,483	—	—	217,833	414,316	8,042	—	—	63,746	71,788	50,371	21,417
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大人	高大生		中学生以下	計	大人	高大生		中学生以下	計	市内	市外
18	614,577	261,510	296	2,076	248,508	12,480	—	270,513	531,501	8,776	2,756	—	71,544	83,076	53,611	29,465
19	618,956	250,848	296	2,091	238,472	10,819	—	290,710	540,001	7,461	2,240	—	69,254	78,955	51,378	27,577
20	607,864	252,363	296	2,054	239,432	12,520	—	278,421	530,373	7,627	2,213	—	67,651	77,491	50,933	26,558
21	606,157	261,073	295	2,055	236,005	13,274	—	281,485	530,764	6,736	2,335	—	66,322	75,393	51,386	24,007
22	481,957	181,837	162	2,975	205,740	12,142	—	210,537	428,419	4,838	1,532	—	47,168	53,538	43,911	9,627
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大人	高大生		中学生以下	計	大人	高大生		中学生以下	計	市内	市外	電子申請
23	1,531,854	589,595	297	5,158	862,732	102,687	—	339,153	1,304,572	72,648	10,128	—	144,506	227,282	97,772	118,936	10,574
50年累計	27,571,485	16,219,450	14,606	1,888	10,253,812	163,922	611,103	9,028,841	20,057,678	984,452	21,204	528,741	5,979,410	7,513,807	3,598,380	3,448,279	10,574
24	1,303,372	564,471	296	4,403	715,968	56,793	—	297,869	1,070,630	82,152	10,887	—	139,703	232,742	106,155	107,518	19,069
25	1,436,926	541,255	295	4,871	806,440	71,266	—	344,014	1,221,720	68,908	9,609	—	136,689	215,206	94,216	99,472	21,518
26	1,394,003	522,904	296	4,709	786,788	69,898	—	340,702	1,197,388	54,685	9,201	—	132,729	196,615	85,738	90,429	20,448
27	1,382,275	482,431	295	4,686	782,035	70,735	—	353,699	1,206,469	44,623	8,705	—	122,478	175,806	78,779	83,189	13,838
28	1,379,296	511,500	296	4,660	753,314	84,098	—	361,852	1,199,264	45,336	7,974	—	126,722	180,032	66,544	88,916	24,572
29	1,219,416	484,810	296	4,120	649,120	58,250	—	337,839	1,045,209	43,571	6,692	—	123,944	174,207	80,902	70,315	22,990
30	1,354,469	484,439	295	4,591	790,688	71,616	—	322,142	1,184,446	38,060	7,873	—	124,090	170,023	80,000	68,150	21,873
令和元	1,328,867	432,109	268	4,958	747,099	66,314	—	369,514	1,182,927	34,485	6,559	—	104,896	145,940	68,010	54,390	23,540
2	263,911	117,279	244	1,082	123,050	15,770	—	64,854	203,674	13,443	2,973	—	43,821	60,237	39,161	8,583	12,493
3	773,655	305,315	296	2,614	391,235	52,539	—	250,413	694,187	15,163	4,381	—	59,924	79,468	43,295	21,124	15,049
60年累計	39,407,675	20,665,963	17,483	2,254	16,799,549	781,201	611,103	12,071,739	30,263,592	1,424,878	96,058	528,741	7,094,406	9,144,083	4,341,180	4,140,365	205,964
4	1,105,638	401,908	296	3,735	564,313	102,851	—	307,214	974,378	27,580	7,798	—	95,882	131,260	66,228	40,796	24,236
5	1,179,699	390,134	277	4,259	618,548	92,822	—	332,570	1,043,940	28,633	8,158	—	98,968	135,759	64,408	50,213	21,138
6	1,379,860	446,343	295	4,677	828,749	106,000	—	317,512	1,252,261	24,117	4,876	—	98,606	127,599	75,869	51,730	-
7	1,376,604	399,190	296	4,651	841,143	111,934	—	302,428	1,255,505	22,432	5,911	—	92,756	121,099	70,625	50,474	-
総計	44,449,476	22,303,538	18,647	19,576	19,652,302	1,194,808	611,103	13,331,463	34,789,676	1,527,640	122,801	528,741	7,480,618	9,659,800	4,618,310	4,333,578	0 251,338

２　常設展示品（令和8年3月31日現在）

〔展示品数271点（理工館131点・天文館40点・生命館81点・大型展示5点・屋外展示12点・その他3点）〕

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
不思議のひろば 理工館２階 （34点）	ひかりのふしぎ	さんしょくのかげ	総合その他	平22	市
		かげえあそび	総合その他	平22	市
		ひかりのおえかき	総合その他	平22	市
		もじゃもじゃかがみ	総合その他	平22	市
		つかめない？	総合その他	平22	市
		はんたいかがみ	総合その他	平22	市
		あくしゅかがみ	総合その他	平22	市
		へんしんかがみ	総合その他	平22	市
		おっかけかがみ	総合その他	平22	市
		すきとおるかがみ	総合その他	平22	市
	うごきとかたちのふしぎ	ボールコースター	総合その他	平22	市
		うきでるかたち	総合その他	平22	市
		ふりこのすなもよう	総合その他	平22	市
		おどるすなもよう	総合その他	平22	市
		うかぶボール	総合その他	平22	市
		すいつくボール	総合その他	平22	市
		おちにくいかたち	総合その他	平22	市
	おとのふしぎ	ふしぎなおとのもり	総合その他	平22	市
		こだまパイプ	総合その他	平22	市
		パラボラ	総合その他	平22	市
	かんかくのふしぎ	いろいろなさっかく	総合その他	平22	市
		すべすべのて	総合その他	平22	市
		さっかくのへや	総合その他	平22	市
		ふしぎなりったい	総合その他	平22	市
		ふしぎなえんばん	総合その他	平22	市
		きえるからだ	総合その他	平22	市
	なつかしのてんじ	あなたもさっきょくか	総合その他	平３	市
		NKSじしゃく	総合その他	昭49	寄贈
		たこのダンス	総合その他	昭39	市
		イライラぼう	総合その他	平５	市
		Go Go! しょうぼうしゃ	総合その他	平13	出品
	あそびのひろば	だまし絵サーカス	総合その他	平29	市
		じゅんすいッチ	総合その他	平28	市
		ウッディ・プレイランド	総合その他	平22	市
技術のひろがり 理工館３階 （20点）	街ではたらく機械	モノづくり都市パノラマ	交通･機械	平22	市・寄
		電車	交通･機械	平22	市
		クレーン	交通･機械	平22	市
		大型船	交通･機械	平22	市
		飛行機	交通･機械	平22	市
		ロボット	交通･機械	平22	市・寄
	機械の素	歯　車	交通･機械	平１	市
		滑　車	交通･機械	平22	市
		て　こ	交通･機械	平22	市
		ね　じ	交通･機械	平22	市
		ベルトプーリー	交通･機械	平22	市
	部品・製品をつくる	けずる	交通･機械	平22	市
		プレス	交通･機械	平22	市
		溶接	交通･機械	平22	市
		鋳物・射出成形	交通･機械	平22	市・寄
	身近な機械	ミシン	交通･機械	平22	市・寄
		自動販売機	交通･機械	平22	市・寄
		掃除機	交通･機械	平22	市・寄
		時計	交通･機械	平22	市・寄
		くらしの中の電子機器	交通･機械	平22	市・寄
科学原理とのふれあい 理工館４階 （31点）	実験のアトリエ	水の波を見る	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		縦波と横波	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		電磁波	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市・寄
		声の振動を見る	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		音の波を見る	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		音のフレネルレンズ	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		ボールの色選び	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		偏光	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		屈折	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		振動する磁界	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		磁性流体	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		電磁石	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
科学原理とのふれあい 理工館４階 (31点)	実験のアトリエ	トムソンリング	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		磁界のかたち	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		モーター	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		落ちにくい円盤	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		モンキーハンティング	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		加速度と距離	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		回る水槽	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		モーメント	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		転がる円盤	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		パラボラの反射	数学･情報	平22	市
	数学	自然を数字で表す	数学･情報	平22	市
		公式と図形	数学･情報	平22	市
		物理現象に見る数学	数学･情報	平22	市
		自然現象に見る数学	数学･情報	平22	市
		直線がつくる曲面	数学･情報	平22	市
	情報科学	スーパーコンピューター「京」	数学･情報	令1	市
		二進法のしくみ	数学･情報	平22	市
		文字のコード化	数学･情報	平22	市
		デジタル画像	数学･情報	平22	市
物質･エネルギーのせかい 理工館５階 (32点)	材料大集合	身の回りの材料大図解	物質	平22	市・寄
		重さくらべ	物質	平22	市・寄
		自転車の重さくらべ	物質	平22	市
		金属疲労	物質	平22	市
		熱伝導	物質	平22	市
		電気伝導	物質	平22	市
		弾み方	物質	平22	市
		板ばねの力くらべ	物質	平22	市
		形状記憶合金	物質	平22	市・寄
		液晶	物質	平22	市
		超はっ水と超親水	物質	平22	市・寄
		香料	物質	平22	市・寄
		熱や光で色変化	物質	平22	市・寄
		セラミックスのセンサ	物質	平22	市
		半導体	物質	平22	市
		セラミックス	物質	平22	市・寄
		金属	物質	平22	市・寄
		有機材料	物質	平22	市
	原子・分子の世界	微小な世界へ	物質	平22	市
		原子の誕生	物質	平22	市
		元素周期表	物質	平22	市
		炎色反応	物質	平22	寄贈
		蛍光	物質	平22	市
		動き回る分子-ブラウン運動-	物質	平22	市
		さまざまな分子と化学結合	物質	平22	市
		水分子	物質	平22	市
		炭素	物質	平22	市
	エネルギー	エネルギーとは	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		世界のエネルギー事情	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		わたしたちの主なエネルギー源	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	出品
		エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
		エネルギーQ&A	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	平22	市
最新科学とのであい 理工館６階 (14点)	地球を知る	新たな世界への挑戦	環境	平22	市
		気候変動を探る	環境	平22	市
		二酸化炭素地中貯留実験	環境	平22	市
	宇宙へ挑む	太陽を観測する～太陽望遠鏡～	天文･宇宙	平22	市
		宇宙へ到達する～H-ⅡBロケット～	天文･宇宙	平22	市・寄
	宇宙へ挑む	宇宙から地球を解き明かす-世界のロケットと地球観測衛星-	天文･宇宙	平22	市
		宇宙環境を利用する～「きぼう」日本実験棟～	天文･宇宙	平22	市
	地下へ挑む	地圏	環境	平22	市
		地下へ到達する-地球深部探査船「ちきゅう」-	環境	平22	市
		地下から地球を解き明かす-ボーリングコア-	環境	平22	市・出
		地下から地球を解き明かす-地震観測網-	環境	平22	市

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
最新科学とのであい 理工館６階	地下へ挑む	地下環境を利用する-ジオプロジェクト-	環境	平22	市
	話題の科学	話題の科学１	総合その他	平22	市
		話題の科学２	総合その他	平22	市
宇宙のすがた 天文館５階 （40点）	天文学のあゆみ	古代人の宇宙	天文･宇宙	平22	市
		天動説から地動説へ	天文･宇宙	平22	市
		江戸時代の天文学	天文･宇宙	平22	市
		光学望遠鏡のしくみ	天文･宇宙	平22	市
		望遠鏡をのぞいてみよう	天文･宇宙	平22	市
		65cm望遠鏡	天文･宇宙	平22	市
		望遠鏡の大きさくらべ	天文･宇宙	平22	市
		さまざまな波長	天文･宇宙	平22	市
		分光観測とスペクトル	天文･宇宙	平22	市
		電波天文学	天文･宇宙	平22	市
		赤外線天文学	天文･宇宙	平22	寄贈
		Ｘ線天文学	天文･宇宙	平22	出品
		市街光と星空	天文･宇宙	平17	市
		宇宙線をみる	天文･宇宙	昭52	市
	宇宙のひろがり	パワーズオブテン	天文･宇宙	平22	市
		地球	天文･宇宙	平22	市
		太陽系	天文･宇宙	平22	市
		月の満ち欠け	天文･宇宙	平22	市
		月への挑戦	天文･宇宙	平22	市
		小牧隕石	天文･宇宙	平30	市・出
		惑星の動きと万有引力	天文･宇宙	昭45	市
		惑星探査	天文･宇宙	平22	市
		宇宙を測る・宇宙を探る	天文･宇宙	平22	市
		ニュートリノ	天文･宇宙	平22	市
		星座を形づくる星々	天文･宇宙	平22	市
		星の世界	天文･宇宙	平22	市
		銀河の世界	天文･宇宙	平22	市
		銀河系と天の川	天文･宇宙	平22	市
		宇宙の果て	天文･宇宙	平22	市
	プラネタリウムの歴史	プラネタリウムの歴史	天文･宇宙	平22	市
		アイジンガー・プラネタリウム	天文･宇宙	平22	市
		ピンホール式プラネタリウム	天文･宇宙	平22	寄贈
		ツァイスIV型プラネタリウム	天文･宇宙	平22	市
		ファイバー式プラネタリウム	天文･宇宙	平22	市
		モリソン型プラネタリウム	天文･宇宙	令6	市・寄
		デジタル式プラネタリウムのしくみ	天文･宇宙	令5	市
		デジスターⅡ	天文･宇宙	平29	寄贈
		デジタルタイムカプセル	天文･宇宙	平22	市
		星座早見盤	天文･宇宙	平22	市
		天文時計	天文･宇宙	令6	寄贈
地球のすがた 生命館２階 （14点）	地球環境変化の歴史	地球環境変化の歴史	環境	平10	市
	過去の地球を探る	過去の地球を探る	環境	平８	寄贈
		パレオパラドキシア	環境	令6	市
		マプサウルス	環境	平21	市
		地球を知る手がかり	環境	平28	市
	地球のデザイン	水の流れがつくる模様	環境	平10	市
		対流がつくる模様	環境	平10	市
		飛び出す雲のリング	環境	平10	市
		夕焼けをつくろう	環境	平10	市
		虹をつくろう	環境	平10	市
		地震実験装置	環境	平10	市
		地球環境ゲーム	環境	平15	市
	発見処	発見処	総合その他	平13	市
		地球工房	総合その他	平16	市
生活のわざ 生命館３階 （10点）	食のめぐみ	あなたの食事診断	生活	平12	市
		サイクルでサイクル	生活	平13	市
	家と都市	家のつくり	生活	平13	市
		リサイクルガーデン	生活	平13	市
		都市の地下	生活	平13	市
		都市の防災	生活	平13	市
	くらしと地球	世界のくらし	生活	昭63	市
		くらしとお天気	生活	平11	市
		環境とくらし	生活	平13	市
		都市気候観測ステーション	生活	平13	市

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
人体のふしぎ 生命館４階 (25点)	うごかす・ささえる	筋肉のふしぎ/骨のふしぎ	生命	平28	市
	うごかす・ささえる	顔の筋肉と骨を見てみよう	生命	平29	市
		筋肉を動かしてみよう	生命	平29	市
		骨パズル	生命	平29	市
	そだつ・うけつぐ・かわる	受精から出産まで	生命	平30	市
		胎児の成長	生命	令2	市
		かわるからだ	生命	令2	市
	つたえる・かんがえる・ちょうせつする	神経系・内分泌系のふしぎ	生命	平28	市
		ミクロの文字を書いてみよう	生命	平30	市
		自分の触覚を試してみよう	生命	平30	市
		自分の反応速度を調べてみよう	生命	平30	市
		脳	生命	平24	寄贈
	はこぶ・めぐる	呼吸・循環のふしぎ	生命	平28	市
		自分の血管を見てみよう	生命	平29	市
		自分の心臓の動きを感じてみよう	生命	平29	市
		クイズ　呼吸・循環	生命	令2	市
	とりこむ・すてる	消化・吸収・排出のふしぎ	生命	平28	市
		食べ物はどこへゆく？	生命	平28	市
		消化器ギャラリー	生命	平28	市
		内臓パズル	生命	平29	市
	人体スタジアム	人体ランニング	生命	令1	市
		ポーズをとってみよう	生命	令1	市
	からだのしくみ	透明人体	生命	令2	市
		からだのふしぎ	生命	令2	市
		人体ニュース	生命	令3	市
生命のひみつ 生命館５階 (10点)	生きものラボ	ワンダーゲノム	生命	平23	市
		生命ラボ	生命	平23	市
		生きものギャラリー	生命	平23	市
		遺伝子ミニラボ	生命	平23	市
	細胞	細胞共和国	生命	平24	市
		細胞ラボ	生命	平24	市
	ＤＮＡ	ＤＮＡってなんだろう？	生命	平25	市
		チャレンジ！ＤＮＡ	生命	平25	市
	くらしとバイオテクノロジー	バイオのめぐみ	生命	平26	市
		バイオの森	生命	平26	市
あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室 生命館地下２階 (22点)	野依良治	受賞者紹介展示	物質	令2	市・県
		左と右の世界	物質	令2	市・県
		化学合成ゲーム	物質	令2	市・県
	小林誠・益川敏英	受賞者紹介展示	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	令2	市・県
		地球のボールと月のボール	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	令2	市・県
		物質は何からできているか	ｴﾈﾙｷﾞｰ・物理	令2	市・県
	下村脩	受賞者紹介展示	生命	令2	市・県
		蛍光タンパク質のいろいろな色	生命	令2	市・県
		オワンクラゲを捕まえよう	生命	令2	市・県
	赤崎勇・天野浩	受賞者紹介展示	交通･機械	令2	市・県
		青色の光がない世界	交通･機械	令2	市・県
		結晶の形と機能	交通･機械	令2	市・県
	大隅良典	受賞者紹介展示	生命	令2	市・県
		オートファジーのしくみ	生命	令2	市・県
		いろいろな細胞	生命	令2	市・県
	吉野彰	受賞者紹介展示	物質	令2	市・県
		リチウムイオン電池のしくみ	物質	令2	市・県
		電極カードバトル	物質	令2	市・県
	体験交流展示	ノーベルウィークの魅力	総合その他	令2	市・県
		実験ブース	総合その他	令2	市・県
	大型映像展示	大型映像展示	総合その他	令2	市・県
	ノーベル賞解説展示	ノーベル賞解説展示	総合その他	令2	市・県

大型展示（５点）（B6形蒸気機関車は屋外展示と重複）

水のひろば 理工館2･3階	くものステージ	さかのぼるあめ	総合その他	平22	市・寄
		みずのプリズム			
		くものつぶとあめのつぶ			
	あめのステージ	ころがるすいてき			
		あまつぶのかたち			
	かわのステージ	ながれとうず			
		みずのシーソー			
		いろいろなすいしゃ			
水のひろば 理工館2･3階	かわのステージ	うずをつくる	総合その他	平22	市・寄
	うみのステージ	アルキメデスのポンプ			
		おうふくポンプ			
		かいてんポンプ			
		かいてんぐるま			
		ながれあそび			
		みずでっぽう			
		ジャンボしゃぼんまく			
		りったいしゃぼんまく			
		ぶくぶくタンク			
		ポコポコタンク			
竜巻ラボ理工館3･4階	竜巻ラボ	竜巻ラボ	環境	平22	市
放電ラボ理工館4･5階	放電ラボ	放電ラボ	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
極寒ラボ理工館 5階	極寒ラボ	極寒ラボ	環境	平22	市・寄
B6形蒸気機関車 屋外展示	鉄道ひろば	B6形蒸気機関車	交通･機械	昭43	寄贈

その他（3点）

エントランスホール 理工館１階（2点）	エントランス展示	LE-7エンジン	天文･宇宙	平６	出・寄
		建物の環境配慮設備	環境	平22	市
休憩室生命館１階	フーコーの振り子	フーコーの振り子	天文･宇宙	平22	市

屋外（B6形蒸気機関車は大型展示と重複）

屋外展示 （12点）	屋外展示 鉄道ひろば	B6形蒸気機関車	交通･機械	昭43	寄贈
		オハ35 2001号	交通･機械	令8	市
		供奉車 344号	交通･機械	令8	市
		時を超える鉄道の壁	交通･機械	令8	市
		名古屋市電 1401号	交通･機械	昭49	寄贈
	屋外展示	H-ⅡBロケット	天文･宇宙	平23	寄贈
		日本実験棟「きぼう」	天文･宇宙	平23	寄贈
		南極観測用雪上車SM50S型522号車	環境	平29	出品
		ニュートンのりんごの木	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	寄贈
		フランシス水車	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	昭43	出品
		無人探査機　ドルフィン３K	環境	平16	出品
		風力発電装置	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平16	寄贈

分類別集計

天文･宇宙	48
物質	33
数学･情報	10
ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	33
交通･機械	28
生命	41
環境	25
生活	10
総合その他	43
合計	271

備考欄集計

市	205	76%
市・寄	21	8%
市・出	2	1%
市・県	22	8%
寄贈	14	5%
出品	6	2%
出・寄	1	0%
合計	271	100%

建物集計

理２	34	
理３	20	
理４	31	
理５	32	
理６	14	131
天５	40	40
生地下２	22	
生２	14	
生３	10	
生４	25	
生５	10	81
大型	5	5
その他	3	3
屋外	12	12
合計		271

３　年度別決算

※職員給与は市役所費用にて一括計上のため除く

年度	経常費歳出 人件費	経常費歳出 運営費	経常費歳出 計	歳入決算(観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
昭和36	千円 —	千円 989	千円 989	千円 —	人	千円 ※	千円 建設費 194,900
37	1,440	13,758	15,198	6,790	111,023	※ 37.11.1 第一期工事(天文館)完成	建設費 245,991
38	720	22,470	23,190	12,537	212,047	※ 38.6.29 第二期工事(理工館)着工	建設費 200,000
39	27,569	38,513	66,082	22,523	325,001	39.10.30 第二期工事(理工館)完成	建設費 407,149
40	33,648	53,904	87,552	27,296	366,296		
41	36,936	58,427	95,363	27,259	375,720		
42	39,914	65,038	104,952	26,564	379,220		
43	45,075	66,429	111,504	30,839	431,740	スカイラインプロジェクタ設置	
44	51,485	73,946	125,431	33,525	453,398	プラネタリウム椅子取替え	
45	58,161	77,139	135,300	32,700	445,817	プラネタリウムドーム内天井塗装	
46	69,792	89,231	159,023	34,455	470,288		
47	74,893	101,326	176,219	33,049	464,848		
48	86,034	98,959	184,993	36,261	497,966		
49	106,543	111,006	217,549	36,988	510,016		
50	148,972	164,077	313,049	40,768	553,795	ＳＣＲ調光器取替	
51	161,180	387,779	548,959	52,046	495,551		空調熱源取替 214,000
52	160,845	196,793	357,638	51,705	501,747		
53	182,537	212,063	394,600	53,053	519,689		
54	190,001	216,492	406,493	53,066	515,791		
55	198,134	223,249	421,383	55,110	593,571		
56	203,376	254,889	458,265	51,071	477,384		エレベータ取替 49,000
57	217,504	274,420	491,924	50,913	476,272		エレベータ取替 49,500
58	223,636	289,283	512,919	43,480	418,701		プラネタリウム室改修 103,000
59	229,019	288,658	517,677	69,432	452,249		天文館改修 220,000 生命館基本設計 7,000 望遠鏡設置 75,000
60	242,433	280,497	522,930	76,532	499,750		生命館実施設計 70,000
61	264,216	288,563	552,779	71,012	421,309		生命館建設(初年度分) 895,950
62	277,742	292,205	569,947	78,464	571,611		生命館建設(第２年度分) 552,200 科学館の改修(初年度分) 249,600
63	291,979	315,957	607,936	65,317	440,089		生命館建設(最終年度分) 2,415,770 科学館の改修(最終年度分) 998,400 プラネタリウムの施設整備 87,796 発券改札業務の機械化 93,090

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計	(観覧料)			
平成元	千円 311,870	千円 611,743	千円 923,613	千円 113,723	人 636,758	千円 生命館開館式典費 4,720	千円
2	324,977	593,417	918,394	130,943	738,855		
3	354,803	728,085	1,082,888	117,673	726,889	プラネタリウムオーバーホール 22,000 ハイビジョン 映像情報コーナー設置 97,000	
4	365,527	572,743	938,270	116,924	709,590	開館30周年記念式典	
5	373,281	609,427	982,708	107,887	676,276		
6	381,162	623,955	1,005,117	88,693	684,841		理工館冷温水発生機等整備 107,000 電源設備等復旧 328,600
7	386,952	703,174	1,090,126	106,252	733,520	プラネタリウム 新演出システム導入 64,200 福祉環境整備 42,800	天文館用熱源機器取替等整備 107,000
8	381,840	525,817	907,657	84,657	680,538	自動改札システム更新 14,097	天文館空調機取替等整備 42,800 天文館・理工館耐震診断 4,422
9	382,080	562,686	944,766	77,840	610,342	プラネタリウム 調光装置改修 17,640	理工館空調機器取替等整備 109,000
10	388,960	633,179	1,022,139	84,990	711,416	館内情報システム 電気配線工事 8,400	
11	395,080	587,541	982,621	77,413	724,128	ガス管及び水道管布設替 9,000 プラネタリウムオーバーホール 20,000	
12	388,557	548,277	936,834	63,741	544,530	スカイラインプロジェクター システム更新 5,600	
13	349,200	638,055	987,255	65,908	550,524	プラネタリウムスクリーン塗装 15,225	
14	334,800	545,151	879,951	72,087	675,170	プラネタリウム 補聴システム導入 1,597 理工館展示品更新 4,000	
15	323,000	535,052	858,052	69,271	624,325	プラネタリウム音響装置改修 4,000 出前ミュージアム 3,137	
16	297,000	487,413	784,413	62,344	615,425	プラネタリウム電源部改修 10,626 理工館・天文館改築基本構想 4,935	
17	300,832	456,635	757,467	67,213	486,104	愛・地球博記念 ロボットサッカー国際交流 10,000 科学演芸(笹島サテライト) 3,000 理工館・天文館改築基本構想 1,785	
18	321,742	476,335	798,077	68,295	614,577	プラネタリウム映像機器改修 4,798 理工館・天文館改築基本計画 40,971	
19	341,532	391,496	733,028	64,210	618,956		理工館・天文館改築 315,589

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計	(観覧料)			
	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
平成20	335,160	387,104	772,264	66,687	607,864		理工館・天文館改築 288,640
21	326,700	380,855	707,555	73,403	606,157		理工館・天文館改築 2,421,157
22	319,464	354,918	674,382	57,573	481,957		理工館・天文館改築 12,197,788
23	274,691	601,132	875,823	333,907	1,531,854		屋外展示・外構改築 794,389
24	281,632	618,490	900,122	306,626	1,303,372		
25	289,949	617,573	907,522	277,651	1,436,926		
26	291,291	659,401	950,692	268,148	1,394,003		生命館空調動力盤交換 2,376
27	296,472	623,827	920,299	238,856	1,382,275		ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ機器の更新 151,999 天井等落下防止対策調査 8,030
28	294,690	838,348	1,133,038	240,750	1,379,296		エレベーター改修 918 生涯学習施設の大規模修繕 3,975
29	297,561	649,976	947,537	235,430	1,219,416	ノーベル賞受賞者顕彰施設整備基本計画 7,449	エレベーター改修 79,380 ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ LED 改修 27,994 生涯学習施設の大規模修繕 5,382
30	295,911	644,322	940,233	236,606	1,354,469		ﾉｰﾍﾞﾙ賞受賞者顕彰施設整備の設計 50,406 天井落下防止対策実施設計 2,312 生涯学習施設の大規模修繕 4,846
令和元	282,038	633,703	915,741	210,116	1,328,867		ﾉｰﾍﾞﾙ賞受賞者顕彰施設の整備 40,159 B6型蒸気機関車の動態展示に向けた調査等 9,793 生命館トイレ改修の設計 3,597 天井落下防止対策工事 31,696 生涯学習施設の大規模修繕 8,183
2	297,099	669,689	966,788	49,119	263,911		ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ機器の更新 68,838 ﾉｰﾍﾞﾙ賞受賞者顕彰施設の整備902,619 B6型蒸気機関車の運搬等 9,679 トイレの改修 90,165 生涯学習施設の大規模修繕 9,502
3	360,159	889,735	1,249,894	136,062	773,655		生涯学習施設の大規模修繕 11,180
4	374,947	1,010,253	1,385,200	202,002	1,105,638	B6型蒸気機関車等の展示整備に向けた基本計画の策定等 68,658	生涯学習施設の大規模修繕 8,842
5	395,830	1,203,006	1,386,625	211,241	1,179,699	B6型蒸気機関車等の展示整備に向けた基本計画の策定等 212,211	生涯学習施設の大規模修繕 30,170
6	414,192	953,686	1,367,878	258,640	1,379,860		B6型蒸気機関車等の展示整備 225,506 生涯学習施設の大規模整備 23,620
7	412,664	996,799	1,409,463	261,498	1,376,604		B6型蒸気機関車等の展示整備 821,428

(注) 昭和56年度以降の人件費については、生涯学習推進職員費(平成9年度までは社会教育総務費、令和2年度までは生涯学習推進費)にて一括計上のため按分により算出

４　展示協力

（掲載している協力者の名称は、寄贈当時の名称を基本としています。）

協　力　者	展　示　品　名	区　分	展示場所
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-Ⅱロケットメインエンジン(LE-7)	展示品出品	理工館1階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-Ⅱロケット(模型)	展示品寄贈	理工館1階
立命館大学文学部心理学専攻教授 北岡明佳	さっかく	作品提供	理工館2階
明治大学研究・知財戦略機構特任教授 杉原厚吉	さっかく	作品提供	理工館2階
住友特殊金属株式会社	ＮＫＳじしゃく	展示品寄贈	理工館2階
名古屋市消防局	GoGo!しょうぼうしゃ	展示品出品	理工館2階
竹田印刷株式会社	ころがるすいてき（超はっ水シート）	物品寄贈	理工館2階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授　高井治	ころがるすいてき	製作協力	理工館2階
オーストラリア国立科学技術センター	いろいろな錯覚（ホロウマスク錯視）	物品寄贈	理工館2階
名古屋鉄道株式会社	モノづくり都市パノラマ（模型車両）	物品寄贈	理工館3階
日本貨物鉄道株式会社	モノづくり都市パノラマ（模型車両）	物品寄贈	理工館3階
日本車輌製造株式会社	電車	画像協力	理工館3階
名古屋市交通局	電車	画像協力	理工館3階
高木　常雄	蒸気機関車Ｃ53模型	物品寄贈	理工館3階
	蒸気機関車Ｃ64模型	物品寄贈	理工館3階
株式会社竹中工務店	クレーン	製作協力	理工館3階
株式会社新来島豊橋造船	大型船	画像協力	理工館3階
ナカシマプロペラ株式会社	大型船	画像協力	理工館3階
日本航空株式会社中部支社事業推進部	ものづくり都市パノラマ（航空機模	物品寄贈	理工館3階
ボーイング	飛行機	画像協力	理工館3階
中日本航空専門学校	飛行機	製作協力	理工館3階
株式会社デンソー	ロボット（産業ロボット体験装置）	装置部寄贈	理工館3階
	ものづくり都市パノラマ	画像協力	理工館3階
名古屋市立工業高等学校	けずる、溶接、鋳物・射出成形	製作協力	理工館3階
一般社団法人日本アルミニウム協会	プレス（アルミニウム標本）	物品寄贈	理工館3階
長島鋳物株式会社	鋳物・射出成形（名古屋市型マンホールふた）	物品寄贈	理工館3階
ブラザー工業株式会社	ミシン（ミシンのしくみ体験装置）	装置部寄贈	理工館3階
	ミシン（スケルトンミシン）	装置部寄贈	理工館3階
	くらしの中の電子機器（複合機・モバイルプリンター）	物品寄贈	理工館3階
富士電機リテイルシステムズ株式会社	自動販売機（自動販売機）	装置部寄贈	理工館3階
日立アプライアンス株式会社	掃除機（掃除機）	装置部寄贈	理工館3階
	掃除機（掃除機カットモデル）	物品寄贈	理工館3階
リコーエレメックス株式会社	時計（時計分解図パネル・時計部品）	物品寄贈	理工館3階
なるせ時計	時計	画像協力	理工館3階
株式会社日立製作所　中部支社	くらしの中の電子機器（薄型テレビ）	物品寄贈	理工館3階
パナソニック電工株式会社	くらしの中の電子機器（蛍光灯電球）	物品寄贈	理工館3階
象印マホービン株式会社	くらしの中の電子機器（圧力IH炊飯ジャー）	装置部寄贈	理工館3階
株式会社デンソー	電磁波（ミリ波レーダー）	物品寄贈	理工館4階
東京都立高等学校教諭　田原輝夫	音のフレネルレンズ	製作協力	理工館4階
独立行政法人産業技術総合研究所計量標準センター	自然を数字で表す	画像協力	理工館4階
独立行政法人情報通信研究所	自然を数字で表す	画像協力	理工館4階
理化学研究所	スーパーコンピューター「京」	物品寄贈	理工館4階
パナソニック電工株式会社	身の回りの材料大図解（ノートパソコン筐体始め7点）	物品寄贈	理工館5階
大同特殊鋼株式会社	重さくらべ（金属）	装置部寄贈	理工館5階
	形状記憶合金（形状記憶合金）	装置部寄贈	理工館5階
	金属（金属標本）	物品寄贈	理工館5階
株式会社LIXIL	超はっ水と超親水（超親水タイル）	物品寄贈	理工館5階
竹田印刷株式会社	超はっ水と超親水（超はっ水シート）	物品寄贈	理工館5階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授　高井治	超はっ水と超親水	製作協力	理工館5階
高砂香料工業株式会社	香料（香料）	装置素材寄贈	理工館5階
	炭素	装置素材寄贈	理工館5階

協　力　者	展　示　品　名	区　分	展示場所
パイロットインキ株式会社	熱や光で色変化（サーモクロミズムシート）	装置部寄贈	理工館5階
信越化学工業株式会社	半導体	物品寄贈	理工館5階
日本特殊陶業株式会社	セラミックス（ファインセラミックス標本）	物品寄贈	理工館5階
新日本製鐵株式会社　名古屋製鉄所	金属（金属標本）	物品寄贈	理工館5階
日本金属株式会社	金属（金属標本）	物品寄贈	理工館5階
一般社団法人日本アルミニウム協会	金属（アルミニウム標本）	物品寄贈	理工館5階
東邦ガス株式会社	炎色反応	展示品寄贈	理工館5階
中部電力株式会社	わたしたちの主なエネルギー源	装置部出品	理工館5階
石油連盟	エネルギーで成り立っているわたしたちのくらし	資料寄贈	理工館5階
ミサワホーム株式会社	極寒ラボ（南極の建築部材）	物品寄贈	理工館5階
国立極地研究所	極寒ラボ（防寒具）	物品寄贈	理工館5階
	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館5階
	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
知床斜里町観光協会	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館5階
立山カルデラ博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
旭川市科学館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
北海道オホーツク流氷科学センター	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
関西電力株式会社	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館5階
名古屋大学雪氷圏研究グループ	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
株式会社テレビ朝日	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
西堀栄三郎記念探検の殿堂	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
名古屋海洋博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
有限会社キューアールシー	極寒ラボ（昭和基地付近立体地図）	物品寄贈	理工館5階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	宇宙へ到達する（H-ⅡBロケット試験機の衛星フェアリングの一部）	物品寄贈	理工館6階
	宇宙へ到達する（M-Ⅴノーズフェアリングカットモデル）	物品寄贈	理工館6階
	宇宙環境を利用する（SFUサーマル・ブランケット）	物品寄贈	理工館6階
	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
	宇宙から地球を解き明かす	画像協力	理工館6階
	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
三菱重工業株式会社	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
川崎重工業株式会社	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
京都大学大学院工学研究科准教授 山田泰広	二酸化炭素地中貯留実験	製作協力	理工館6階
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	地圏－ジオスフェア	画像協力	理工館6階
	地下環境を利用する	資料寄贈	理工館6階
東北大学理学部地球科学系教授 掛川武	地圏-ジオスフェア	資料寄贈	理工館6階
国立科学博物館	地圏－マントルと核	画像協力	理工館6階
独立行政法人海洋研究開発機構	地下へ到達する	画像協力	理工館6階
	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料出品	理工館6階
独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
独立行政法人日本原子力研究開発機構	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
	地下環境を利用する	画像協力	理工館6階
神奈川県温泉地学研究所	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
DOWAホールディングス株式会社	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
住友金属鉱山株式会社	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
名古屋市見晴台考古資料館	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
国際日本文化研究センター安田研究室	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階

協　力　者	展　示　品　名	区　分	展示場所
山田亮一	地下から地球を解き明かす	製作協力	理工館6階
徳島大学　押村美幸	気候変動を探る	画像協力	理工館6階
国立極地研究所	気候変動を探る	画像協力	理工館6階
独立行政法人防災科学技術研究所	地下から地球を解き明かす（地震観測網）	データ協力	理工館6階
九州電力株式会社	地下環境を利用する	画像協力	理工館6階
名古屋大学博物館教授　吉田英一	地下環境を利用する	データ協力	理工館6階
一般財団法人日本宝くじ協会	80cm反射望遠鏡	寄贈	理工館7階
日本ガイシ株式会社	過冷却水製造装置	物品寄贈	実演用
	水流を曲げる実験装置	物品寄贈	実演用
	雲をつくる装置	物品寄贈	実演用
山田達夫	江戸時代の天文学	資料寄贈	天文館5階
国立天文台岡山天体物理観測所	分光観測とスペクトル（分光器）	画像協力	天文館5階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	赤外線天文学（「あかり（ASTRO-F）」冷却系プロトモデル）	物品寄贈	天文館5階
名古屋大学大学院理学研究科宇宙物理学研究室	X線天文学（X線望遠鏡（あすか衛星搭載用スペア）・X線望遠鏡1/4鏡（BBXRT試験モデル））	物品出品	天文館5階
国立天文台　かぐやプロジェクト	月の満ち欠け	データ協力	天文館5階
国立天文台　4D2Uプロジェクト	銀河の世界	データ協力	天文館5階
アイジンガー・プラネタリウム	アイジンガー・プラネタリウム	画像協力	天文館5階
金子芳江	ピンホール式プラネタリウム（金子式プラネタリウム始め8点）	物品寄贈	天文館5階
名古屋大学情報文化学部	デジタルタイムカプセル	製作協力	天文館5階
宇宙科学博物館コスモアイル羽咋	デジスターⅡ	物品寄贈	天文館5階
日本科学未来館	宇宙線をみる（光電子増倍菅）	物品寄贈	天文館5階
東京都荒川区立教育センター	モリソン型プラネタリウム	物品寄贈	天文館5階
下村　脩	受賞者紹介展示（下村脩）	物品寄贈画像協力	生命館地下2階
下村明美	受賞者紹介展示（下村脩）	学術監修物品寄贈	生命館地下2階
東京大学名誉教授　馬渕一誠	受賞者紹介展示（下村脩）	学術監修製作協力	生命館地下2階
三重大学　寺西克倫	受賞者紹介展示（下村脩）	製作協力	生命館地下2階
マーティン・チャルフィー	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
平田正義先生追悼記念事業会	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
中部大学　大場裕一	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
名古屋大学高等研究院・ITbM　水多陽	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
鶴岡市立加茂水族館	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
魚津水族館	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
静岡大学　大場由美子	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
長崎大学薬学部	受賞者紹介展示（下村脩）	製作協力	生命館地下2階
長崎原爆資料館	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
メダカバイオリソースプロジェクト	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
国立感染症研究所	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
大隅良典	受賞者紹介展示（大隅良典）	物品寄贈画像協力	生命館地下2階
基礎生物学研究所　鎌田芳彰・倉田智	受賞者紹介展示（大隅良典）	学術監修物品寄贈	生命館地下2階
千葉大学　松浦　彰	受賞者紹介展示（大隅良典）	物品寄贈	生命館地下2階
工学院大学　馬場美鈴	受賞者紹介展示（大隅良典）	画像協力	生命館地下2階
東京大学　水島　昇	受賞者紹介展示（大隅良典）	画像協力	生命館地下2階
名古屋大学素粒子宇宙起源研究所　棚橋誠治、南崎梓	受賞者紹介展示（小林誠・益川敏英）	製作協力	生命館地下2階
高エネルギー加速器研究機構	受賞者紹介展示（小林誠・益川敏英）	画像協力	生命館地下2階
小林誠	受賞者紹介展示（小林誠・益川敏英）	物品寄贈製作協力	生命館地下2階
益川敏英	受賞者紹介展示（小林誠・益川敏英）	製作協力	生命館地下2階
野依良治	受賞者紹介展示（野依良治）	製作協力	生命館地下2階
名古屋大学	受賞者紹介展示（野依良治）	画像協力	生命館地下2階
日本経済新聞出版	受賞者紹介展示（野依良治）	画像協力	生命館地下2階
東レ株式会社	受賞者紹介展示（野依良治）	画像協力	生命館地下2階
ハーバード大学	受賞者紹介展示（野依良治）	画像協力	生命館地下2階
読売新聞社	受賞者紹介展示（野依良治）	画像協力	生命館地下2階
吉野彰	受賞者紹介展示（吉野彰）	製作協力	生命館地下2階
旭化成株式会社	受賞者紹介展示（吉野彰）	製作協力	生命館地下2階
読売新聞社	受賞者紹介展示（吉野彰）	画像協力	生命館地下2階
でんきの科学館	受賞者紹介展示（吉野彰）	画像協力	生命館地下2階

協　力　者	展　示　品　名	区　分	展示場所
名古屋大学	受賞者紹介展示（赤崎勇・天野浩）	画像協力	生命館地下2階
名城大学	受賞者紹介展示（赤崎勇・天野浩）	画像協力	生命館地下2階
日本経済新聞出版	受賞者紹介展示（赤崎勇・天野浩）	画像協力	生命館地下2階
ＰＰＳ通信社	受賞者紹介展示（赤崎勇・天野浩）	画像協力	生命館地下2階
天野浩	受賞者紹介展示（赤崎勇・天野浩）	物品寄贈製作協力	生命館地下2階
高砂香料工業株式会社	実験ブース	物品寄贈	生命館地下2階
東京工業大学　丸山茂徳	地球環境変化の歴史	資料寄贈	生命館2階
財団法人東海財団	過去の地球を探る	展示品寄贈	生命館2階
つけち創工社	過去の地球を探る	製作協力	生命館2階
名古屋大学年代測定資料センター	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館2階
国立極地研究所	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館2階
信州大学理学部　原山智	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館2階
一般財団法人日本宝くじ協会	家のつくり	展示品寄贈	生命館3階
	リサイクルガーデン	展示品寄贈	生命館3階
一般財団法人日本宝くじ協会	環境とくらし	展示品寄贈	生命館3階
	都市の地下	展示品寄贈	生命館3階
名古屋市立大学　消化器・代謝内科学教室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館4階
名古屋大学　森健策研究室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館4階
文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「計算解剖学」、「多元計算解剖学」	消化器ギャラリー	画像協力	生命館4階
大阪大学大学院　安藤英由樹 NTTコミュニケーション科学基礎研究所　渡邊　淳司	自分の心臓の動きを感じてみよう	企画設計協力	生命館4階
医療社団法人ミオ・ファティリティ・クリニック	受精から出産まで	画像協力	生命館4階
名古屋第二赤十字病院	受精から出産まで	画像協力	生命館4階
医療法人 葵鐘会／キャッスルベルクリニック	受精から出産まで	画像協力	生命館4階
株式会社東海銀行	透明人体（男性像）	物品寄贈	生命館4階
株式会社スズケン	透明人体（女性像）	物品寄贈	生命館4階
自然科学研究機構　生理学研究所	自分の反応速度を調べてみよう	企画協力	生命館4階
日本科学未来館	脳	展示品寄贈	生命館4階
藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門	病気と遺伝について相談したくなったら	画像協力	生命館5階
理化学研究所・京都大学iPS細胞研究所	再生医療への期待	画像協力	生命館5階
藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門	次世代シークエンス	画像協力	生命館5階
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング	自家培養角膜上皮	画像協力	生命館5階
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング	自家培養表皮	画像協力	生命館5階
藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門	遺伝子解析	画像協力	生命館5階
藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門	インフルエンザウイルス検査キット	画像協力	生命館5階
藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門	DNAマイクロアレイ	画像協力	生命館5階
三重大学　珠玖洋・タカラバイオ株式会社	遺伝子組換えリンパ球	画像協力	生命館5階
京都大学iPS細胞研究所	iPS細胞	画像協力	生命館5階
国立研究開発法人産業技術総合研究所	イヌ用の薬を作る	画像協力	生命館5階
国立研究開発法人農業生物資源研究所	遺伝子組換え作物の研究	画像協力	生命館5階
名古屋大学生物機能開発利用研究センター　芦刈基行	遺伝子を調べて育てる	画像協力	生命館5階
名城大学	まだ見ぬ微生物を求めて	画像協力	生命館5階
名古屋大学生物機能開発利用研究センター　芦刈基行/名古屋大学生物機能開発利用研究センター　北野英己	DNAマーカー育種で品種改良	画像協力	生命館5階
愛知県農業総合試験場	地域のブランドを守る（DNA鑑定）	画像協力	生命館5階
日本モンサント株式会社	害虫の被害をふせぐ（GMトウモロコ	画像協力	生命館5階

協　力　者	展　示　品　名	区　分	展示場所
（独）農業生物資源研究所	遺伝子資源を守る(イネ・コアコレクション)	画像協力	生命館5階
日本モンサント株式会社	特定の除草剤の影響を受けない作物(GMダイズ)	画像協力	生命館5階
ハワイパパイヤ協会/Dr.Dennis Gonsalves	ウイルス病を防ぐ(GMパパイア)	画像協力	生命館5階
米国デュポン社	有用な成分を増やす(高オレイン酸GMダイズ)	画像協力	生命館5階
東京大学大学院農学生命科学研究科 北本勝ひこ・丸山潤一/株式会社月桂冠	伝統的な発酵技術をさらに発展	画像協力	生命館5階
株式会社デンソー	藻が作るバイオエネルギー　(展示物：　藻パウダー/粗オイル/精製オイ	展示品寄贈	生命館5階
株式会社カネカ	植物油から作る生分解バイオプラスティック　(展示物:　原料植物油/抽出・精製バイオポリマー)	展示品寄贈	生命館5階
大阪府立大学 小西康裕/株式会社森下仁丹 田川大輔	微生物による有用貴金属回収　(展示物：　微生物が入ったカプセル/金属溶解液に入れた前後)	展示品寄贈	生命館5階
株式会社トヨタ自動車バイオ・緑化研究所	バイオ燃料を作る	画像協力	生命館5階
北海道鹿追町	バイオガス	画像協力	生命館5階
筑波大学・東北大学・仙台市	下水処理	画像協力	生命館5階
立命館大学　久保幹/株式会社大和ハウス工業	汚染土壌の油の除去	画像協力	生命館5階
立命館大学　久保幹	土の肥沃土診断	画像協力	生命館5階
株式会社スパイバー	微生物が作るクモの糸	画像協力	生命館5階
株式会社デンソー	藻が作るハンドクリーム	画像協力	生命館5階
池谷治義	オオミジンコ	展示生物提供	生命館5階
株式会社ドキュメンタリーチャンネル 藤原英史	モジホコリ	展示生物提供	生命館5階
愛知県水産試験場	ニホンウナギ	展示生物提供	生命館5階
理化学研究所バイオリソースセンター実験植物開発室	シロイヌナズナ	展示生物提供	生命館5階
自然科学研究機構基礎生物学研究所 長谷部光泰	ヒメツリガネゴケ	展示生物提供	生命館5階
元・名古屋大学高等研究院YLC特任助教　田中奈月	ゼニゴケ	展示生物提供	生命館5階
池谷治義	ヘイケボタル	展示生物提供	生命館5階
中部大学応用生物学部教授　大場裕一	発光バクテリア	展示生物提供	生命館5階
NPO法人八丈島観光レクリエーション研究会	ヤコウタケ	展示生物提供	生命館5階
自然科学研究機構基礎生物学研究所バイオリソース研究室	GFPメダカ	展示生物提供	生命館5階
石原産業株式会社	B6型蒸気機関車	展示品寄贈	屋　外
名古屋市交通局	市電1400型ボギー車	展示品寄贈	屋　外
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-ⅡBロケット第1段エンジン部	物品寄贈	屋　外
	H-ⅡBロケット第1段ＬH2タンク	物品寄贈	屋　外
	H-ⅡBロケット第1段中央部	物品寄贈	屋　外
	H-ⅡBロケット段間部アダプタ	物品寄贈	屋　外
	H-ⅡBロケット強度試験用供試体	物品寄贈	屋　外
三菱重工業／独立行政法人宇宙航空研究開発機構	日本実験棟「きぼう」	物品寄贈	屋　外
東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）	ニュートンのりんごの木	展示品寄贈	屋　外
独立行政法人海洋研究開発機構	無人探査機ドルフィン3K	展示品出品	屋　外
名古屋城北ライオンズクラブ	風力発電装置	展示品寄贈	屋　外
公益財団法人中部科学技術センター	フランシス水車	展示品出品	屋　外
国立極地研究所	南極観測用雪上車SM50S型522号車	展示品出品	屋　外

５　特別展及び企画展

展　　覧　　会　　名	開　催　期　間	入場者数(人)
時計の今昔展 ～昔の時計、今の時計～	昭38. 6. 1～ 6.16	8,000
電車の科学展 ～電車の知識～	10.10～11.10	8,000
たのしい科学玩具展　～いろいろな科学玩具の展示～	昭39. 2. 1～ 2.26	10,000
新しい時計展 ～近代の時計展示～	昭39. 6. 2～ 6.14	―
のびゆく時計展 ～内外の新しい時計～	昭40. 6. 1～ 6.13	12,000
交通の科学展 ～戦後20年のあゆみと近代化～	10.27～ 11.7	20,000
豊田佐吉生誕100年記念展 ～豊田佐吉に関する資料～	昭41. 4.10～ 4.24	50,000
鉄の本多光太郎展 ～本多光太郎に関する各種資料の展示～	昭42. 4.18～ 5. 7	17,021
カメラの今昔展 ～懐かしいカメラ、新しいカメラの展示～	6. 4～ 6.18	12,826
交通の科学展 ～交通の近代化へのあゆみ～	10.29～11.12	25,098
電力王福沢桃介生誕100年展 ～福沢桃介に関する資料～	昭43. 6.22～ 7. 7	14,980
蒸気機関車展 ～蒸気機関車に関する各種資料を展示～	10.2～11.10	45,943
宇宙科学と望遠鏡展	昭44. 11.1～11.16	30,780
あかりの科学展	昭45. 11.1～11.15	20,517
日本の地震展	昭46. 7.22～ 8. 1	―
月の石と宇宙科学展	昭47. 1. 9～1.23	49,876
花火の科学展	昭47. 9.15～10. 1	―
世界の鉄道展 ～未来の交通～	10.29～11.12	36,000
のびゆく国際通信展	昭48. 4.24～ 5. 6	―
コペルニクス展 ～生誕500年～	昭49. 1. 4～ 1.20	―
写真の科学展 ～写真のあゆみ～	昭49.10.27～11.10	18,994
からくりの科学展 ～からくり人形、文献及び実演～	昭50. 5.17～ 6. 1	11,112
ステレオの科学展 ～蓄音機のあゆみ～	11. 1～11.16	20,247
写真で見る懐かしの名古屋展	昭51.11. 3～11.14	2,546
地図の科学展	昭52. 3.19～ 4. 3	7,000
日本の科学技術の源流を探る	昭52.10.29～11.13	7,263
記録で見る巨大地震	昭53. 1. 7～ 1.22	5,222
日本化学会創立100周年記念展 ～日本の化学100年のあゆみ～	昭53.10.17～10.29	5,000
消防展 ～江戸から近代消防まで～	昭54. 2.17～ 3. 4	12,341
夢ののりもの科学展	昭54. 7.21～ 8. 5	33,218
電気100年展 ～エジソン電球からＬＳＩまで～	10.27～11. 1	15,588
科学者レオナルド・ダビンチ展	昭55. 7.26～ 8.10	21,000
北京原人展 ～日本人のルーツをさぐる～	10.18～11.30	100,088
時計展 ～江戸から昭和初期まで～	昭57. 3. 6～ 3.21	13,835
エネルギーの科学展	昭57. 7.24～ 8.15	45,102
新コミュニケーション展	昭58.10.14～11. 6	19,520
はかる ～長さ・重さ・時間～	昭59. 3.17～ 3.29	9,409
サイエンス・アート	昭59. 7.25～ 8. 5	15,013
科学のひろば ～みよう、ためそう、ふれよう～	昭60. 8. 1～ 8.11	15,767
恐竜イグアノドン展	10. 8～11.24	57,594
鉄道の科学	昭61. 7.26～ 8.10	25,000
ＮＨＫ地球大紀行展	昭62. 4.25～ 5.24	100,758
ザ・カメラ展	8. 6～ 8.16	15,767
オルゴールの科学	昭63. 7.28～ 8. 7	15,799

展　　覧　　会　　名	開　催　期　間	入場者数(人)
人類誕生400万年展	平元. 4.29～ 6.18	106,795
第1回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'89	7. 7～ 7.23	5,777
特別展 世界最新のホログラフィ	7.29～ 9.10	30,260
特別展 スミソニアン ～アメリカの大発明展～	11. 3～12. 3	7,230
特別展 発明王エジソン展	平 2. 4.21～ 6.17	78,775
特別展 恐竜時代 ～日本と中国～	7.21～ 8.31	104,335
企画展 ミクロの世界 ～細胞生物学へのとびら～	10.20～11.11	46,929
企画展 世界を変えた科学書 ～科学・工学のルネサンス～	平 3. 4.27～ 5.12	33,805
特別展 ロボットワールド ～夢と遊びを科学する～	7.20～ 9. 1	106,013
第2回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'91	10.10～11.10	54,691
特別展 生命の大進化展	平 4. 3.20～ 5.10	69,039
特別展 ザ・化学展'92	平 4. 7.18～ 8.30	72,459
企画展 ふれあい地球ひろば	11. 1～11.12	32,409
第3回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'93	平 5. 4.23～ 6. 6	50,534
特別展 のりもの大集合展	7.17～ 8.31	88,482
企画展 ガラスの科学展(電気室事故により途中打切り)	平 6. 3.19～ 3.24	8,770
企画展 '93名古屋タンポポ調査隊報告展	平 6. 7. 1～ 7.17	28,441
特別展 ふしぎ体感!! マジカル・サイエンス	7.21～ 8.31	101,323
特別展 世界のモーターサイクル歴史展	9.10～10.16	30,301
特別展 知られざるサメの世界展	11.23～平7. 1. 8	36,251
企画展 エネルギー体験館 ～みよう・ふれよう電気の世界～	1.14～ 1.29	29,289
企画展 遺伝子のひ・み・つ	3.18～ 4. 2	31,118
第4回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'95	平 7. 4.28～ 6.25	41,855
特別展 パリ発! 科学と遊ぶ夢空間「ラ・ビレット展」	7.22～ 8.31	48,637
特別企画 クリスタルワールド ① 特別展 スミソニアン博物館「大宝石・鉱物展」 ② 企画展 「結晶の科学展」	9. 9～10.29	74,789
特別展 シルクロード大恐竜展	平 8. 3.23～ 5.26	94,384
特別展 ニュートンのおもしろサイエンス	平 8. 7.20～ 9. 1	52,472
特別展 大生命展	10.10～11.17	21,499
特別行事 '96青少年のための科学の祭典	11.23～11.24	11,533
企画展 人間のあしのふしぎ	平 9. 3.16～ 3.30	25,142
第5回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'97	平 9. 6. 6～ 7. 6	29,690
特別展 クジラ・イルカ大研究	7.19～ 8.31	51,138
企画展 空気と遊ぼう	9.13～ 9.28	27,914
超空間展'97	10. 7～10.26	31,326
企画展 鉄道模型50年のあゆみ	11.22～11.24	10,480
緊急企画 ポカポカ地球は大変!君ならどうする？ ～地球温暖化を科学しよう～	平10. 2.10～ 3. 1	22,114
特別展 うごく・かなでる楽器たち ～オーケストラからオルゴールまで～	3.21～ 5.10	33,107
ミニ企画展 科学と遊ぶ木のおもちゃ展	平10. 4. 1～ 6.30	147,197
特別展 メディアトンネル探検隊～象形文字からインターネットへ～	7.18～ 8.30	47,600
特別展 大恐竜展 ～失われた大陸ゴンドワナの支配者～	10.31～平11. 1.17	99,484
企画展 '98名古屋タンポポ調査隊報告展	12.19～ 1.17	78,466
特別展 鳥のルーツを探る ～恐竜は絶滅しなかった!？～	3.20～ 5.16	45,218
特別展 発見!! 石の王国 ～今明かされる地球の秘密～	平11. 7.17～ 8.31	62,574
企画展 かがく遊び ～家でできる化学の実験～	9.15～ 9.26	17,503
特別展 中部地質情報展 ～20億年のタイムトラベル～	9.15～10.11	45,529
特別展 カオを学ぶ カオで遊ぶ ～大「顔」展～	10.30～12. 1.30	96,867
特別展 宇宙展2000 ～さあ始めよう時空の旅～	平12. 3.18～ 5.14	64,504

展　　覧　　会　　名	開　催　期　間	入場者数(人)
特別展 匠(たくみ)のサイエンス	平12. 7.15～ 8.31	**39,140**
緊急企画展 これが東海豪雨だ	10.13～12.28	**88,994**
企画展 君も気象予報士	平13. 3.17～ 3.31	**18,669**
ゴールデンウィーク企画展 「鉄道模型であそぼう」	平13. 4.29～ 5. 6	**36,505**
特別展 からだ・ふしぎ発見	7.20～ 9. 2	**59,387**
企画展 素材とかたちの科学＝建築とE.トロハ展 ～過去・現在・未来～	10.11～10.30	**3,517**
企画展 野依良治 ノーベル化学賞への道	平14. 1.25～ 3. 3	**38,263**
企画展 光とあそぼう	3.16～ 3.31	**23,509**
特別展 目でみる『がん』展	平14. 4.13～ 6.30	**32,395**
開館40周年記念特別展 ロボットワールド	7.20～ 9. 1	**118,878**
企画展 鉄道模型であそぼう	11. 3～11. 4	**6,297**
特別展 水俣・名古屋展	11.16～平15. 1.13	**8,064**
企画展 小柴・田中 ノーベル賞展	1.25～ 3. 2	**53,109**
企画展 地球のデザイン	3.15～ 3.30	**21,638**
特別展 手で考える!? 木組みからくり展	平15. 7.19～ 8.31	**88,334**
特別展 アート オブ スター・ウォーズ展	10.18～12. 7	**40,272**
古川為三郎サイエンス企画展 水とあそぼう	平16. 3.20～ 4. 4	**26,916**
特別展 むし虫ワールド	平16. 7.18～ 8.31	**140,661**
古川為三郎サイエンス企画展 光る生きものたち　～輝く魅力と探求の浪漫	平17. 3.19～ 4. 3	**19,804**
特別展 庶民の算術展	平17. 4.29～ 6.26	**3,969**
特別展 Go! Go! ゴールド	7.16～ 8.31	**46,018**
なるほど・THE・エネルギー　科学市場	11. 3～11.16	**17,710**
古川為三郎サイエンス企画展 よみがえるレオナルド・ ダ・ヴィンチ「手稿」アイデアからの再現	平18. 3.18～ 4. 2	**28,916**
特別展 のりものワールド	平18. 7.22～ 9. 3	**85,214**
特別展 脳!～内なる不思議の世界へ	10. 7～12. 3	**25,170**
古川為三郎サイエンス企画展 みんなで考える地球温暖化	平19. 3.17～ 4. 8	**56,219**
特別展 ようこそ恐竜ラボへ～研究現場はこんなにおもしろい	3.17～ 5.27	**57,696**
特別展 ザリガニワールド	平19. 7.21～ 9. 2	**74,334**
企画展 地図記号わくわく大図鑑	9.22～ 9.30	**14,983**
古川為三郎サイエンス企画展 よくわかる地球のこと	10.13～10.28	**20,110**
企画展 名古屋城を科学する～ヒメボタルの巻	11. 3～平20. 1.14	**70,849**
特別展 世界最大の翼竜展	3.20～ 6.15	**92,024**
特別展 発明ワールド～エジソンと日本の発明～	平20. 7.19～ 8.31	**48,340**
企画展 小林・益川・下村ノーベル賞展	平21. 1.31～ 3.15	**56,537**
古川為三郎サイエンス企画展 建築家になってみよう	3.20～ 4. 5	**27,689**
企画展 名古屋城を科学する パート2 ～本丸御殿復元の意義	3.20～ 4. 5	**27,689**
特別展 お菓子の秘密	平21. 7.18～ 8.31	**90,521**
古川為三郎サイエンス企画展 ガリレオの天体観測から400年 宇宙の謎を解き明かす	10.17～11.29	**46,225**
プレCOP10企画展 肉食恐竜マプサウルス～生命の絶滅と多様化	12. 5～ 3.14	**104,826**
企画展 電気をつくろう	12.16～ 4.11	**148,538**
企画展 名古屋城を科学する パート3 ～石垣のナゾをときあかす	平22. 3.20～ 4. 4	**32,993**

展　　覧　　会　　名	開　催　期　間	入場者数(人)
天文館・理工館さよならフェスティバル 行こうよ、もう一度！思い出の科学館	平22. 7. 3～ 8.31	
特別展 ふしぎ！昆虫パワー	7.17～ 8.31	**87,589**
COP10 開催記念企画展 生物多様性～あいちのニホンカモシカ	10.11～10.31	**24,277**
緊急企画展 小惑星探査機 はやぶさ－帰還カプセル	10.14～10.18	**17,752**
開館記念　古川為三郎サイエンス企画展 最新の映像技術　深海の不思議	平23. 3.19～ 5. 5	**13,815**
特別企画　お化け屋敷で科学する！	平23. 4.23～ 6.26	**72,886**
新館開館記念特別展 黄河大恐竜展～中国・甘粛省大恐竜群の新発見～	7.16～ 8.31	**157,822**
新館開館１周年記念特別展 ＯＣＥＡＮ！海はモンスターでいっぱい	平24. 3.17～ 6.10	**105,732**
特別展　空飛ぶのりもの	平24. 7.21～ 9. 2	**58,323**
企画展　見つめてふしぎ！人間の眼	11.17～12. 2	**6,266**
特別展　ドラえもんの科学みらい展	平25. 3.16～ 5. 6	**123,179**
特別展　深海たんけん!	平25. 7.20～ 9. 1	**136,660**
企画展［世界を変えた書物］展	9.13～ 9.29	**13,770**
企画展　色いろカラフルワールド	11.16～12. 1	**11,283**
特別展　チョコレート展	12.17～平26. 2.23	**108,414**
特別展　発掘！モンゴル大恐竜展	平26. 3.19～ 6. 8	**121,976**
特別展　ドラゴンボールで科学する！	平26 .7.16～ 8.31	**106,746**
企画展　教授を魅了した大地の結晶　北川隆司 鉱物コレクション200選	9.13～ 9.23	**7,914**
特別展　館長 庵野秀明 特撮博物館　ミニチュアで見る昭和平成の技	11. 1～平27.1.12	**115,054**
特別展　夢と感動の宇宙展 「宇宙兄弟」ムッタとヒビトが挑んだ空へ！	3.14～ 5.24	**88,015**
特別展　錯覚体験　ふしぎワールド！	平27. 7.18～ 8.31	**111,605**
企画展　バイオなものづくり	9.12～ 9.23	**14,909**
特別展　生命大躍進-脊椎動物のたどった道-	10.17～12.13	**113,112**
特別展　ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～	12.23～平28. 3.6	**73,497**
特別展　恐竜・化石研究所	3.19～ 6.12	**108,525**
特別展　南極へ行こう！！～南極観測６０周年記念特別展～	平28. 7.16～ 9. 4	**86,460**
企画展　磁石とモーター	9.17～ 9.25	**13,360**
特別展　チームラボアイランド　踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地	11.12～平29. 2.12	**176,081**
特別展　恐竜の大移動～ティラノサウルス類と角竜の起源と進化～	3.18～ 5.28	**99,220**
特別展　ロボットってなんだろう？	平29. 7.15～ 9. 3	**76,156**
企画展　さわってビックリ！見てフシギ？　人間の皮膚	9.16～ 9.24	**10,938**
特別展　恐竜の卵～恐竜誕生に秘められた謎～	11.11～平30. 2.25	**75,719**
特別展　マーベル展―時代が創造したヒーローの世界―	平30. 3.17～ 6.10	**132,820**

展　　覧　　会　　名	開　催　期　間	入場者数(人)
特別展　名探偵コナン科学捜査展～真実への推理（アブダクション）～	平30. 7.14～ 9.24	179,277
企画展　私の南極展	11.3～11.11	7,919
特別展　スイーツ展	11.23～平31. 2.11	70,565
特別展　血液ツアーズ「人体大解明の旅」	3.16～令 元. 6. 2	80,302
特別展　絶滅動物研究所	令元. 7. 6～ 9. 8	145,566
企画展　国際周期表年2019特別展	9.21～ 9.29	4,299
企画展　木のおもちゃ展～遊んでわかる動きや形の不思議～	11. 2～11.10	3,786
特別展　チームラボ☆学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達	11.30～令 2. 2.16	204,994
特別展　マンモス展～その「生命」の過去と未来～ ※令和2年2月29日から令和2年6月1日までの休館に伴い中止した。	3.14～ 6.14	開催中止
特別展　五感で楽しむ発酵博覧会2020(仮称) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。	令 2. 7.11～ 9.13	開催中止
企画展　今日から学芸員!～若手学芸員とまなぶ科学館のたのしみかた～	10.31～11. 8	6,793
特別展　PIXARのひみつ展　いのちを生みだすサイエンス	11.28～令 3. 2.23	38,062
特別展　ノーベル賞受賞100年記念「アインシュタイン展」	3.20～ 6. 6	35,790
企画展　南部陽一郎生誕100年記念展	令 3. 6.19～ 6.27	1,654
特別展　昆虫	7.17～ 9.20	93,065
特別展　ティラノサウルス展　～*T. rex* 驚異の肉食恐竜～	11.13～令 4. 2.13	71,635
特別展　大地のハンター展	3.12～ 6.12	71,674
特別展「宝石 ～地球がうみだすキセキ～」	令 4. 7. 9～ 9.19	120,361
開館60周年記念企画展「名古屋市科学館60年のあゆみ」	10.29～11.20	4,640
企画展「小惑星探査機「はやぶさ２」帰還カプセル・リュウグウサンプル特別公開」	11.16～11.23	2,693
特別展「やってみた展　カラダで学ぶ遊園地」	12. 3～令 5. 2.19	40,504
特別展「スケスケ展」	3.18～ 6.11	90,107
特別展「ネコ」～にゃんと！クールなハンターたち～	令 5. 7.15～ 9.18	83,943
企画展「プラネタリウム100周年」	9.26～10.22	34,389
特別展「化石ハンター展」	11.11～令 6. 2.18	68,951
特別展「海　－生命のみなもと－」	3.16～ 6. 9	82,225
特別展「毒」	令 6. 7.15～ 9.18	137,704
企画展「ためして、のぞいて　からだのフシギ」	11. 2～11.17	11,498
特別企画「ニンジャアカデミー」	11.30～令 7. 2.24	32,012
特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」	3.15～ 6.15	104,187

特別展「古代ＤＮＡ―日本人のきた道―」	令 7.7.19～ 9.23	**75,381**
特別展「昆虫ＭＡＮＩＡＣ」	11. 8～令 8. 2. 1	**54,626**
企画展「SLを感じよう！」	2.14～ 3. 1	**5,234**
特別展「大絶滅展―生命史のビッグファイブ」	3.20～ 6.14	**136,436**

６　観覧料の変遷

（１）昭和 37 年 11 月 1 日　天文館開館

［全　館］

大　人	100 円
中　人（高等学校及び中学校生徒）	70 円
小　人（小学校児童及び幼児）	50 円

（２）昭和 39 年 11 月 1 日　理工館開館

［全　館］

大　人	150 円
中　人（高等学校及び中学校生徒）	100 円
小　人（小学校児童及び幼児）	70 円

［天文館］

大　人	100 円
中　人（高等学校及び中学校生徒）	70 円
小　人（小学校児童及び幼児）	50 円

［理工館］

大　人	70 円
中　人（高等学校及び中学校生徒）	50 円
小　人（小学校児童及び幼児）	30 円

（３）昭和 51 年 4 月 1 日　観覧料改定

［全 館］

大　人	200 円
小　人（中学校生徒・小学校児童及び幼児）	100 円

［展示室のみ］

大　人	100 円
小　人（中学校生徒・小学校児童及び幼児）	50 円

（４）昭和 59 年 4 月 1 日　観覧料改定

［全 館］

大　人	300 円
小　人（中学校生徒・小学校児童及び幼児）	150 円

※展示室のみは据置き

（５）平成元年 4 月 29 日　生命館開館

［全 館］

大　人	500 円
小　人（中学校生徒及び小学校児童）	200 円

※ 小学校就学の始期に達するまでの者は無料

［展示室のみ］

大　人	250 円
小　人（中学校生徒・小学校児童）	100 円

※ 小学校就学の始期に達するまでの者は無料

（６）平成 6 年 4 月 1 日　観覧料改定

［全 館］

大　人	600 円
小　人（中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	100 円

※ 小学校就学の始期に達するまでの者は無料

［展示室のみ］

大　人	300 円
小　人（中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

※ 小学校就学の始期に達するまでの者は無料

（7）平成 18 年 4 月 1 日　観覧料改定

［全 館］

大　人	600 円
高大生（大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者）	400 円
小　人（小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

［展示室のみ］

大　人	300 円
高大生（大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者）	200 円
小　人（小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

（8）平成 23 年 3 月 19 日　観覧料改定

［全 館］

大　人	800 円
高大生（大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者）	500 円
小　人（小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

［展示室のみ］

大　人	400 円
高大生（大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者）	200 円
小　人（小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

（9）令和 8 年 10 月 1 日　観覧料改定

［全 館］

大　人	1,000 円
高大生（大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者）	600 円
小　人（小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

［展示室のみ］

大　人	500 円
高大生（大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者）	300 円
小　人（小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

利　用　案　内

開館時間	午前9時30分から午後5時00分まで(入館は、午後4時30分まで)							
休館日	(1) 月　曜　日（祝日の場合は、直後の休日でない日）							
	(2) 毎月第3金曜日（祝日の場合は、第4金曜日）							
	(3) 年末年始（12月29日から1月3日まで）							
観覧料	区　分	当　日		定期観覧券（1年間有効）				
		展示室とプラネタリウム	展示室のみ	展示室とプラネタリウム	展示室のみ			
	大　人	800円	400円	3,200円	1,600円			
	高大生	500円	200円	2,000円	800円			
	小人(中学生以下)	無　料						
	※団体は、30人以上は1割引、100人以上は2割引							

プラネタリウム開演時間※	投影開始時間 (投影時間約50分)	10:00	11:20	12:40	14:00	15:20	16:40
	平　日	＊ 学習投影 一般投影	＊ 学習投影 一般投影	＊ 学習投影 一般投影	一般投影	一般投影	一般投影
	土曜 春・冬休み	一般投影	一般投影	一般投影	ファミリーアワー	一般投影	一般投影
	日曜・祝日 夏休み	一般投影	ファミリーアワー	一般投影	ファミリーアワー	一般投影	一般投影

＊平日10:00、11:20、12:40の回につきましては、時期により投影内容が変更となります。	定員　345人

	実演会場		名　称	平　日	土曜・日曜・祝日及びGWとお盆の繁忙期
実演実験	理工館	5階	極寒ラボ	10:00 10:30 11:00 11:30 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30	10:00 10:30 11:00 11:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30
		4階	放電ラボ	10:00 11:00 13:00 14:30 16:00	10:00 11:00 12:00 13:30 14:30 15:30 16:30
		3階	竜巻ラボ	10:30 12:30 15:00	10:30 11:30 14:30 15:30
			モノづくり都市パノラマ	11:30 13:30 15:30	11:00 12:00 14:00 15:00
	天文館	4階	サイエンスステージ	11:00 14:00	11:00 13:00 14:00 15:00 16:00
	生命館	5階	生命ラボ	14:00	11:00 15:00
		地下2階	あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室　体験交流展示実験ブース	11:00 15:00	11:00 14:00 15:00
	屋外		B6形蒸気機関車	10:30 13:00 15:00	10:00 10:45 11:30 13:30 14:30 15:30 16:30

○名古屋市科学館条例

昭和 37 年名古屋市条例第 27 号

（設置）

第 1 条　近代科学に関する知識の普及啓発を目的として、次のように科学館を設置する。

名称　名古屋市科学館

位置　名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

（事業）

第 2 条　名古屋市科学館（以下「科学館」という。）は、その目的達成のために次の事業を行う。

(1) 科学に関する資料及び装置（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。次号において同じ。）を含む。）の展示

(2) 科学に関する資料及び装置に係る電磁的記録の作成及び公開の展示

(3) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天文観測の指導

(4) 科学に関する図書の備付け並びに研究会、講習会、映画会等の開催

(5) 科学技術に関する調査研究及び科学資料等の刊行

(6) 学芸員その他の科学館の事業に従事する人材の養成及び研修

(7) 科学知識の普及啓発に必要な他機関との連携及び協力

(8) 地域における教育、学術及び文化の振興、文化観光（博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）第３条第３項の文化観光をいう。）その他の活動の推進

(9) その他教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める事業

（観覧料）

第 3 条　科学館に入館しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納付しなければならない。

第 4 条　削除

（観覧料の減免）

第 5 条　委員会は、次の各号に掲げる者について、それぞれ当該各号に定める額を、別表に規定する個人の観覧料の額から減免する。ただし、第 1 号に定める額を減免した後の観覧料の額が 100 円未満となる場合の観覧料の額は、100 円とする。

(1) 市内に住所を有する 65 歳以上の者　当該観覧料の 3 分の 2 の額（100 円未満の端数は、切り上げる。）

(2) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者その他の教育委員会規則で定める者　当該観覧料の全額

2　前項に定めるもののほか、委員会は、特別の事由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

（観覧料等の不還付）

第 6 条　既納の観覧料及び料金は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めたときは、これらの全部又は一部を還付することができる。

（秩序保持）

第 7 条　次の各号の一に該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(1) でい酔者又は伝染性の疾患があると認められる者

(2) 管理上必要な指示に従わない者

(3) その他管理上支障があると認められる者

（損害賠償等）

第 8 条　建物、展示品、図書及びその他の器物を損傷し、又は滅失させた者は、これらを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（職員）

第 9 条　科学館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。

（科学館協議会）

第 10 条　法第 23 条第 1 項の規定に基づき、科学館に名古屋市科学館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2　協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15 人以内とする。

3　委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、委員会が委嘱する。

4　委員の任期は、2 年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5　委員は、再任されることができる。

6　委員会は、特別の事由があると認めるときは、任期中においても、委員を解任することができる。

（観覧時間等）

第 11 条　科学館の観覧時間及び休館日等に関しては、教育委員会規則で定める。

附　則　抄

1　この条例は、公布の日から施行する。

2　科学館の一般公開を開始する日は、市長が定める。

附　則（昭和 39 年条例第 64 号）

この条例は、昭和 39 年 11 月 1 日から施行する。

附　則（昭和 41 年条例第 19 号）

この条例は、名古屋都市計画事業復興土地区画整理事業施行地区内の中第 1 工区及び中第 2 工区に係る土地区画整理事業の換地処分の公告があった日の翌日から施行する。

附　則（昭和 51 年条例第 17 号）

この条例は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（昭和 55 年条例第 10 号）

この条例は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（昭和 59 年条例第 26 号）

この条例は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成元年条例第 4 号）

この条例は、平成元年 4 月 29 日から施行する。

附　則（平成 6 年条例第 7 号）

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 6 年条例第 17 号）

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 17 年条例第 112 号）

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成22年条例第5号）

1　この条例の施行期日は、規則で定める。（平成23年規則第2号で平成23年3月19日から施行）

2　この条例による改正前の名古屋市科学館条例別表の定期観覧券を使用する場合に係るこの条例の施行の日以後の使用については、なお従前の例による。

附　則（平成24年条例第8号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附　則（令和5年条例第11号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表

区分	観覧料の額			
	1回券（1人につき）			定期観覧券（1年券）
	個人	団体		
		30人以上100人未満	100人以上	
一般	800円 （400円）	720円 （360円）	640円 （320円）	3,200円 （1,600円）
大学生又は高校生	500円 （200円）	450円 （180円）	400円 （160円）	2,000円 （800円）

備考

1　一般とは、15歳以上の者（「大学生又は高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。）をいう。

2　大学生又は高校生とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校又はこれらに準ずる学校に在学する者をいう。

3　小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校に在学する者は、無料とする。

4　（　）内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。

5　特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合における観覧料の額は、この表に定める1回券の金額を超え当該金額に3を乗じて得た額までの金額とすることができる。

6　特殊の装置を自ら運転する者は、この表に定める観覧料のほか、委員会が定める料金を納付しなければならない。

○名古屋市科学館条例施行規則

昭和55年名古屋市教育委員会規則第3号

（趣旨）

第1条　名古屋市科学館条例(昭和37年名古屋市条例第27号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項は、別に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（開館時間等）

第2条　名古屋市科学館（以下「科学館」という。）の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとし、科学館に入館することができる時間（次項において「入館時間」という。）は、午前9時30分から午後4時30分までとする。

2　教育委員会（以下「委員会」という。）は、必要があると認めるときは、前項の開館時間又は入館時間を変更することができる。

（休館日）

第3条　科学館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「法」という。）に規定する休日にあたるときは、その直後の法に規定する休日でない日)

(2) 毎月第3金曜日（法に規定する休日にあたるときは、第4金曜日）

(3) 12月29日から1月3日まで

2　委員会は、特に必要があると認めるときは、休館日を臨時に定め、又は前項の休館日を変更することができる。

（団体の人員の計算）

第4条　条例別表に規定する団体の人員の計算は、団体を構成する総人員（観覧料を納付しない者を除く。）によって行う。

（観覧券）

第5条　観覧料の徴収と引き換えに、観覧券を発行する。ただし、委員会が特別の事由があると認めたときは、観覧料を後納させることができる。

（観覧券の種類）

第6条　観覧券は、科学館観覧券、科学館（プラネタリウム室を除く。）観覧券、団体観覧券、団体観覧券（プラネタリウム室を除く。)、定期観覧券及び定期観覧券（プラネタリウム室を除く。）とする。

2　条例別表に規定する特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合においては、前項の規定にかかわらず、その都度、当該特別の催しを象徴するような特別観覧券を発行することができる。

3　観覧券の様式は、別に定める。

第7条　削除

（観覧券の改札）

第８条　観覧券の発行を受けた者は、入口において観覧券の改札を受けなければならない。

（観覧料の減免）

第９条　条例第５条第１項第２号に規定する規則で定める者は、次に掲げる手帳、受給者証等のいずれかの交付を受けている者とする。

(1) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条に規定する身体障害者手帳

(2) 戦傷病者特別援護法（昭和 38 年法律第 168 号）第４条に規定する戦傷病者手帳

(3) 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成６年法律第 117 号）第２条に規定する被爆者健康手帳

(4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条に規定する精神障害者保健福祉手帳

(5) 市長の発行する愛護手帳（これに類する療育手帳等を含む。）

(6) 難病の患者に対する医療等に関する法律（平成 26 年法律第 50 号。以下「難病法」という。）第７条第４項に規定する医療受給者証

(7) 難病法第28条第2項に規定する指定難病要支援者証明事業により発行される登録者証

(8) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号。以下「障害者総合支援法」という。）第 22 条第８項に規定する障害福祉サービス受給者証（障害者総合支援法第４条第１項の政令で定める特殊の疾病による障害の程度が主務大臣が定める程度である者（以下「特殊疾病者」という。）に係るものに限る。）

(9) 障害者総合支援法第 51 条の７第８項に規定する地域相談支援受給者証(特殊疾病者に係るものに限る。)

(10) 市長の発行する移動支援・地域活動支援受給者証（これに類するものを含む。）（特殊疾病者に係るものに限る。）

２　条例第５条第２項の規定により観覧料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 幼稚園、小学校若しくは中学校又はこれらの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として幼児、児童又は生徒の引率者が入館する場合　観覧料の全額

(2) 市内の高等学校又はこの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が入館する場合　観覧料の５割相当額

(3) 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）に規定する児童福祉施設に入所している児童及びその引率者が教育上の目的で入館する場合　観覧料の全額

(4) 前項に定める者に同行する介護者（前項に定める者１人につき２人以内に限る。）が入館する場合　観覧料の全額

(5) 市内に住所を有する 65 歳以上の者（以下「市内の高齢者」という。）が定期観覧券により入館する場合　観覧料の額に３分の２を乗じて得た額（100 円未満の端数は、

切り上げる。）

(6) 市内の高齢者が条例別表に規定する団体の構成員として入館する場合　次の表に定める額

区分	団体	
	30人以上100人未満	100人以上
一般	540円 （270円）	480円 （240円）
大学生又は高校生	360円 （90円）	320円 （80円）
備考　（　）内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。		

(7) その他委員会が特別の事由があると認める場合　その都度委員会が定める額

（観覧料の減免申請手続）

第10条　前条第2項（第4号から第6号までを除く。）の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書（別記様式）を委員会に提出しなければならない。ただし、同項第7号の規定による場合において委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

（共通観覧券）

第10条の2　委員会は、必要があると認めるときは、他の施設との共通観覧券を発行することができる。

2　前項の共通観覧券の様式は、別に定める。

（優待券等）

第11条　委員会は、必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

（観覧券付クーポン）

第12条　委員会は、特に必要があると認める場合に限り、旅客輸送を主たる業務とする者又は旅行業法（昭和27年法律第239号）により旅行業の登録を受けた者と共同して観覧券付クーポンを発行することができる。

2　前項の観覧券付クーポンを発行する場合の観覧料の額は、そのつど委員会が定める。

（観覧料の還付）

第12条の2　条例第6条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1) 科学館の展示室又はプラネタリウム室（以下「展示室等」という。）を利用しようとする者の責めに帰することのできない理由によって展示室等を利用することができ

なくなったとき。

(2) その他委員会が特別の理由があると認めるとき。

（協議会の会長及び副会長）

第 13 条　名古屋市科学館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長 1 人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2　会長及び副会長の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。

3　会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（協議会の会議）

第 14 条　協議会の会議は、会長が招集する。

2　協議会の会議は、定例会及び臨時会とする。

3　定例会は、毎年 2 回招集する。

4　臨時会は、必要に応じて招集する。

5　協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

6　協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（説明又は資料の請求等）

第 15 条　会長は､会議において関係職員に対し説明又は資料の提出を求めることができる。

2　関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

（協議会の庶務）

第 16 条　協議会の庶務は、科学館において行う。

（委任）

第 17 条　この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附　則

1　この規則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

2　この規則施行の際現に市立名古屋科学館条例施行細則(昭和37年名古屋市規則第70号。以下「旧規則」という。）の規定に基づく優待券を所持する者の使用については、なお従前の例による。

3　この規則施行の際現に旧規則に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

4　この規則施行の際現に旧規則の規定に基づいて調製されている観覧券及び観覧料減免申請書は、残量のある限り、使用することができる。ただし、観覧料減免申請書については、この規則の様式の要件を満たすよう修正するものとする。

〔中略〕

附　則（令和元年教育委員会規則第２号）

１　この規則は、令和元年７月１日から施行する。

２　この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

３　この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて交付されている許可書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて交付されたものとみなす。

４　この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、この規則による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

附　則（令和５年教育委員会規則第15号）

この規則は、令和６年４月１日から施行する。

別記様式(第 10 条関係)

名古屋市科学館観覧料減免申請書

年　　月　　日

（宛先）名古屋市教育委員会

（申請者）

住　所（団体は主な事務所の所在地及び名称）

氏　名（団体は代表者氏名）

電話　自宅（団体は主な事務所）

勤務先

次のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

観覧の種別	
観覧年月日	年　　月　　日
観覧の人員	
引率者の職氏名	
観覧の目的	
減免を受けようとする理由	
減免を受けようとする金額	
そ　の　他	

（備考）　用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

位　置　略　図



交通アクセス

●地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車　4,5 番出口から南へ徒歩 5 分

●市バス「広小路伏見」下車　南へ徒歩 5 分

●名鉄バス「白川公園前」下車　北へ徒歩 5 分

名古屋市科学館要覧

（令和 8 年度）

発　　行　名古屋市科学館

発行年月　令和 8 年 8 月

名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号
（芸術と科学の杜・白川公園内）
TEL(052)201-4486
FAX(052)203-0788
団体予約専用　TEL(052)231-9771
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.ncsm.city.nagoya.jp/